

## 第4 県内の特定事故の発生状況

### 1 死亡事故

#### (1) 発生件数、死者数

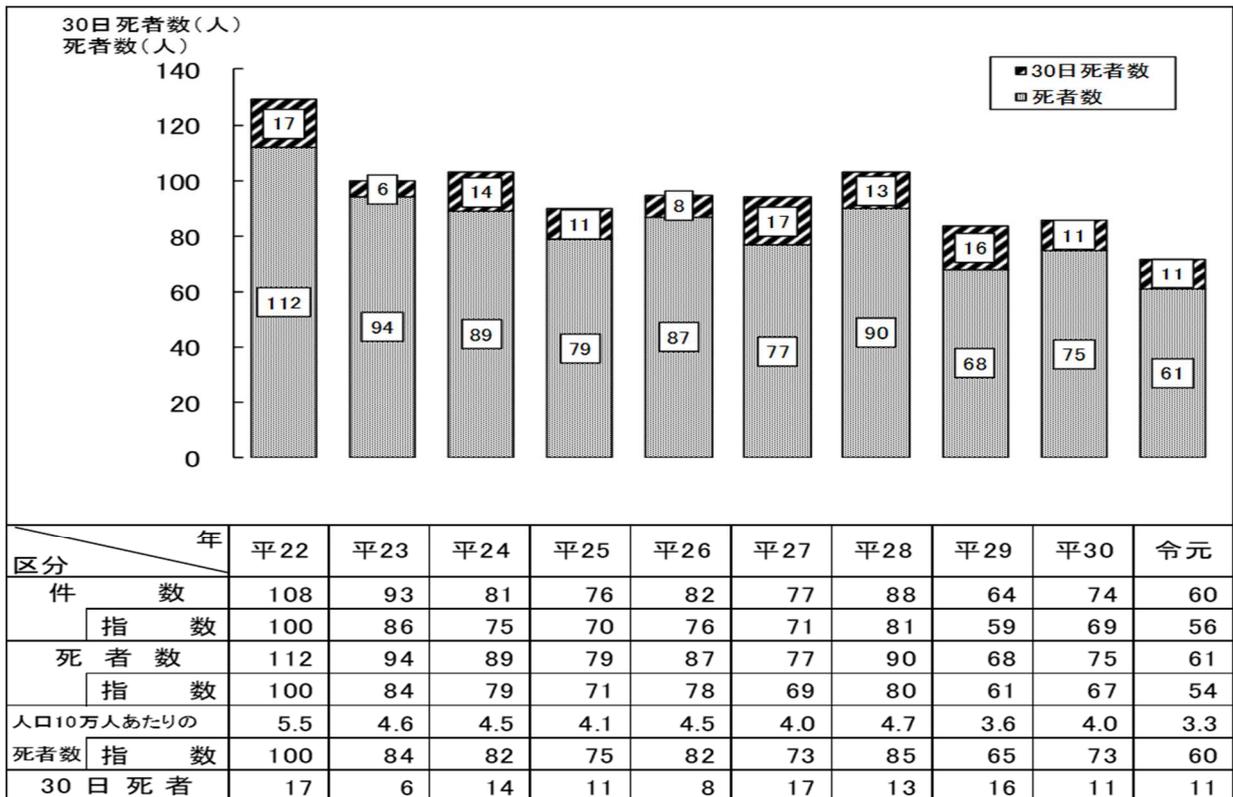
令和元年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 60件（前年比 -14件 18.9%減）

死者数 61人（前年比 -14人 18.7%減）

過去10年間の推移をみると、死者は凹凸はあるものの減少傾向にあり、令和元年では平成22年の5割程度に減少している。

（単位：件・人）



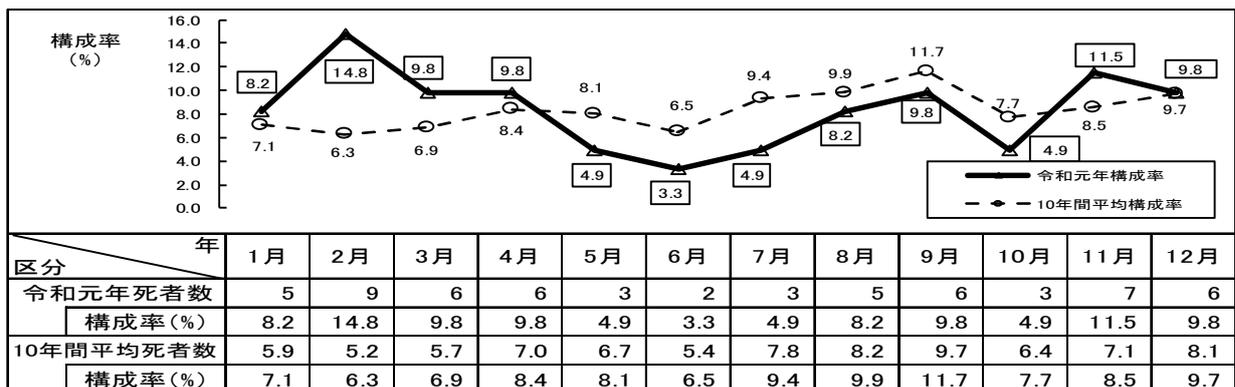
#### (2) 死亡事故の特徴

##### ア 月別

死者は、2月が最多の9人、次いで11月の7人、最少は6月の2人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を下回ったのは、1月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月であった。

（単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、17時～18時の6人が最も多くなっている。

曜日別では、火曜日が最多の18人、月、土曜日が最少の6人となっている。

(単位：人)

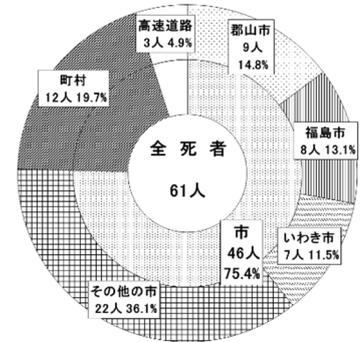
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8
月	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	6
火	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	1	0	3	1	0	2	2	0	2	0	0	18
水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	9
木	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	7
金	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
土	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
合計	2	0	2	1	2	4	2	1	5	1	4	3	3	4	1	4	2	6	4	3	1	4	0	2	61

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村は郡山市の9人で、次いで福島市8人、いわき市の7人の順に多い。

また、市部全体の死者数は46人で、全死者の75.4%を占めている。

市町村別



エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

市町村道での死者が23人と多く、全死者の37.7%を占めている。次いで国道の16人(26.2%)となっている。

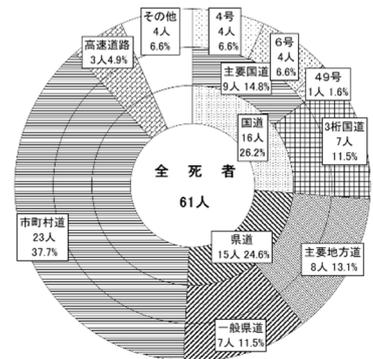
(イ) 道路線形別

直線道路での死者は51人で全死者の83.6%を占め、カーブでの死者は11人で、うち右カーブ2人、左カーブが7人となっている。

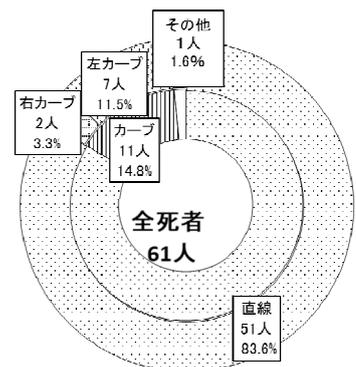
(ウ) 道路形状別

単路での死者は32人で全死者の52.5%を占め、交差点での死者は26人で42.6%を占めている。

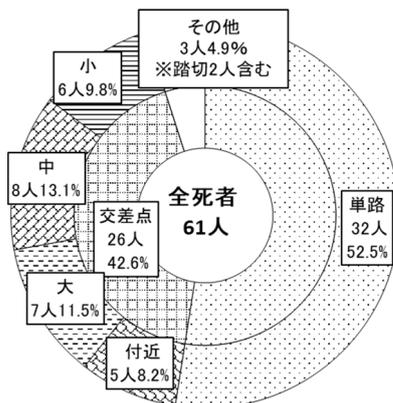
道路別



道路線形別



道路形状別



(注)  
 大交差点 道路幅員13m以上  
 中交差点 道路幅員 5.5m以上13m未満  
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (60件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が18件で全死亡事故の30.0%を占め最も多く、次いで軽乗用車15件、軽貨物車7件の順となっている。

(イ) 年齢別

高齢者による事故が19件で最も多く、次いで50歳代が9件、20歳代・30歳代が8件と多くなっている。

(単位：件)

当事者	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
年齢	型	型	型	通		型	型	型	通								
16歳未満																	0
16～19歳				1											1		2
20歳代	20～24歳			1	2					1							4
	25～29歳			2	1				1								4
30歳代	30～34歳			1													1
	35～39歳			3	1						1	1	1				7
40歳代	40～44歳			1	1				1	1							4
	45～49歳			1		1											2
50歳代	50～54歳				1	1				1							3
	55～59歳			1	1	2				2							6
60歳代	60～64歳	1		2	3					1		1					8
	65～69歳			1	3												4
70歳代	70～74歳			2		1					1						4
	75～79歳			2	1							1	1				5
80歳以上					1					1		1	1	2			6
その他(当事者不明)																	0
合計	1	0	0	18	15	5	0	0	2	7	2	2	3	2	3	0	60
内数	子ども																0
	幼児																0
	小学生																0
	中学生																0
	高校生																0
	高齢者				5	5	1				1	1	2	2	2		19
男性	1			12	8	5			2	7	2	2	3	2		44	
女性				6	7										3	16	
県外居住者				2	1	4					1	2				10	

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.6に対して10代、高齢者が1.4と高い。

(単位：件・人)

区分	男性			女性			合計			
	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	
青年	10歳代	7,931	0	0.0	6,440	2	3.1	14,371	2	1.4
	20～24歳	28,354	2	0.7	33,774	2	0.6	62,128	4	0.6
	計	36,285	2	0.6	40,214	4	1.0	76,499	6	0.8
25～29歳	42,038	4	1.0	36,496	0	0.0	78,534	4	0.5	
30歳代	100,552	6	0.6	91,512	2	0.2	192,064	8	0.4	
40歳代	123,545	6	0.5	113,979	0	0.0	237,524	6	0.3	
50歳代	117,522	8	0.7	112,037	1	0.1	229,559	9	0.4	
60～64歳	65,224	5	0.8	60,024	3	0.5	125,248	8	0.6	
高齢者	71,694	13	1.8	60,446	6	1.0	132,140	19	1.4	
合計	556,860	44	0.8	514,708	16	0.3	1,071,568	60	0.6	

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない

(注2) 免許人口は令和元年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、自転車が2件、歩行者が3件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故55件中、10年以上経過した者による事故が40件で72.7%を占めている。

(単位：件)

車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計
	大	中	準中	普通	軽	大	中	準中	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
経過年数	型	型	型	通		型	型	型	通							
有資格	1年未満				1		1					1				3
	1～2年				1	1										2
	2～3年					1									1	2
	3～4年								1	1						2
	4～5年				1										1	2
	10年未満				1	1					1				1	4
	10年以上	1			14	12	4			1	3	1	1		2	1
免許外・無免許																0
合計	1	0	0	18	15	5	0	0	2	7	2	2	0	2	1	55

(オ) 違反別

悪質違反による事故が21件となっており、全死亡事故の35.0%を占めている。

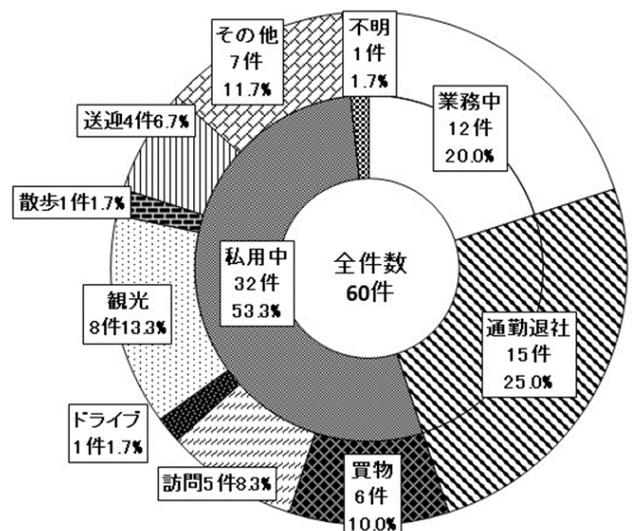
違反別でみると前方不注意が20件と最も多い。

(単位：件)

違反別	件数	違反別	件数	違反別	件数
車質違反	悪信号無視	5	車両の違反	徐行違反	
	最高速度	3		過労等運転	
	通区・追越	4		安全運転義務	
	歩行者妨害	7		ハンドル操作不適	2
	一時不停止	2		ブレーキ操作不適	2
	酒酔い運転			前方不注意	20
	計	21		動静不注視	
	横断等禁止			安全不確認	4
	車間距離不保持			安全速度	
	進路変更禁止			予測不適	
右折違反		その他	2		
左折違反		違反計	30		
優先通行妨害等	4	ドア開放等			
交差点安全進行義務	2	その他			
		計	57		
				歩行者の違反	
				信号無視	1
				横断歩道外横断	
				斜め横断	
				走行車両直前直	
				横断禁止場所	
				計	0
				飛び出し	
				その他	2
				計	3
				不明	
				合計	60
				内数(飲酒運転)	1

(カ) 通行目的別

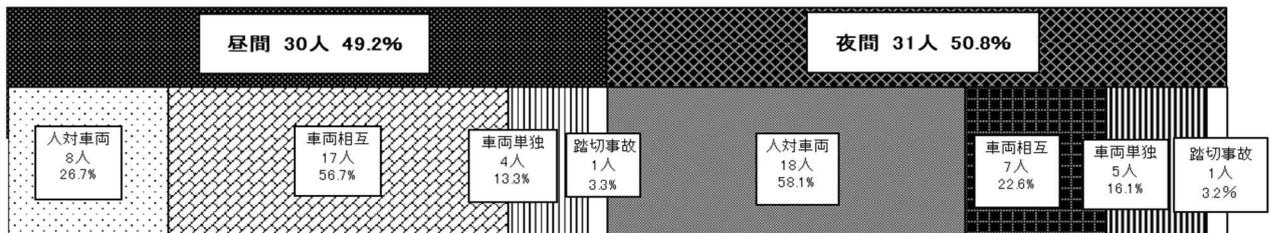
私用中に発生した事故が32件と全事故の53.3%を占めており、その中でも観光の8件が最も多く、次いで買物の6件となっている。



カ 事故類型別死者数

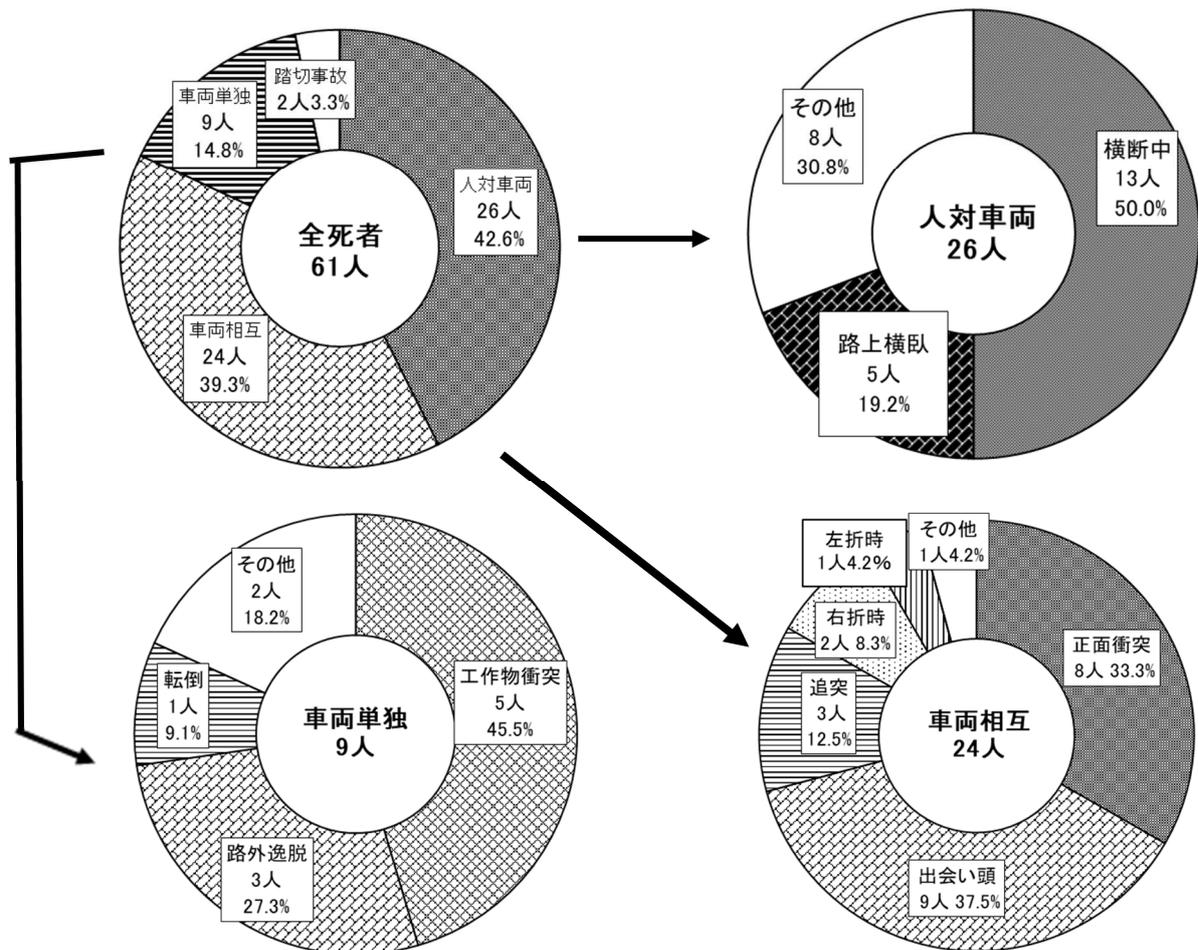
人対車両	26人	(全死者の	42.6%)
車両相互	24人	(全死者の	39.3%)
車両単独	9人	(全死者の	14.8%)
踏切事故	2人	(全死者の	3.3%)

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。



各事故類型でみると

- 人対車両…横断中が13人と最も多く50.0%を占めている。
- 車両相互…出会い頭が9人と最も多く37.5%を占めている。
- 車両単独…工作物衝突が5人と最も多く45.5%を占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者が28人で全死者の45.9%を占め最も多い。次いで自動車運転中の死者18人（29.5%）が続いている。  
 (単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		14	4	7	2			2		2	2	3	25		61
構成率(%)		23.0	6.6	11.5	3.3	3.0	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	4.9	41.0	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は36人（全死者の59.0%）で、うち歩行者の死者は17人と多く高齢死者の47.2%を占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は28人中17人（60.7%）と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満											0	
16～19歳		1				1				1	3	
20歳代	20～24	1				1					2	
	25～29										0	
30歳代	30～34						1				0	
	35～39	2									3	
40歳代	40～44	1	1							1	3	
	45～49									1	1	
50歳代	50～54									2	2	
	55～59	1				1				2	4	
60歳代	60～64	1	1				1			4	7	
	65～69	1								3	4	
70歳代	70～74	2	1	1	1				1		6	
	75～79	2			1						7	
80歳以上		1	1		2			1	2	12	19	
合計		13	4	1	7	2	0	2	4	28	61	
内数	子ども									1	1	
	幼児										0	
	小学生										0	
	中学生										0	
	高校生					1					1	
高齢者		6	2	1	4	0		2	4	17	36	
男性		10	4	1	2	2		2	3	14	38	
女性		3			5				1	14	23	

ウ 職業別

無職が28人と最も多く全死者の45.9%を占め、次いで建設業、製造業、サービス業がそれぞれ5人と多くなっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者		1									1	
公務員										1	1	
農・林・漁業			1	1		1			1		4	
鉱業											0	
建設業			1			1		1		2	5	
製造業		2								3	5	
卸・小売業					1						1	
運輸・郵便業			1								1	
医療・福祉					1					1	2	
電気・ガス・水道業										1	1	
サービス		3			1				1		5	
子供											0	
高校生					1						1	
学生		2			1					1	4	
主婦										2	2	
無職		5	1		2			1	2	17	28	
その他											0	
合計		13	4	1	7	2	0	2	4	28	61	

エ 状態別の違反

(7) 歩行者

歩行者の死者28人のうち、15人(歩行者死者の53.6%)には何らかの違反があり、めいてい・はいかい(路上横臥含む)が7人と多く、違反のある歩行者死者の約半数を占めている。

(単位:人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 歩 の き	ひ と り 歩 の き	め い て か い い	は か い い	路 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横 断 歩 道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 車 両 後	直 行 車 両 後	走 行 車 両 後										
1 当	1							0							2	3	
2当以下		2	1	1		1		3		7					13	25	

(1) 自転車

自転車乗用中の死者4人とも3人に違反がある。

(単位:人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下						1							1			2

(ウ) 原付

原付乗車中の死者2人とも違反がある。

(単位:人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下																0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者2人とも違反がある。

(単位:人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下																0
同 乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者18人、同乗中死者7人の合計25人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が6人で最も多く、運転中死者の33.3%を占めている。

事故類型別では、正面衝突による死者が、運転中死者6人、同乗中死者2人の合計8人で、自動車乗車中の死者全体の32.0%を占めている。

(単位：人)

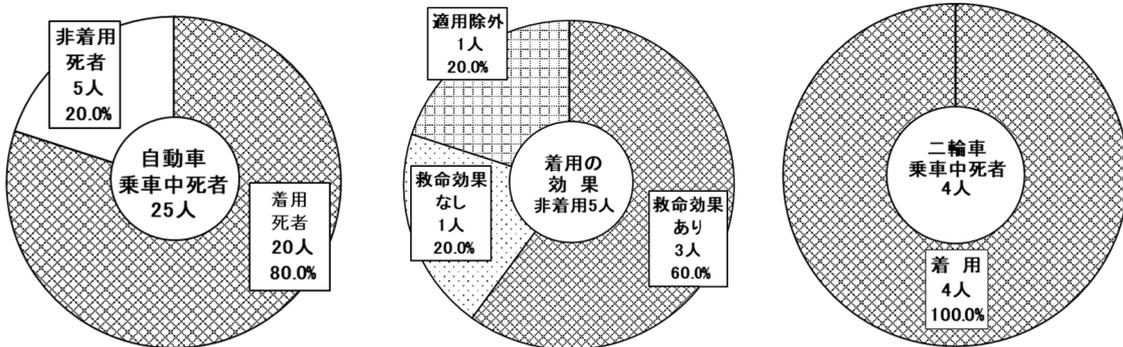
区分	違反	運 転 中																同乗中	合計			
		信号無視	最高速度超過	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務		その他の		違反なし	計						
										ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度			その他			その他		
当事者	1当	1	2	3	1		1					1	4				1			14	14	
	2当							2											2	4	4	
	3当以下																			0	7	7
事故類型	正面衝突			3								1					1	1	6	2	8	
	追突	1									1							1	3		3	
	出会い頭				1		1	1												3	1	4
	追越・追抜																			0		0
	転回時																			0		0
	右折時																			0	2	2
	その他							1				1								2		2
計		1	0	3	1	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	2	14	5	19
型列	車両単独		2								1	1								4	2	6
合計		1	2	3	1	0	1	2	0	0	1	4	0	0	0	0	1	0	2	18	7	25

オ シートベルト・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

自動車乗車中の死者25人中シートベルトを着用していたのは20人で、着用率は80.0%であった。

また、非着用死者5人中3人（非着用で死亡した者の60.0%）は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は4人であったが、全員ヘルメットを着用していた。

## 2 歩行者の事故

### (1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

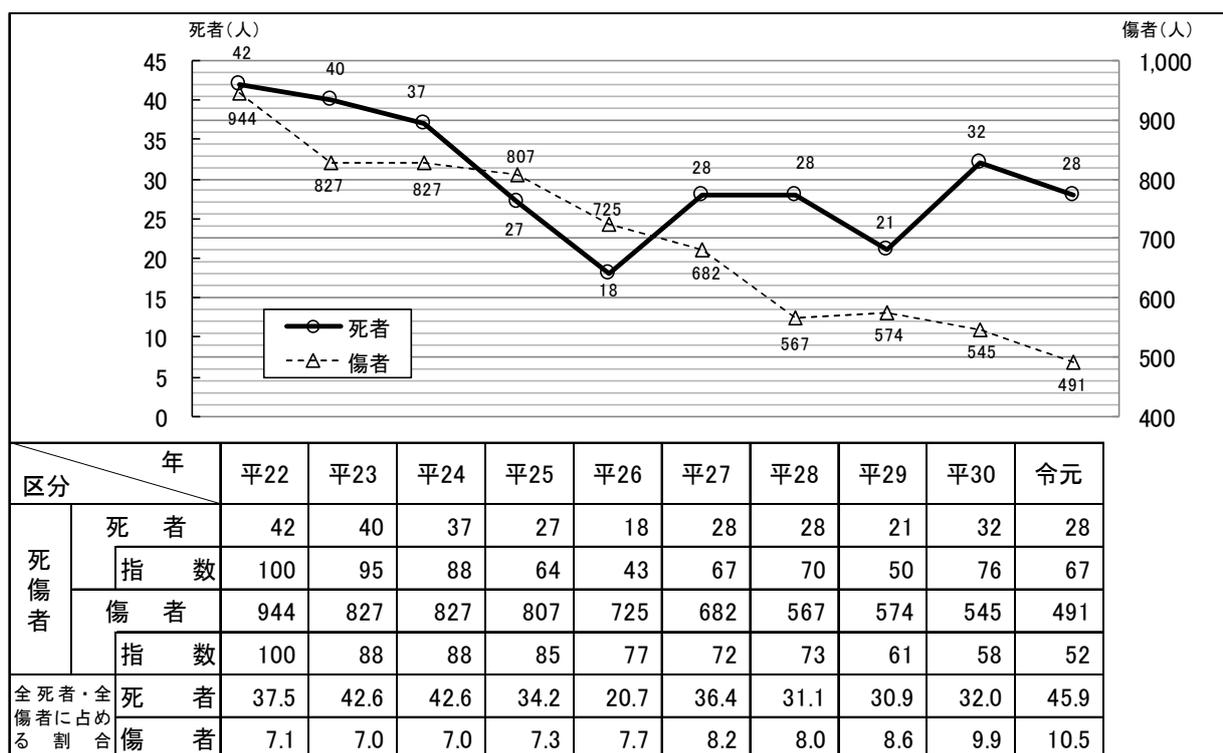
死者数 28人 (前年比 +4人 16.7%増)

傷者数 491人 (前年比 -54人 9.9%減)

で、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

全死者・全傷者に占める割合は、死者数は45.9%で13.9ポイント増加し、傷者数は10.5%で0.6ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月別

死者は2月が7人で最も多いが、全体としては下半期の死者が15人(53.6%)と半数以上となっている。傷者数は12月が70人で最も多く、次いで11月の57人、10月の55人の順となっている。

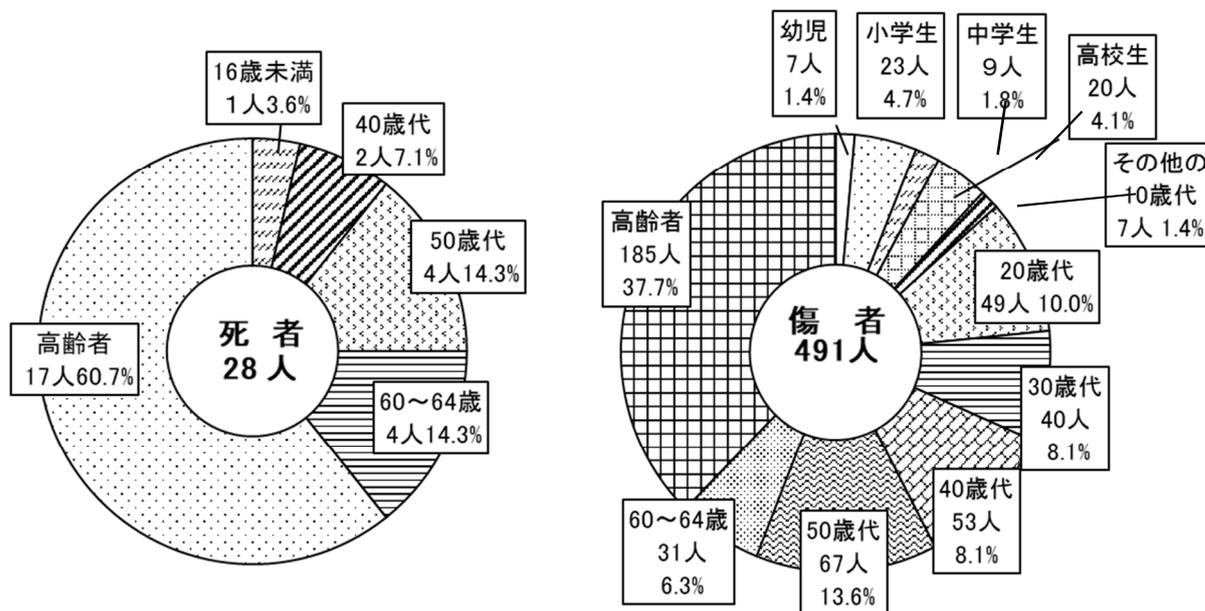
(単位：人・%)

区分	月													合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
被害	死者	2	7	3			1	2	4	2	1	4	2	28
	傷者	51	45	42	36	32	24	27	23	29	55	57	70	491
全死者・全傷者に占める割合	死者	40.0	77.8	50.0	0.0	0.0	50.0	66.7	80.0	33.3	33.3	57.1	33.3	45.9
	傷者	13.0	12.1	11.4	8.4	8.1	6.7	8.0	5.6	9.0	12.1	14.2	15.8	10.5

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が17人で最も多く、歩行者死者の60.7%を占めている。

傷者も高齢者が185人と最も多く、歩行者傷者の37.7%を占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は60.7%であり、その他の高齢者死者の57.6%よりやや高い数値となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は37.7%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合15.0%の約 2.5倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	1	3.6	45	9.2	
	16～19歳	1	3.6	21	4.3	
	20歳代	0	0.0	49	10.0	
	30歳代	0	0.0	40	8.1	
	40歳代	2	7.1	53	10.8	
	50歳代	4	14.3	67	13.6	
	60歳代	60～64	4	14.3	31	6.3
		65～69	3	10.7	37	7.5
	70歳代	70～74	0	0.0	29	5.9
		75～79	2	7.1	42	8.6
80歳以上	12	42.9	77	15.7		
合計		28	100.0	491	100.0	
歩行者の傷者	幼児	0	0.0	7	1.4	
	小学生	0	0.0	23	4.7	
	中学生	0	0.0	9	1.8	
	高校生	0	0.0	20	4.1	
	高齢者	17	60.7	185	37.7	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	199	4.7	
	16～19歳	2	6.1	203	4.8	
	20歳代	2	6.1	654	15.6	
	30歳代	3	9.1	771	18.4	
	40歳代	2	6.1	789	18.8	
	50歳代	2	6.1	708	16.9	
	60歳代	60～64	3	9.1	241	5.7
		65～69	1	3.0	244	5.8
	70歳代	70～74	6	18.2	172	4.1
		75～79	5	15.2	104	2.5
80歳以上	7	21.2	107	2.6		
合計		33	100.0	4,192	100.0	
その他の傷者	幼児	1	3.0	45	1.1	
	小学生	0	0.0	72	1.7	
	中学生	0	0.0	51	1.2	
	高校生	1	3.0	150	3.6	
	高齢者	19	57.6	627	15.0	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は10時～12時の5人が歩行者死者の17.9%を占め最も多く、次いで4時～6時、18時～20時、20時～22時がそれぞれ4人となっている。

傷者については、16～18時の97人が歩行者傷者の19.8%を占め最も多く、次いで18～20時の86人となっている。  
(単位：人・%)

区分	時間												
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者	2	1	4	2		5	2		3	4	4	1	28
構成率(%)	7.1	3.6	14.3	7.1	0.0	17.9	7.1	0.0	10.7	14.3	14.3	3.6	100.0
傷者	7	3	6	41	50	40	45	57	97	86	39	20	491
構成率(%)	1.4	0.6	1.2	8.4	10.2	8.1	9.2	11.6	19.8	17.5	7.9	4.1	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が19人と多く、歩行者死者の67.9%を占めている。

傷者は昼間が273人と多く、歩行者傷者の55.6%を占めている。  
(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者		2	7		9	6	10	3	19	28
構成率(%)		7.1	25.0	0.0	32.1	21.4	35.7	10.7	67.9	100.0
傷者		10	229	34	273	69	143	6	218	491
構成率(%)		2.0	46.6	6.9	55.6	14.1	29.1	1.2	44.4	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が12人と多く、歩行者死者の42.9%を占めている。

傷者は昼間・夜間ともに高齢者・その他が多くなっている。  
(単位：人・%)

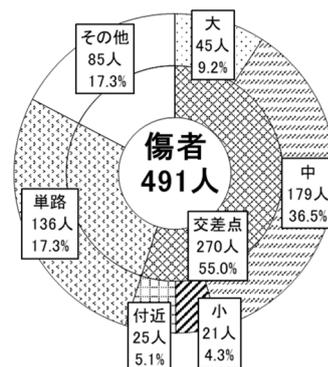
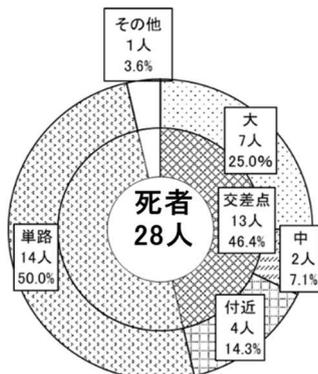
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			5	4	9		12	7	19	28
構成率(%)		0.0	17.9	14.3	32.1	0.0	42.9	25.0	67.9	100.0
傷者		35	118	120	273	10	67	141	218	491
構成率(%)		7.1	24.0	24.4	55.6	2.0	13.6	28.7	44.4	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が14人と多く、50.0%を占めている。交差点での死者は13人で、「大交差点」は7人、「中交差点」は2人、「交差点付近」は4人であった。

傷者は交差点が270人と多く、55.0%を占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は14人で、歩行者死者の50.0%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、23人と歩行者死者の82.1%を占め、傷者についても336人で歩行者傷者の68.4%を占めている。

(単位：人)

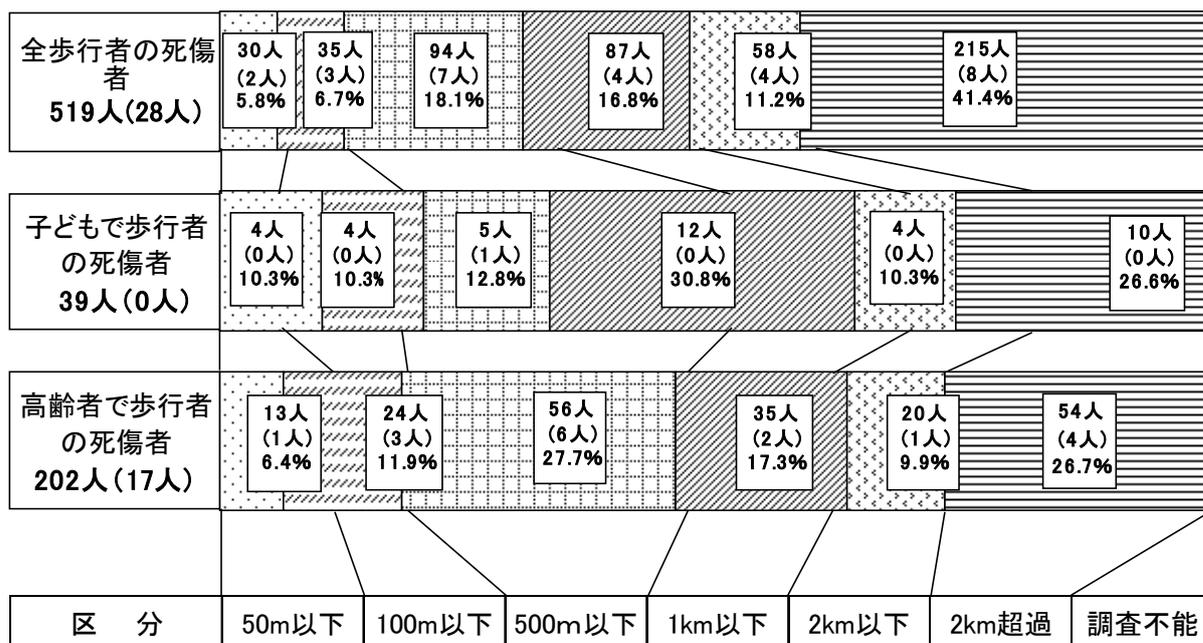
道路形状 信号機、歩車道区別の有無		交 差 点				計	単路	その他	合 計
		大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者	3			3			3
		傷 者	39	97	6	5	147		
信号機	信号機なし	死 者	4	2		4	14	1	25
		傷 者	6	82	15	20	123	136	85
合 計		死 者	7	2	0	4	13	14	28
		傷 者	45	179	21	25	270	136	491

歩車道 区 分 あ り	防護柵等	死 者					0	1		1
		傷 者	2	5	1	1	9			9
	縁石等	死 者	7	2		3	12	8		20
		傷 者	42	137	10	13	202	53		255
	路側帯	死 者					0	2		2
		傷 者	1	22	3	5	31	39	2	72
区分なし		死 者				1	3	1	5	
		傷 者		15	7	6	28	44	83	155
合 計		死 者	7	2	0	4	13	14	28	
		傷 者	45	179	21	25	270	136	491	

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が215人で歩行者死傷者の41.4%を占めている。

また、死者は8人で歩行者死者の28.6%を占めている。

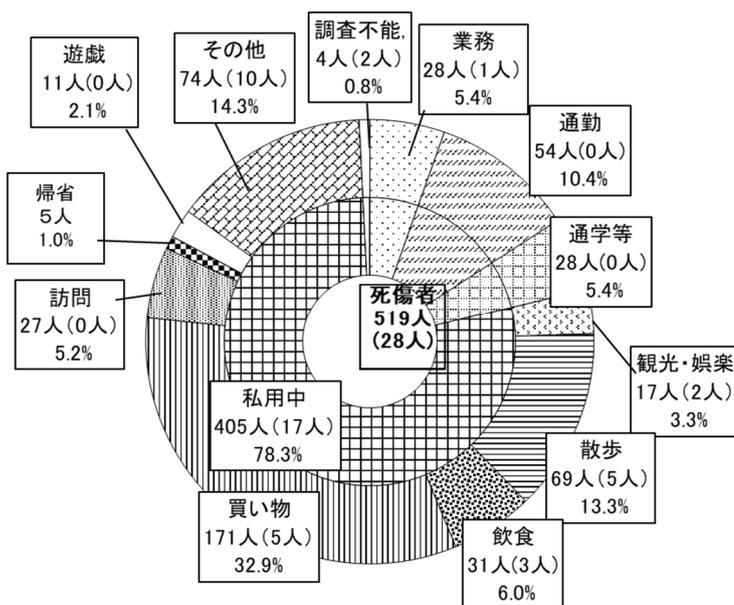


( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が 405人で78.3%を占めている。

うち買い物目的が最も多く 171人で32.9%となっている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は13人で歩行者死者の46.4%、傷者は 301人で歩行者傷者の61.3%を占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両													人対車両以外	合 計
	対面 通行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他		
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他									
死 者	1	3	5	1	0	7	13	0	0	3	1	0	5	2	28
構成率(%)	3.6	10.7	17.9	3.6	0.0	25.0	46.4	0.0	0.0	10.7	3.6	0.0	17.9	7.1	100.0
傷 者	31	36	171	6	0	124	301	0	7	8	8	3	89	8	491
構成率(%)	6.3	7.3	34.8	1.2	0.0	25.3	61.3	0.0	1.4	1.6	1.6	0.6	18.1	1.6	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者13人のうち、交差点での死者は9人で横断中死者の69.2%を占め、交差点内の傷者246人のうち、164人(66.7%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は7人で横断中死者の53.8%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状 横断場所	交 差 点				計		その他		合 計			
	交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
	死者	傷者	死者	傷者								
横断歩道	4	164			4	164	1	7	5	171	38.5	56.8
横断歩道付近		4	1	2	1	6			1	6	7.7	2.0
横断歩道橋付近					0	0			0	0	0.0	0.0
その他	4	61		15	4	76	3	48	7	124	53.8	41.2
合 計	8	229	1	17	9	246	4	55	13	301	100	100

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は16人（94.1%）、傷者は250人（87.4%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は11人で、うち3人（27.3%）は子どもの傷者となっている。

（単位：人・%）

横断場所		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他	
		駐車車両	停止車両	進行車両					
区分									
	子ども	死者						1	
	傷者		2	1	5		3	14	
高齢者	死者			1				13	
	傷者	1	1		1		7	110	
その他	死者							2	
	傷者	1	4	1	2		7	126	
合計	死者		0	0	1	0	0	0	16
		構成率(%)	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	94.1
	傷者		2	7	2	8	0	17	250
		構成率(%)	0.7	2.4	0.7	2.8	0.0	5.9	87.4

(8)違反別

（単位：人・%）

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった

死者は15人で53.6%を占め、傷者は113人で23.0%となっている。

イ 死者の違反は、酩酊・徘徊（路上横臥含む）

が7人と多く、違反あり死者の約半数を占め、次いで横断中の3人（20.0%）が続いている。

横断中では、横断歩道外横断、斜め横断、走行車両の直前・直後横断がそれぞれ1人となっている。

傷者の違反は横断中が55人と多く、違反あり傷者の53.4%を占めている。

違反	死傷者		傷者		
	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	
信号無視	1	3.6	5	1.0	
通行区分	2	7.1	21	4.3	
横断中	横断歩道外	1	3.6	29	5.9
	斜め横断	1	3.6	4	0.8
	駐停車両直前・直後		0.0	3	0.6
	走行車両直前・直後	1	3.6	18	3.7
	横断禁止場所		0.0	1	0.2
計	3	10.7	55	11.2	
酩酊・徘徊	7	25.0	4	0.8	
路上遊戯		0.0	1	0.2	
路上作業		0.0	2	0.4	
飛び出し		0.0	13	2.6	
その他の違反	2	7.1	12	2.4	
違反なし	13	46.4	378	77.0	
合計	28	100.0	491	100.0	

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

交通事故で死傷した人は

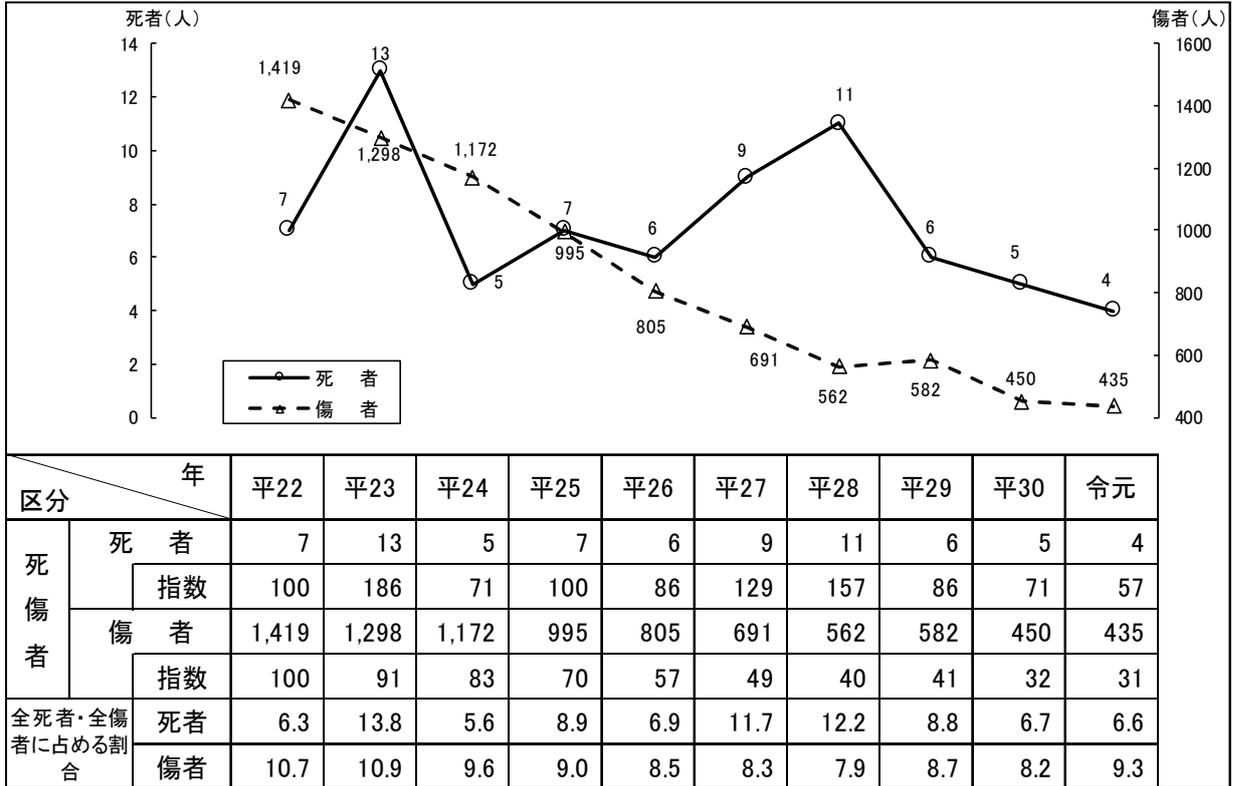
死者数 4人 (前年比 -1人 20.0%減)

傷者数 435人 (前年比 -15人 3.3%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者数に占める割合は 6.6%で0.1ポイントの減少、全傷者数に占める割合は9.3%で1.1ポイント減少した。

(単位：人・%)



区分		年	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和元
死傷者	死者		7	13	5	7	6	9	11	6	5	4
	指数		100	186	71	100	86	129	157	86	71	57
	傷者		1,419	1,298	1,172	995	805	691	562	582	450	435
	指数		100	91	83	70	57	49	40	41	32	31
全死者・全傷者に占める割合	死者		6.3	13.8	5.6	8.9	6.9	11.7	12.2	8.8	6.7	6.6
	傷者		10.7	10.9	9.6	9.0	8.5	8.3	7.9	8.7	8.2	9.3

#### (2) 月別

死者数は8月に2人、3月、4月、6月に各1人となっている。

傷者は、12月が52人と最も多く、次いで10月の48人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

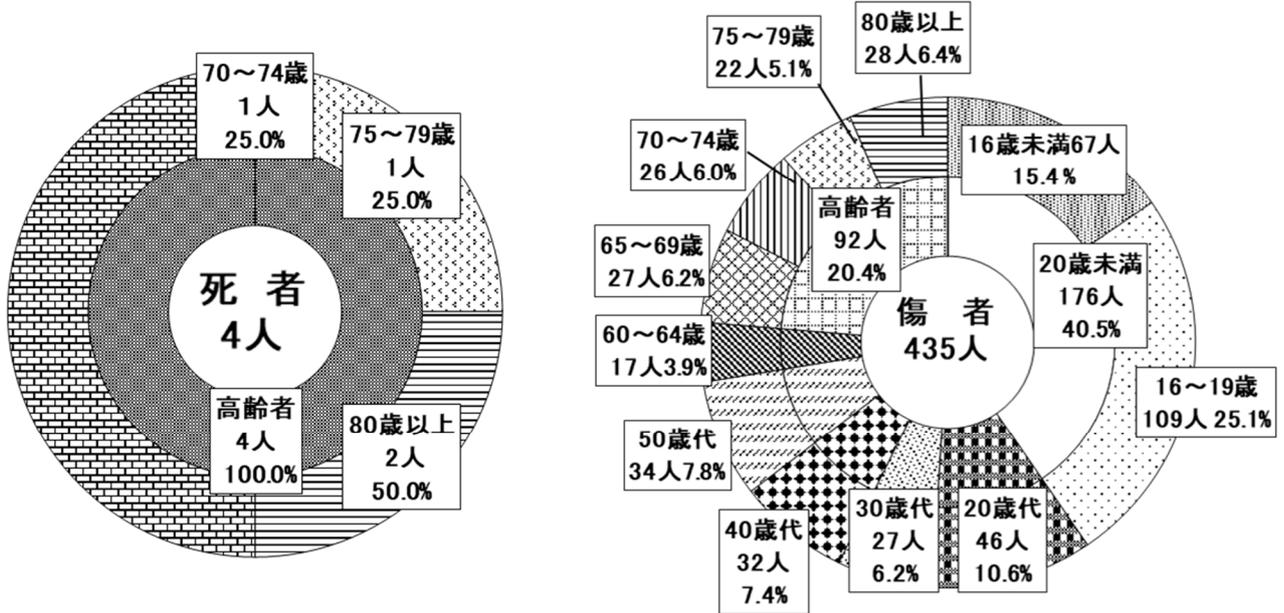
区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者				1	1		1		2					5
	傷者		23	27	27	41	46	35	44	41	28	48	38	52	450
全死傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
	傷者		5.9	7.3	7.3	9.5	11.7	9.7	13.1	10.0	8.7	10.5	9.5	11.8	9.6

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者4人が全て高齢者であった。

傷者は20歳未満が176人と多く、自転車傷者の40.5%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者に比べ、死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
自 転 車 の 死 傷 者	16歳未満	0	0.0	67	15.4	
	16～19歳	0	0.0	109	25.1	
	20歳代	0	0.0	46	10.6	
	30歳代	0	0.0	27	6.2	
	40歳代	0	0.0	32	7.4	
	50歳代	0	0.0	34	7.8	
	60歳代	60～64	0	0.0	17	3.9
	60歳代	65～69	0	0.0	27	6.2
	70歳代	70～74	1	25.0	26	6.0
	70歳代	75～79	1	25.0	22	5.1
	80歳以上	2	50.0	28	6.4	
	合 計	4	100.0	435	100.0	
内 訳	幼 児	0	0.0	1	0.2	
	小 学 生	0	0.0	12	2.8	
	中 学 生	0	0.0	27	6.2	
	高 校 生	0	0.0	118	27.1	
	高 齢 者	4	100.0	103	23.7	

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
そ の 他 の 死 傷 者	16歳未満	0	0.0	177	4.2	
	16～19歳	3	5.3	115	2.7	
	20歳代	2	3.5	657	15.5	
	30歳代	3	5.3	784	18.5	
	40歳代	4	7.0	810	19.1	
	50歳代	6	10.5	741	17.4	
	60歳代	60～64	7	12.3	255	6.0
	60歳代	65～69	4	7.0	254	6.0
	70歳代	70～74	5	8.8	175	4.1
	70歳代	75～79	6	10.5	124	2.9
	80歳以上	17	29.8	156	3.7	
	合 計	57	100.0	4,248	100.0	
内 訳	幼 児	1	1.8	51	1.2	
	小 学 生	0	0.0	83	2.0	
	中 学 生	0	0.0	33	0.8	
	高 校 生	1	1.8	52	1.2	
	高 齢 者	32	56.1	709	16.7	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18～20時の間に2人で、自転車死者の50.0%を占め、次いで16～18時、20～22時に各1人となっている。

傷者は16～18時が90人で、自転車傷者の20.7%を占め最も多く、次いで8～10時の76人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	時間												合計
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
死者									1	2	1			4
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
傷者		1		9	45	76	36	47	47	90	53	28	3	435
	構成率(%)	0.2	0.0	2.1	10.3	17.5	8.3	10.8	10.8	20.7	12.2	6.4	0.7	100.0

(単位：人・%)

イ 昼夜別

死者数は、夜間が多く3人、傷者は昼間が多く318人となっている。

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者				1	1	1	2		3	4
	構成率(%)	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	75.0	100.0
傷者		4	281	33	318	40	73	4	117	435
	構成率(%)	0.9	64.6	7.6	73.1	9.2	16.8	0.9	26.9	100.0

(単位：人・%)

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が3人で75.0%、昼間の高齢者が1人で25.0%を占めている。

傷者は、昼間のその他が173人と多く、自転車傷者の39.8%を占めている。

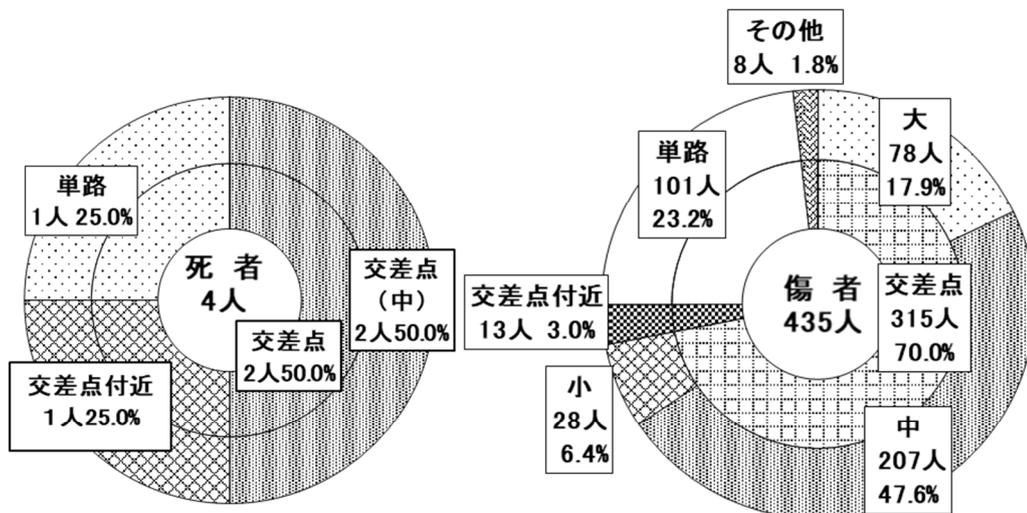
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			1		1		3		3	4
	構成率(%)	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	75.0	100.0
傷者		54	91	173	318	13	12	92	117	435
	構成率(%)	12.4	20.9	39.8	73.1	3.0	2.8	21.1	26.9	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、交差点が2人で自転車死者の50.0%を占め、傷者は交差点が315人で自転車傷者の70.0%を占めている。

交差点の大きさで見ると、死者・傷者ともに「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、信号機の無い交差点で1人、その付近で1人、信号機のある交差点で1人、単路で1人となっている。(単位：人)

信号機の有無		道路形状	交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者		1			1			1
		傷者	47	69	3	4	123		1	124
	信号機なし	死者		1		1	2	1		3
		傷者	31	138	25	9	203	101	7	311
合 計		死者	0	2	0	1	3	1	0	4
		傷者	78	207	28	13	326	101	8	435

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点で2人、交差点付近で1人、単路で1人となっており、傷者は交差点とその付近で326人(75.1%)と交差点が多くなっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が2人(50.0%)と多く、傷者も出会い頭 240人(55.3%)と多くなっている。(単位：人・%)

道路形状		交 差 点						計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		計						構成率(%)			
		事故類型		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0		
車 両 相 互	正 面 衝 突					0	0		2	0	2	0.0	0.5		
	追 突				1	0	1		9	0	10	0.0	2.3		
	出 会 い 頭	2	181	1	5	3	186		54	3	240	75.0	55.2		
	追 越 ・ 追 抜		2		3	0	5		9	0	14	0.0	3.2		
	転 回 ・ 後 退 時		1		2	0	3		10	0	13	0.0	3.0		
	進 路 変 更 時					0	0		1	0	1	0.0	0.2		
	す れ 違 い 時		1			0	1		4	0	5	0.0	1.1		
	左 折 時		54		1	0	55		10	0	65	0.0	14.9		
	右 折 時		73		1	0	74		5	0	79	0.0	18.2		
	そ の 他		1			0	1		4	0	5	0.0	1.1		
計		2	313	1	13	3	326	0	108	3	434	75.0	99.8		
車 両 単 独						0	0	1	1	1	1	25.0	0.2		
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0		
合 計		2	313	1	13	3	326	1	109	4	435	100.0	100.0		

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は高齢者の500m以内が多く、傷者は子どもでは101m~1000m、高齢者では2km超過、その他でも2km超過が多い。(単位：人・%)

区分		距離							調査不能	合 計
		50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過			
子 ども		2	4	9	11	8	5		39	
	構成率(%)	5.1	10.3	23.1	28.2	20.5	12.8	0.0	100.0	
高 齢 者		2	① 5	② 29	① 19	21	29		④ 105	
	構成率(%)	1.9	4.8	27.6	18.1	20.0	27.6	0.0	100.0	
そ の 他		4	12	26	46	68	135		291	
	構成率(%)	1.4	4.1	8.9	15.8	23.4	46.4	0.0	100.0	
合 計		8	① 21	② 64	① 76	97	169		④ 435	
		構成率(%)	1.8	4.8	14.7	17.5	22.3	38.9	0.0	100.0

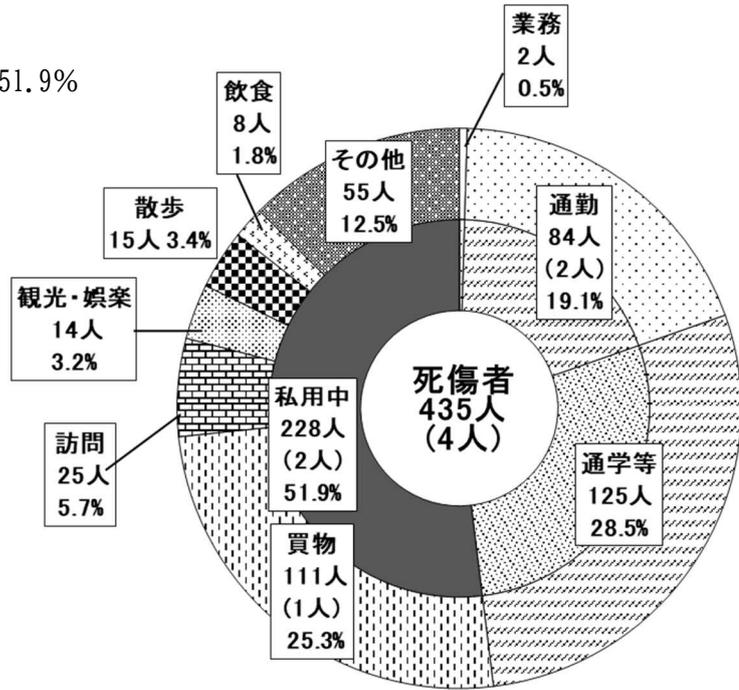
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が228人で、51.9%を占めている。

なかでも買物が111人で、25.3%を占めている。

通学等が125人(28.5%)、通勤が84人(19.1%)と多い。

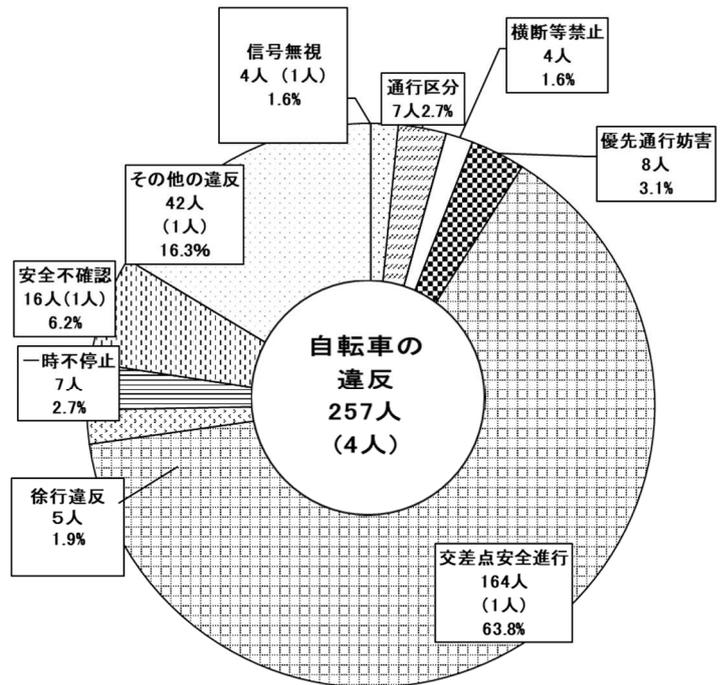


(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは4人(100%)、同じく傷者では253人(58.2%)となっている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視	1	25.0%	3	0.7%
通行区分		0.0%	7	1.6%
横断等禁止		0.0%	4	0.9%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%	8	1.8%
交差点安全進行	1	25.0%	163	37.5%
徐行違反		0.0%	5	1.1%
一時不停止		0.0%	7	1.6%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	25.0%	15	3.4%
ハンドル操作不適		0.0%		0.0%
その他の違反	1	25.0%	41	9.4%
違反なし		0.0%	182	41.8%
合 計	4	100.0%	435	100.0%



( )内は死者数で内数

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合	人数	割合
	3	75.0%	120	27.6%
		0.0%	19	15.8%

※同乗者は含まない

## 4 子供の事故

### (1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

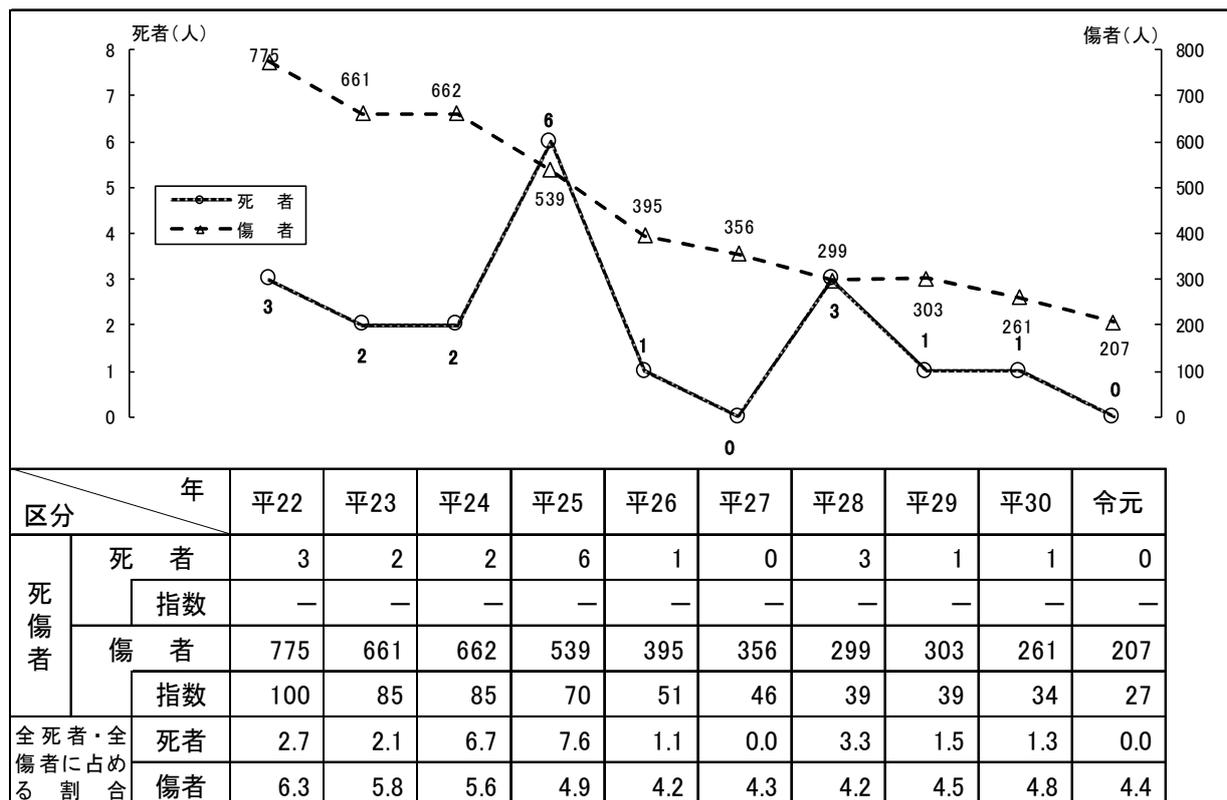
死者数 0人（前年比 -1人 100%減）

傷者数 207人（前年比 -54人 20.7%減）

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者に占める割合は0%で 1.3ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.4%で 0.4ポイント減少した。

（単位：人・%）



### (2) 月別

傷者数は8月の27人が最も多く、次いで4月の22人の順となっている。

（単位：人・%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者													0
	傷者	17	16	13	22	13	16	21	27	16	15	17	14	207
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	傷者	4.3	4.3	3.5	5.1	3.3	4.5	6.3	6.6	5.0	3.3	4.2	3.2	4.4

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の128人(61.8%)が最も多く、次いで自転車運転中の40人(19.3%)の順となっている。(単位:人・%)

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		同乗中		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者												0
	構成率(%)											0.0
傷 者		128						40		39		207
	構成率(%)	61.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.3	0.0	18.8	0.0	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位:人)

傷者は、小学生の95人が最も多く、次いで未就園児27人、幼稚園児、中学2年生がそれぞれ25人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学1年生、小学2年生がそれぞれ6人が最も多く、次いで幼稚園児の5人となっている。

自転車の傷者は、中学生2年生の15人が最も多く、次いで中学3年生の7人の順となっている。

学齢	状態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未就園児		2				25	0	27
	幼稚園児		5		1		19	0	25
	計	0	7	0	1	0	44	0	52
小 学 生	1年 年		6		1		11	0	18
	2年 年		6		3		8	0	17
	3年 年		3		2		10	0	15
	4年 年		3		1		11	0	15
	5年 年		4		2		10	0	16
	6年 年		1		3		10	0	14
	計	0	23	0	12	0	60	0	95
中 学 生	1年 年		3		5		13	0	21
	2年 年		2		15		8	0	25
	3年 年		4		7		3	0	14
	計	0	9	0	27	0	24	0	60
合 計	0	39	0	40	0	128	0	207	

(5) 時間別・昼夜別

(単位:人・%)

傷者は昼間が多く82.1%を占めている。

時間別では、下校時間帯及び放課後となる14~16時の48人が最も多く、次いで16~18時の37人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者						0	0
	構成率(%)						0.0
傷 者		170	18	37	12	207	30
	構成率(%)	82.1	8.7	17.9	5.8	100.0	14.5

\* 薄暮時は内数

(単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
		死 者												
構成率(%)														0.0
傷 者				1	20	18	16	36	48	37	20	9	2	207
	構成率(%)	0.0	0.0	0.5	9.7	8.7	7.7	17.4	23.2	17.9	9.7	4.3	1.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児、小学生は、買物での被害が多く、中学生は登下校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が9.6%、小学生は14.7%、中学生は45.0%となっている。  
(単位：人・%)

通行目的	学齢	幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登校	1	1.9	5	5.3	13	21.7	19	9.2
	学業中		0.0		0.0	1	1.7	1	0.5
	下校	4	7.7	9	9.5	13	21.7	26	12.6
私用	観光・娯楽	7	13.5	15	15.8	6	10.0	28	13.5
	ドライブ	2	3.8		0.0		0.0	2	1.0
	散歩	1	1.9	6	6.3	1	1.7	8	3.9
	飲食		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	買物	21	40.4	24	25.3	11	18.3	56	27.1
	訪問	3	5.8	7	7.4	3	5.0	13	6.3
	帰省	4	7.7	6	6.3	1	1.7	11	5.3
	遊戯(路上)	1	1.9	5	5.3	1	1.7	7	3.4
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	8	15.4	18	18.9	10	16.7	36	17.4
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合計		52	100.0	95	100.0	60	100.0	207	100.0

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち60.4%が、交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が10人と多い。

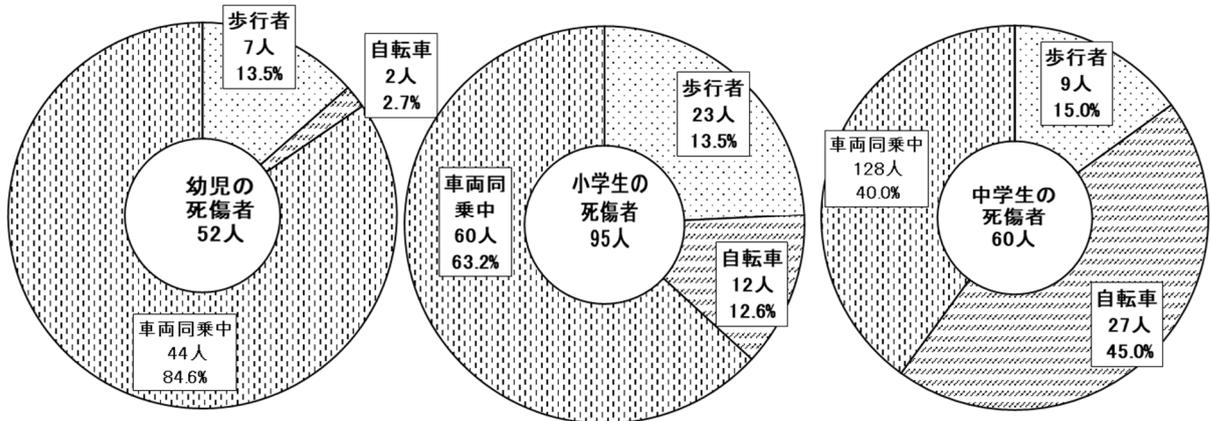
形状	区分	歩行者	自転車	その他	合計
交 差 点	人数	14	32	79	125
	構成率(%)	11.2	25.6	63.2	
単 路	人数	19	8	42	69
	構成率(%)	27.5	11.6	60.9	
駐 車 場 等	人数	6		7	13
	構成率(%)	46.2	0.0	53.8	
合 計	人数	39	40	128	207
	構成率(%)	18.8	19.3	61.8	

(単位：人)

学齢	区分	交 差 点			計	単 路			計	駐 車 場 等			計
		歩行者	自転車	その他		歩行者	自転車	その他		歩行者	自転車	その他	
幼 児		1		32	33	1	1	10	12	5		2	7
小 学 生		10	11	35	56	12	1	21	34	1		4	5
中 学 生		3	21	12	36	6	6	11	23			1	1
合 計		14	32	79	125	19	8	42	69	6	0	7	13

## イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く84.6%を占め、小学生についても半数を超えるなど比率が高くなっている。



## ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から 500メートル以内での事故が33.3%を占め、自転車乗車中についても自宅から 500メートル以内での事故が40.0%を占めている。

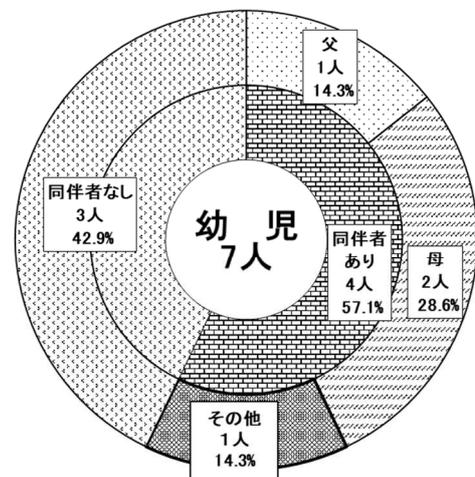
(単位：人・%)

区分 距離	歩行者								自転車								合計		
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計		合計		
	構成率 (%)	人数	構成率 (%)																
50 m 以下	0.0	2	8.7	2	22.2	4	10.3	0.0	0.0	2	7.4	2	5.0	6	7.6				
100m 以下	0.0	3	13.0	1	11.1	4	10.3	0.0	3	25.0	1	3.7	4	10.0	8	10.1			
500m 以下	0.0	5	21.7	0.0	0.0	5	12.8	0.0	3	25.0	7	25.9	10	25.0	15	19.0			
1km 以下	1	14.3	9	39.1	2	22.2	12	30.8	1	100.0	3	25.0	7	25.9	11	27.5	23	29.1	
2km 以下	0.0	2	8.7	2	22.2	4	10.3	0.0	0.0	3	25.0	5	18.5	8	20.0	12	15.2		
2km 超過	6	85.7	2	8.7	2	22.2	10	25.6	0.0	0.0	0.0	5	18.5	5	12.5	15	19.0		
調査不能	0.0		0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
合計	7	100.0	23	100.0	9	100.0	39	100.0	1	100.0	12	100.0	27	100.0	40	100.0	79	100.0	

## エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者7人のうち、「同伴者あり」は4人で、「同伴者なし」は3人となっている。

同伴者は父親が1人で母親が2人、その他が1人となっている。



(8) 事故類型

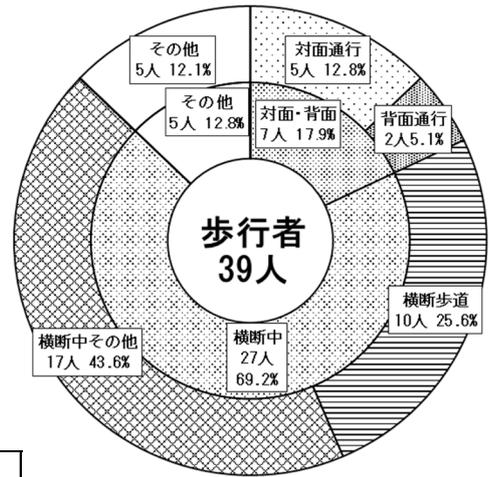
ア 歩行者

事故類型別では横断中が27人と多く歩行者被害の69.2%を占め、中でも横断中その他での傷者が17人と多く横断中傷者の半数以上を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道のある信号機のない場所で小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

横断場所 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児	1	1		5
小学生	2	15		6
中学生	2	6		1



イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が25人で、自転車乗用中の62.5%を占め最も多く、次いで右折時の7人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が32人と多く、自転車乗用中傷者の80.0%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状等 事故類型	交 差 点		計	その他	合 計		幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近			構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他	
人 対 車 両			0		0	0.0						
車 両 相 互	正 面 衝 突		0		0	0.0						
	追 突	1	1	1	2	5.0						2
	出 会 い 頭	21	21	4	25	62.5		1	10		11	3
	追 越 ・ 追 抜			0	1	1	2.5					1
	転 回 ・ 後 退 時			0		0	0.0					
	進 路 変 更 ・ す れ 違 い 時			0		0	0.0					
	右 折 時	7		7		7	17.5			1		6
左 折 時	3		3		3	7.5					3	
そ の 他			0	1	1	2.5						1
計	10	22	32	7	39	97.5	0	1	11	0	20	7
車 両 単 独			0	1	1	2.5					1	
列 車			0		0	0.0						
合 計	10	22	32	8	40	100.0	0	1	11	1	20	7

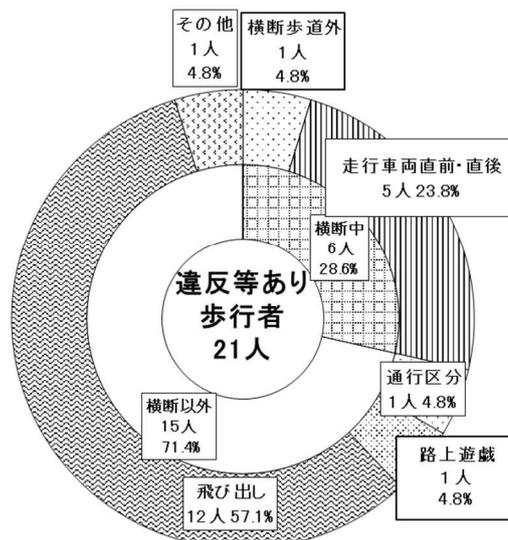
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者39人のうち、何らかの違反が認められた者は21人で、子供の歩行中事故の53.8%を占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが12人と最も多く、違反のあった歩行者の57.1%を占めている。

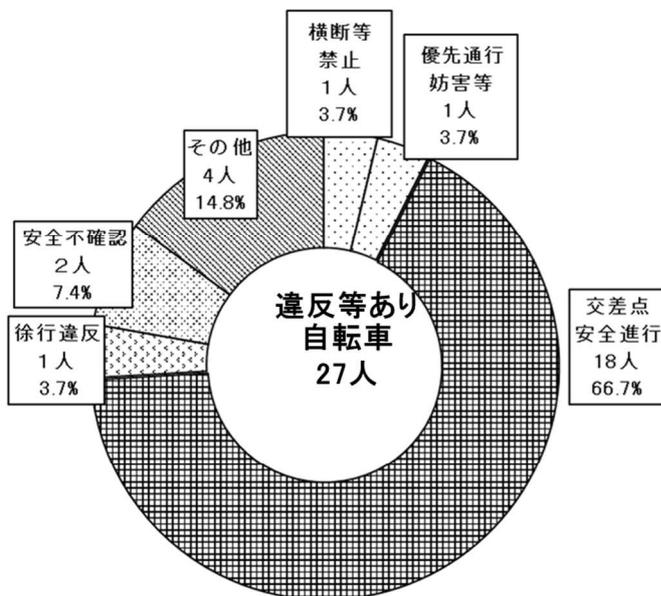
歩 行 者	幼 児	■違反あり 3人 □違反なし 42.9%	4人 57.1%
	小 学 生	14人 60.9%	9人 39.1%
	中 学 生	4人 44.4%	5人 55.6%
	子 ども 以 外	231人 57.9%	168人 42.1%



イ 自転車

自転車の傷者40人のうち、何らかの違反が認められたのは27人で自転車傷者数の67.5%を占めている。違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が18人（66.7%）で最も多く、次いで安全不確認の2人（7.4%）が続いている。

自 転 車	幼 児	■違反あり 1人 □違反なし 100%	1人 100%
	小 学 生	11人 91.7%	1人 8.3%
	中 学 生	16人 59.3%	11人 40.7%
	子 ども 以 外	231人 57.9%	168人 42.1%



## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 11件 (前年比 +3件 37.5%増)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

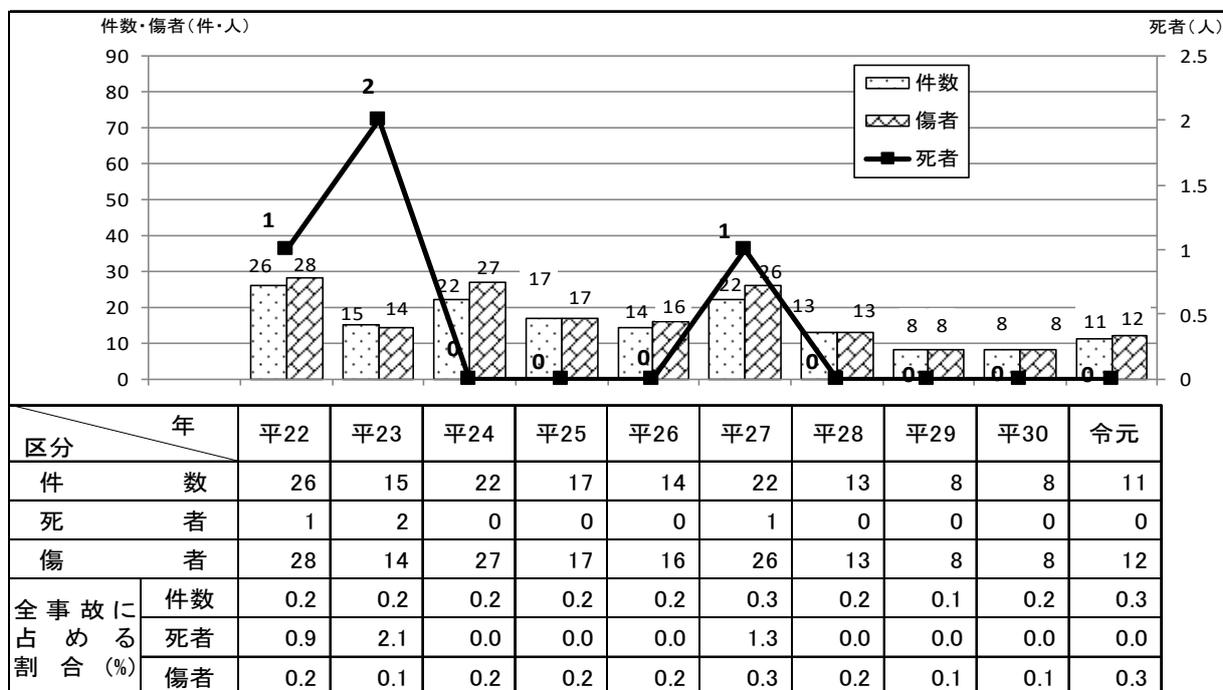
傷者数 12人 (前年比 +4人 50.0%増)

で、発生件数、傷者が増加した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成22年の26件で、令和元年の11件は平成22年と比べると約58%減少している。

死者は、平成23年の2人が最も多く、平成22、27年は1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)

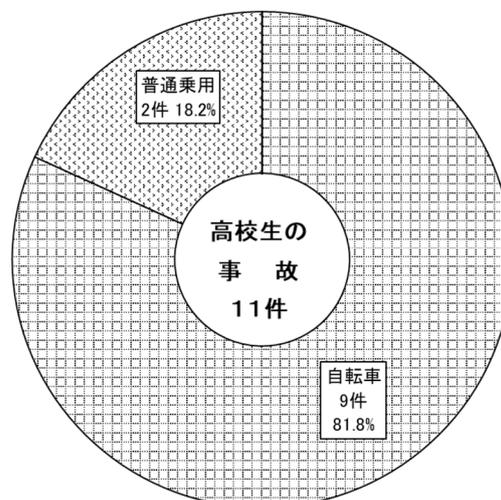


#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、

自転車が9件で81.8%を占め、次いで、

普通乗用車の2件 (18.2%) となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は4件で36.4%を占め、一時不停止2件、通行区分・追越し方法違反、歩行者妨害等がそれぞれ1件となっている。

安全運転義務違反による事故は5件で、前方不注意が4件となっている。

(単位:件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率(%)		構成率(%)				構成率(%)		構成率(%)	
悪質違反	信号無視	0.0	199	5.1		徐行違反		0.0	25	0.6	
	最高速度	0.0	3	0.1		ハンドル・ブレーキ		0.0	218	5.6	
	通区分・追越し	1	9.1	61	1.6	前方不注意	4	36.4	977	24.9	
	歩行者妨害等	1	9.1	293	7.5	安全運転義務違反	1	9.1	546	13.9	
	一時不停止	2	18.2	286	7.3	安全不確認		0.0	520	13.3	
	酒酔い運転		0.0	4	0.1	安全速度		0.0	34	0.9	
計	4	36.4	846	21.6	その他		0.0	29	0.7		
横断禁止等		0.0	93	2.4	計	5	45.5	2,324	59.3		
右・左折違反		0.0	11	0.3	その他		0.0	70	1.8		
優先通行妨害等	2	18.2	383	9.8	合計	11	100.0	3,919	100.0		
交差点安全進行		0.0	167	4.3	無免許(内数)		0.0	19	0.5		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が36.4%で約1.7倍となっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	4件 36.4%	5件 45.5%	2件 18.2%
全事故	846件 21.6%	2,324件 59.3%	749件 19.1%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自転車による事故が9件発生し、うち交差点において5件発生し、全事故の45.5%を占めている。

(単位:件)

当事者	道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)				右	左
自動車		1	1	1	2		
二輪車	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
計		0	0	0	0	0	0
自転車		4	1	5	9		
歩行者					0		
合計		5	2	6	11	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人（前年比 ±0人 増減なし）

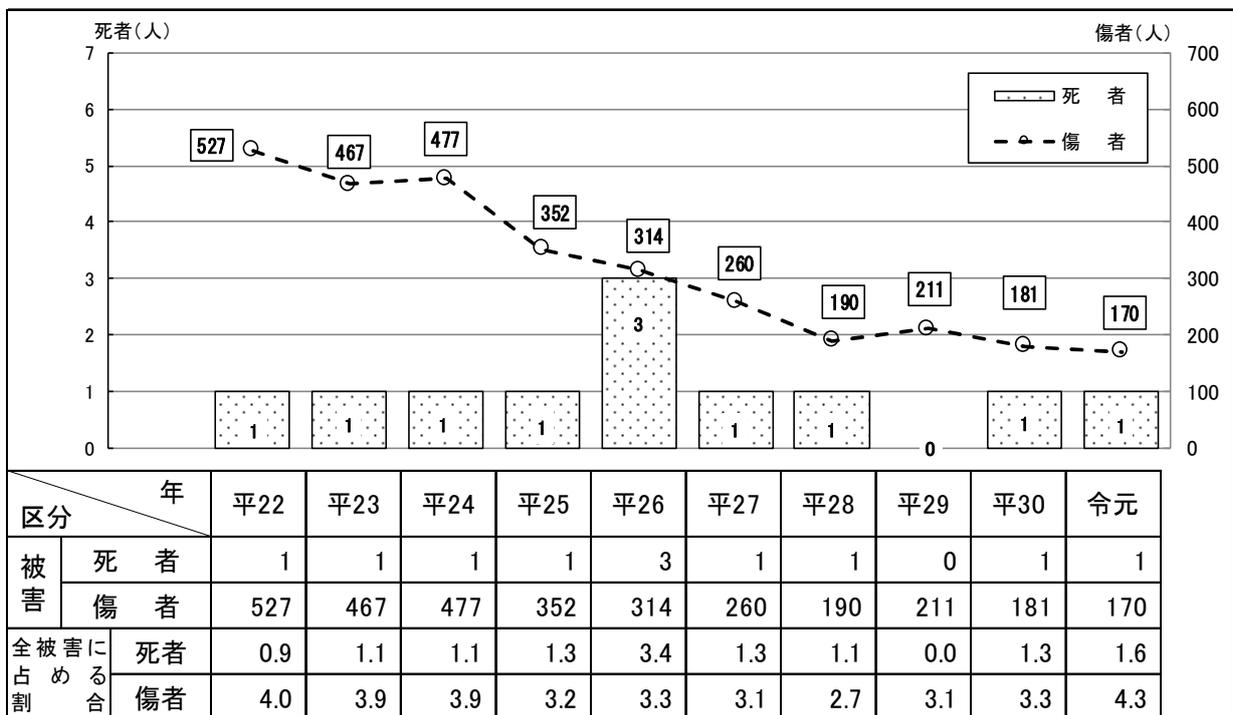
傷者数 170人（前年比 -11人 6.1%減）

で、死者数は増減がなかったが、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人で、その他は平成29年を除き1人が亡くなっている。

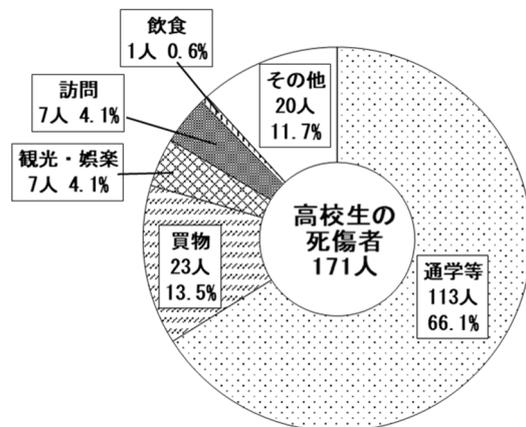
傷者が最も多いのは平成22年の527人で、最も少ないのは令和元年の170人となっている。

（単位：人・％）



イ 通行目的

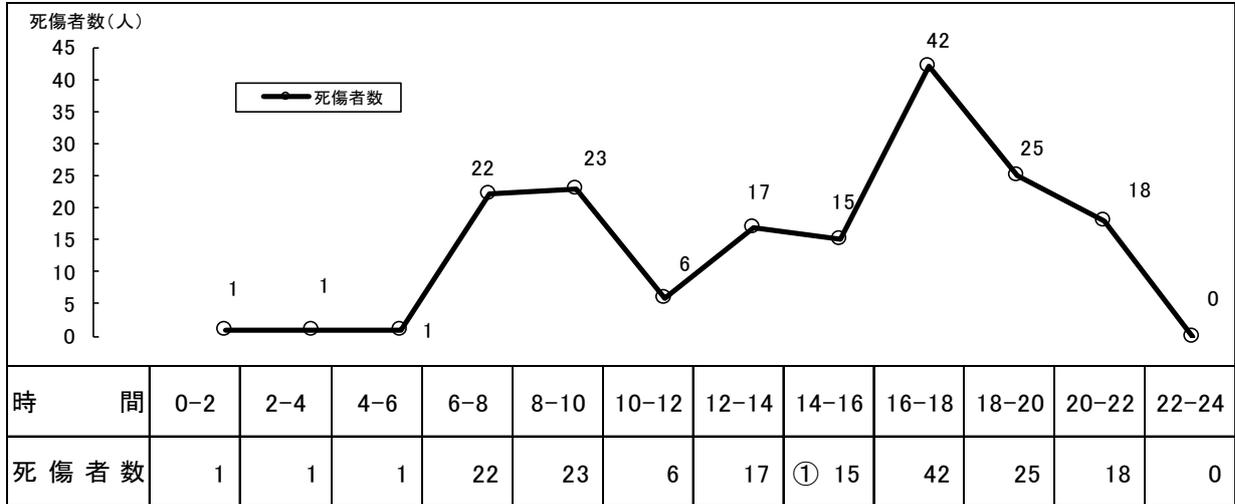
通学等の死傷者は113人で高校生死傷者の66.1パーセントを占め最も多く、次いで買物の23人となっている。



ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に16時～18時が42人、18～20時が25人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の39.2%を占めている。

(単位：人)



エ 状態別

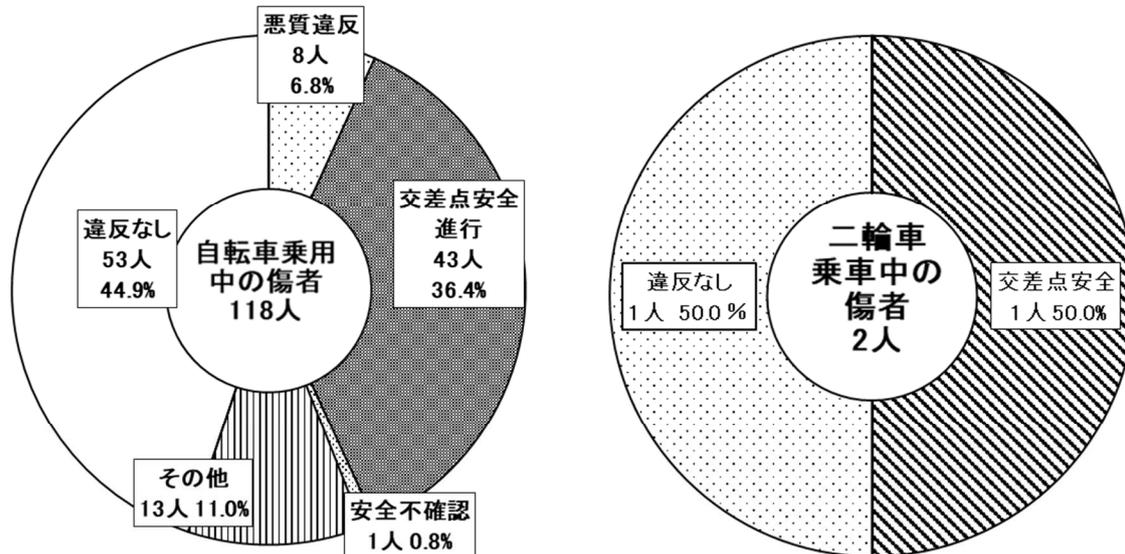
高校生の傷者は自転車乗用中が 118人と最も多く高校生傷者の69.0%を占め、次いで自動車同乗中の29人(17.0%)、歩行中の20人(11.7%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自 動 車		自動二輪車		原 付 乗 車 中	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
		運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中					
死 者		0	1	0	0	0	0	0	0	1
	構成率(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者		1	29	1	1	0	118	20	0	170
	構成率(%)	0.6	17.1	0.6	0.6	0.0	69.4	11.8	0.0	100.0

自転車の違反状況をみると、55.1%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、交差点安全進行義務違反が1人である。

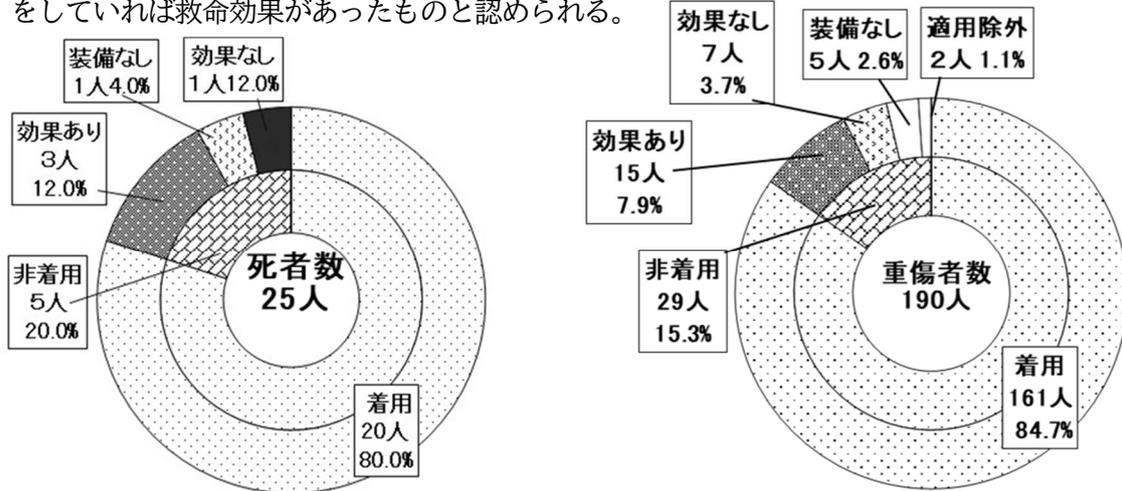


## 6 自動車のシートベルト着用状況

### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者5人中3人（60.0%）はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

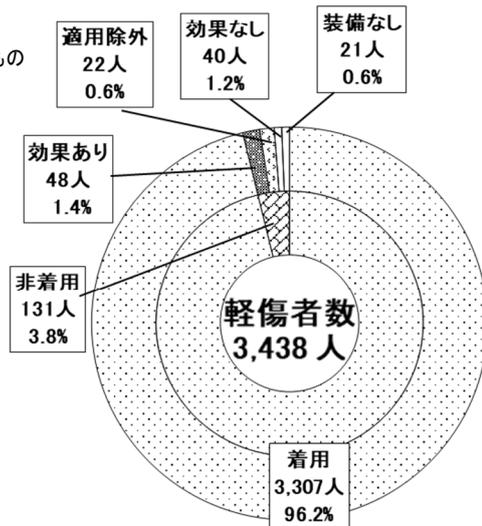


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの  
効果なし……シートベルトを着用しているも、損傷部位等から  
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.2%、助手席が97.1%、後部席が67.6%である。

死者の着用率は、運転席が77.8%、助手席が100%、後部席は75.0%であった。



運転席	死者 18人	着用 14人 77.8%	非着用 4人 22.2%
	傷者 2,916人	着用 2,863人 98.2%	非着用 53人 1.8%
助手席	死者 3人	着用 3人 100%	
	傷者 419人	着用 407人 97.1%	非着用 12人 2.9%
後部席	死者 4人	着用 3人 75.0%	非着用 1人 25.0%
	傷者 293人	着用 198人 67.6%	非着用 95人 32.4%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、40歳代が50.0%と最も低く、次いで20歳未満が66.7%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が88.4%と最も低く、65～69歳が99.6%と最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0			-	2	2	100.0
	傷 者	44	44	100.0	56	55	98.2	115	91	79.1	215	190	88.4
20～24歳	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0			-	2	2	-
	傷 者	208	204	98.1	44	40	90.9	23	13	56.5	275	257	93.5
25～29歳	死 者			-			-			-			-
	傷 者	274	272	99.3	26	26	100.0	18	11	61.1	318	309	97.2
30歳代	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	629	616	97.9	64	62	96.9	28	20	71.4	721	698	96.8
40歳代	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	652	635	97.4	50	47	94.0	28	19	67.9	730	701	96.0
50歳代	死 者	1	1	100.0			-	1	0	0.0	2	1	50.0
	傷 者	568	558	98.2	61	61	100.0	25	14	56.0	654	633	96.8
60～64歳	死 者	2		0.0			-			-	2	0	0.0
	傷 者	180	178	98.9	26	26	100.0	9	4	44.4	215	208	96.7
65～69歳	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	171	168	98.2	34	34	100.0	6	6	100.0	211	208	98.6
70歳以上	死 者	8	7	87.5	1	1	100.0	3	3	100.0	12	11	91.7
	傷 者	190	188	98.9	58	56	96.6	41	20	48.8	289	264	91.3
合 計	死 者	18	14	77.8	3	3	100.0	4	3	75.0	25	20	80.0
	傷 者	2,916	2,863	98.2	419	407	97.1	293	198	67.6	3,628	3,468	95.6

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、10～12時が0%と最も低く、2～4時、4～6時、12～14時が100%と最も高い。

傷者は2～4時が100%と最も高く、0～2時が88.7%と最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	36	36	100.0	11	11	100.0	6		0.0	53	47	88.7
2～4	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	5	5	100.0	2	2	100.0			-	7	7	100.0
4～6	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	39	36	92.3	5	3	60.0	6	6	100.0	50	45	90.0
6～8	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	364	361	99.2	27	27	100.0	23	13	56.5	414	401	96.9
8～10	死 者	4	3	75.0			-			-	4	3	75.0
	傷 者	404	397	98.3	46	44	95.7	32	22	68.8	482	463	96.1
10～12	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	365	356	97.5	71	69	97.2	39	30	76.9	475	455	95.8
12～14	死 者	2	2	100.0	1	1	-			-	3	3	100.0
	傷 者	329	325	98.8	63	62	98.4	40	31	77.5	432	418	96.8
14～16	死 者	4	4	100.0	1	1	100.0	2		0.0	7	5	71.4
	傷 者	355	349	98.3	56	56	100.0	58	40	69.0	469	445	94.9
16～18	死 者	2	1	50.0	2	2	100.0	1	1	100.0	5	4	80.0
	傷 者	478	469	98.1	67	65	97.0	40	26	65.0	585	560	95.7
18～20	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	345	341	98.8	34	33	97.1	23	17	73.9	402	391	97.3
20～22	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	144	138	95.8	27	25	92.6	19	10	52.6	190	173	91.1
22～24	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	52	50	96.2	10	10	100.0	7	3	42.9	69	63	91.3
合 計	死 者	18	14	77.8	4	4	100.0	3	1	33.3	25	19	76.0
	傷 者	2,916	2,863	98.2	419	407	97.1	293	198	67.6	3,628	3,468	95.6

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 38人（前年比 -15人 28.3%減）

で、死者は昨年に続いて0人であり、傷者数は減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が7人（うち死亡0人）、後部座席が31人（うち死亡0人）となっている。

【助手席】

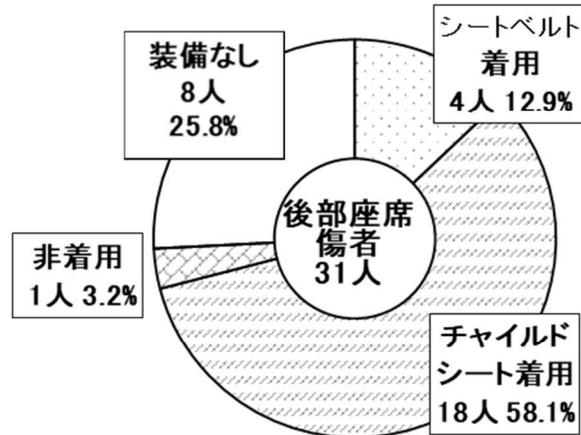
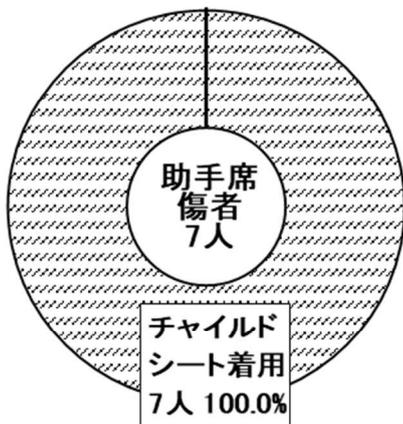
（単位：人）

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト			
	チャイルドシート	7		1
	計	7	0	1
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等				
合計		7	0	1

【後部座席】

（単位：人）

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	4		
	チャイルドシート	18		1
	計	22	0	1
非着用	効果あり	1		
	効果なし			
	計	1	0	0
装備なし等		8		1
合計		31	0	2



非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

非着用のうち	
効果あり	1人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	1人

後部座席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	2人

## 7 青年運転者の事故

### (1) 概況

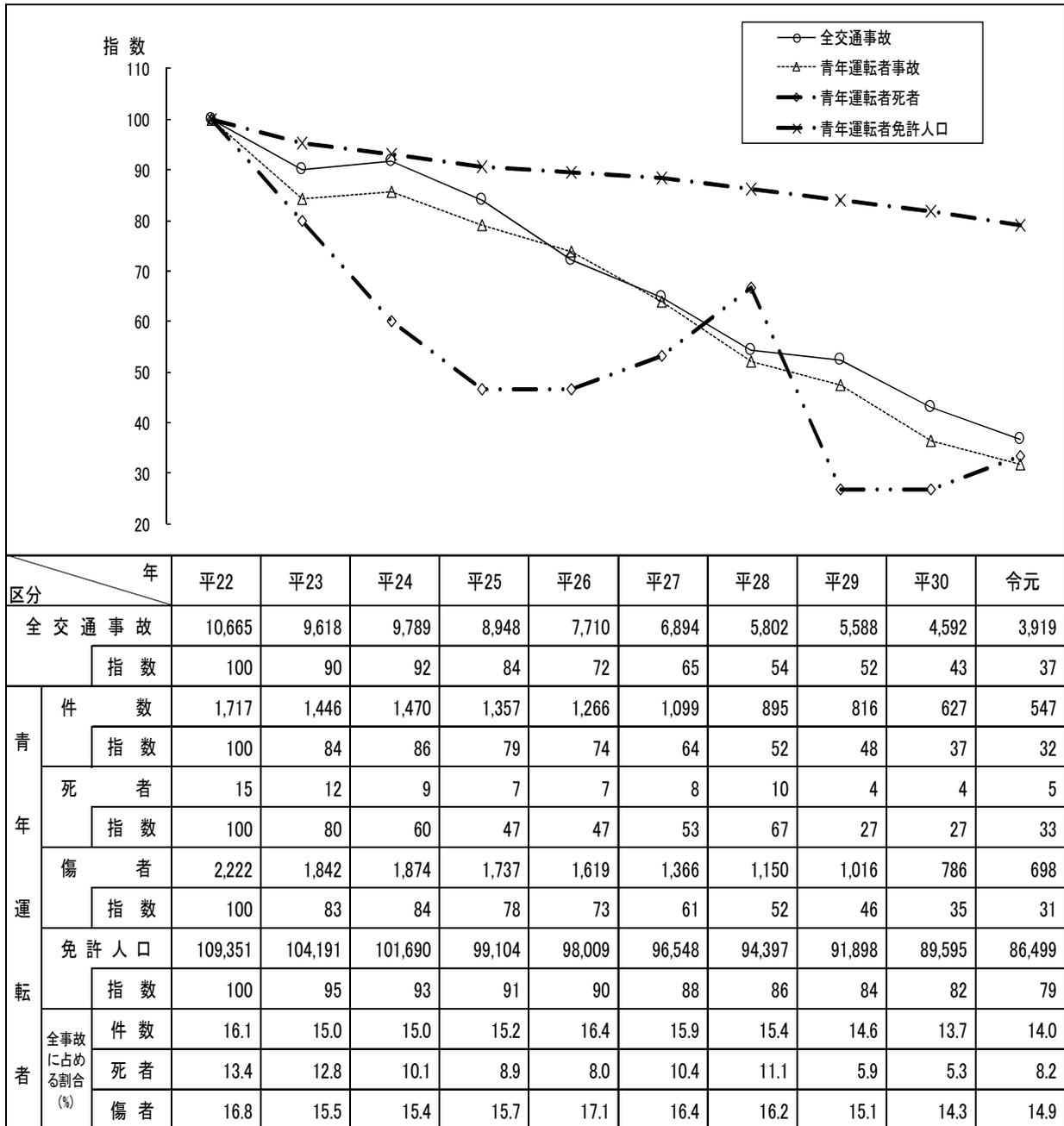
青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	547件	(前年比	-80件	12.8%減)
死者数	5人	(前年比	+1人	25.0%増)
傷者数	698人	(前年比	-88人	11.2%減)

で、発生件数、傷者数は減少し、死者数は増加した。

全事故に占める割合は、件数が14.0%、死者数が8.2%、傷者数が14.9%となっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が 264件で最も多く、青年運転者の48.3%を占めている。

違反別では、前方不注意が 153件で最も多く28.0%を占めている。

悪質違反による事故は99件で青年運転者の18.1%を占め、うち一時不停止が35件と最も多い。

(単位：件)

違反		車種		自 動 車						二 輪 車				合計
		大乗等	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小	二 軽	二 原	二 原 付		
悪 質 違 反	信号無視		14	10	2									26
	最高速度													0
	通区・追越		8	3		3	2							16
	歩行者妨害等		14	6		1	1							22
	一時不停止		15	18			2							35
	酒酔い運転													0
計		0	51	37	2	4	5	0	0	0	0	0	99	
横断禁止等			1	4	1									6
右折違反														0
左折違反														0
優先通行妨害等			28	32		1	2							63
交差点安全進行			7	8										15
徐行違反			2	1									1	4
過労運転			1	4										5
安 全 運 転 義 務 違 反	ハンドル・ブレーキ		20	15	1	3								39
	前方不注意		68	66	4	7	8							153
	動静不注視		41	41	3	5	4						1	95
	安全不確認		30	17		1	1							49
	安全速度		6	1										7
	その他		4	2										
計		0	169	142	8	16	13	0	0	0	0	0	1	349
その他			5	1										6
合計		0	264	229	11	21	20	0	0	0	0	0	2	547

(3) 時間別・道路別

時間別では、16～18時が99件と最も多く、次いで18～20時の82件、6～8時の75件となっている。

道路別では、市町村道が 201件と最も多く、次いで国道が 179件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の69.5%を占めている。

(単位：件)

区分		時間												合計
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
国 道	4号	2		2	8	6	3	6	4	10	5	2	2	50
	6号	1		1	2		2	2	2	5	9	7		31
	13号							1		1	1	1		4
	49号			2	4	1	2	2	4	4	3		1	23
	計	4	1	7	25	20	13	14	16	33	29	13	4	179
県道		4	1	3	22	18	9	15	10	22	21	10	3	138
市町村道		3	1	4	27	27	12	15	19	39	29	21	4	201
高速道				1					1	1	1	1	1	6
その他					1	3	1	5	2	4	2	4	1	23
合計		11	3	15	75	68	35	49	48	99	82	49	13	547

(4) 事故類型別

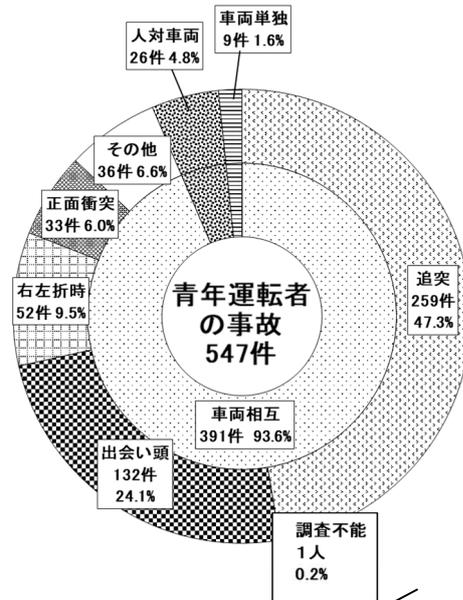
車両相互が391件で青年運転者事故の93.6%を占めている。

特に、

追 突： 259件 (47.3%)

出会い頭： 132件 (24.1%)

が多く、両事故類型を合わせると 391件で車両相互の71.4%を占めている。

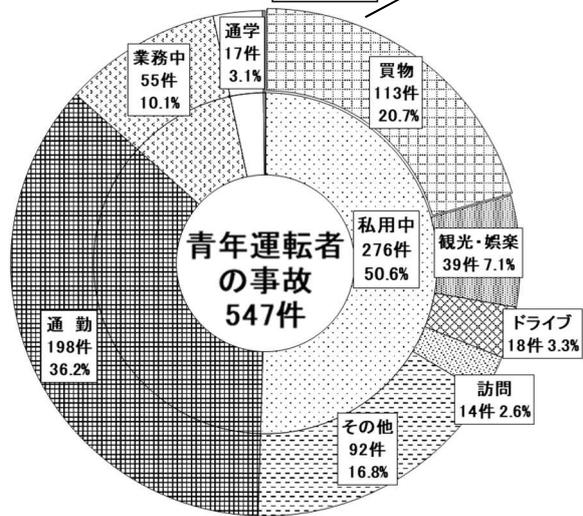


(5) 通行目的別

私用中が 276件で青年運転者事故の50.6%を占めている。

特に、買物が 113件と多く、私用中事故の20.7%を占め、次いで観光・娯楽の39件の順となっている。

また通勤時の事故も 198件発生し、青年運転者事故の36.2%を占めている。



(6) 車種別・速度別 (事故直前速度)

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が 489件で最も多く、青年運転者事故の89.4%を占めている。

車種別で見ると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

車種 速度	自動車											二輪車				合計			
	大乗	中乗	乗準	中型	普乗	軽乗	大貨	中貨	準中	中型	普貨	軽貨	特貨	殊小	二軽		二原	二原	付
停止中																			0
50 km/h 以下				238	208	1	2	5	16	17								2	489
60 km/h 以下				16	16			2	5	2									41
70 km/h 以下				2	4		1			1									8
80 km/h 以下				1	1														2
90 km/h 以下				2															2
100 km/h 以下				2															2
101 km/h 以上				3															3
調査不能																			0
合計	0	0	0	264	229	1	3	7	21	20	0	0	0	0	0	0	2	547	

(7) 人的原因別

発見の遅れが 376件と多く、青年運転者による事故の68.7%を占めている。

このうち安全不確認が 144件と多く、次いで多い脇見等 128件と合わせると、「発見の遅れ」全体の72.3%を占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
<b>合 計</b>	件数	死者	547
	傷者		698
<b>発見の遅れ 計</b>	件数	死者	376
	傷者		470
<b>前方不注意 計</b>	件数	死者	232
	傷者		302
<b>内在的(漫然等) 計</b>	件数	死者	104
	傷者		133
居眠り運転	件数	死者	13
	傷者		14
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	死者	1
	傷者		0
雑談や携帯電話等で話していた	件数	死者	5
	傷者		0
その他、考え事等の漫然運転	件数	死者	85
	傷者		3
<b>外在的(脇見等) 計</b>	件数	死者	128
	傷者		169
物を落とした、物を取ろうとした	件数	死者	24
	傷者		0
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	死者	6
	傷者		31
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件数	死者	4
	傷者		4
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	死者	4
	傷者		6
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	死者	0
	傷者		0
道、案内標識等を探して脇見	件数	死者	7
	傷者		0
風景、地物等に脇見	件数	死者	25
	傷者		0
他の車、歩行者に脇見	件数	死者	24
	傷者		0
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	死者	4
	傷者		5
その他脇見	件数	死者	30
	傷者		45
<b>安全不確認 計</b>	件数	死者	144
	傷者		168
安全確認をしなかった	件数	死者	44
	傷者		1
安全確認が不十分だった	件数	死者	100
	傷者		0
	死者		121
	傷者		121

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
<b>判断の誤り等 計</b>	件数	死者	130
	傷者		171
<b>動静不注視 計</b>	件数	死者	107
	傷者		132
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	死者	0
	傷者		0
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	死者	3
	傷者		0
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	死者	104
	傷者		128
<b>予測不適 計</b>	件数	死者	10
	傷者		16
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件数	死者	6
	傷者		12
相手がルールを守ると思った	件数	死者	1
	傷者		1
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	死者	1
	傷者		0
他の事故(危険)を避けようと思った	件数	死者	0
	傷者		0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	死者	2
	傷者		2
<b>交通環境 計</b>	件数	死者	13
	傷者		23
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	死者	3
	傷者		0
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件数	死者	2
	傷者		0
交通規制に対する認識を誤った	件数	死者	6
	傷者		0
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	死者	2
	傷者		0
障害物等に対する認識を誤った	件数	死者	0
	傷者		0
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	死者	0
	傷者		0
<b>操作上の誤り(操作不適) 計</b>	件数	死者	41
	傷者		57
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	死者	6
	傷者		8
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	死者	18
	傷者		0
急ブレーキをかけた	件数	死者	3
	傷者		0
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数	死者	0
	傷者		0
ハンドルの操作不適	件数	死者	10
	傷者		11
ギヤの入れ違い	件数	死者	0
	傷者		0
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	死者	0
	傷者		0
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数	死者	1
	傷者		0
その他の操作不適	件数	死者	3
	傷者		0
<b>調 査 不 能</b>	件数	死者	0
	傷者		0

## 8 高齢者の事故（65歳以上）

### (1) 高齢運転者による事故

#### ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

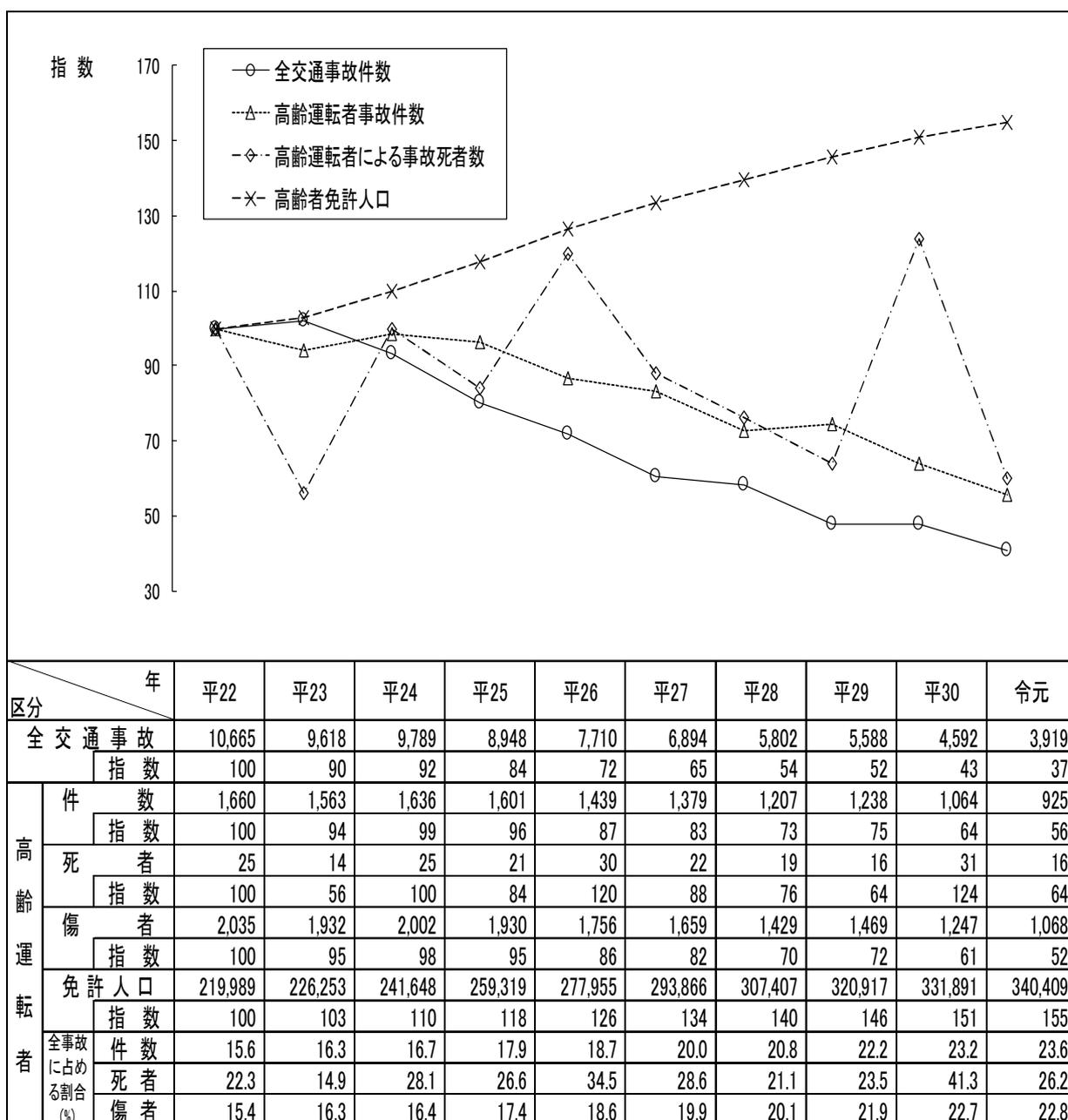
発生件数 925件（前年比 -139件 13.1%減）

死者数 16人（前年比 -15人 48.3%減）

傷者数 1,068人（前年比 -179人 14.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数のいずれも減少した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が180件と最も多く、次いで16～18時の157件、12～14時の153件の順となっている。

8時～18時までの発生は748件と高齢運転者事故の80.9%を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、632件と高齢運転者事故の68.3%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間											合計	昼間	夜間	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22				22-24
国 道	4号	1			1	6	9	6	4		6	1		34	26	8
	6号	1		1	5	4	2	7	2	4	4		30	22	8	
	13号			1	2	1	1		2	2	1		11	6	5	
	49号				2	3	10	5	3	9		1	33	26	7	
	三桁		1		6	15	17	25	15	18	10	1	108	89	19	
	計	2	1	2	16	29	39	44	24	33	22	4	0	216	169	47
県 道	計	1		2	11	34	46	29	39	37	16	5	220	186	34	
	市町村道		1	4	27	61	76	66	54	73	35	13	2	412	343	69
生活道路 計		1	1	6	38	95	122	95	93	110	51	18	2	632	529	103
高 速 道							1						1	2	1	1
そ の 他		1			1	6	18	14	11	14	8	2		75	62	13
合 計		4	2	8	55	130	180	153	128	157	81	24	3	925	761	164

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が440件で、高齢運転者事故の47.6%を占め、次いで軽乗用車の273件、軽貨物車の144件と続いている。

また、二輪車による事故は8件で高齢運転者事故の0.9%を占めている。

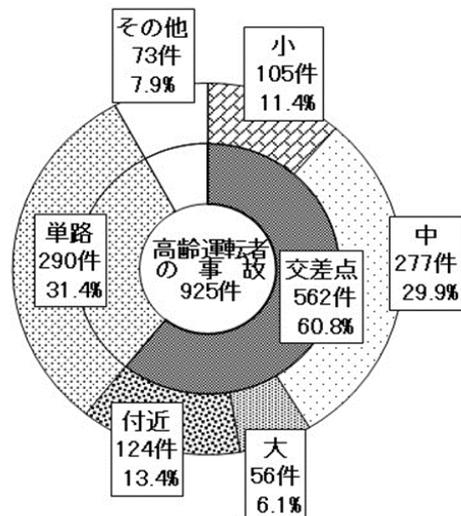
(単位：件)

年齢	車種	自 動 車						特殊車	二 輪 車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65 ~ 69 歳			170	101	17	9	39		1		2	339
70 歳 代			207	118	16	9	69	2		1	3	425
80 歳 以 上			63	54	1	6	36				1	161
合 計		0	440	273	34	24	144	2	1	1	6	925

エ 道路形状別

交差点での事故は562件で、高齢運転者事故の60.8パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の27.9%を占めている。



オ 違反別

前方不注意による事故が174件と最も多く、高齢運転者事故の18.8%を占め、次いで安全不確認138件の順となっている。

悪質違反は 265件で、一時不停止が97件と最も多く、次いで歩行者妨害等の87件となっている。

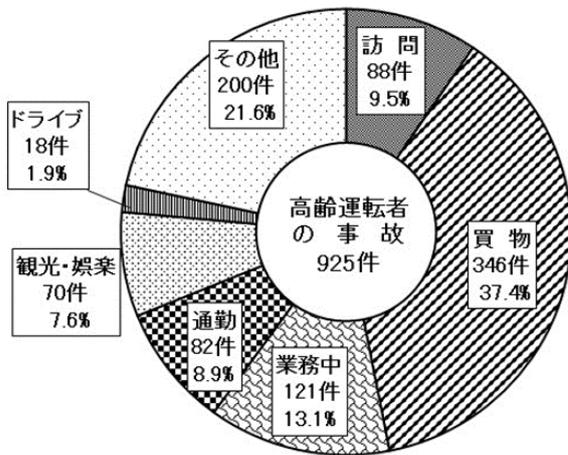
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は28.6%となっており、全交通事故の占める悪質違反の割合21.5%と比較すると7.1ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他	合 計			
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	安 全 速 度			そ の 他		
件 数	61		19	87	97	1	265	22	2	2	108	41	8	61	174	85	138	3	8	469	8	925
構成率(%)	6.6	0.0	2.1	9.4	10.5	0.1	28.6	2.4	0.2	0.2	11.7	4.4	0.9	6.6	18.8	9.2	14.9	0.3	0.9	50.7	0.9	100.0

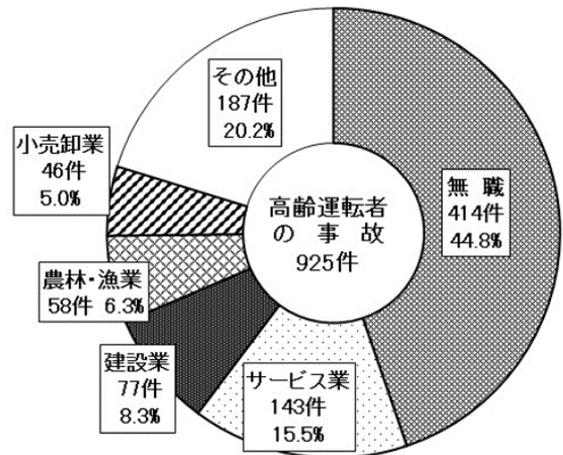
カ 通行目的別

買物が 346件と多く、高齢運転者事故の37.4%を占めている。



キ 職業別

無職が 414件と最も多く、高齢運転者の44.8%を占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
		免許人口	86,499	862,929	340,409
	構成率(%)	6.7	66.9	26.4	100
件数		547	2,388	925	3,860
	構成率(%)	14.2	61.9	24.0	100
死者		5	35	16	56
	構成率(%)	8.9	62.5	28.6	100
傷者		698	2,733	1,068	4,499
	構成率(%)	15.5	60.7	23.7	100

※ 原付以上の運転者が対象 (不明除く)

(免許人口は令和元年12月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

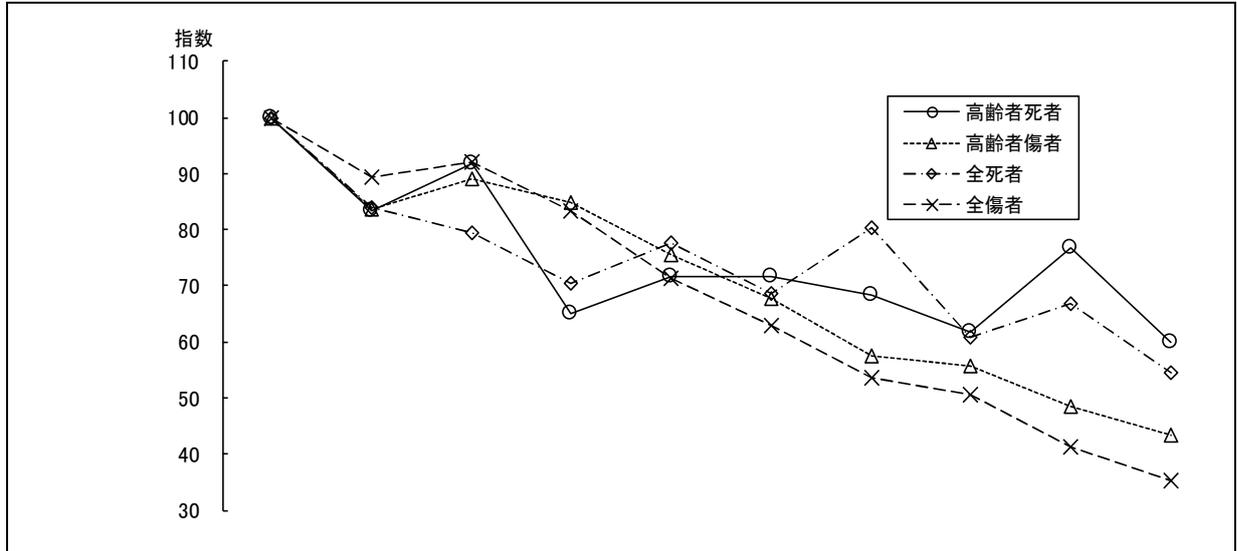
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 36人 (前年比 -0人 21.7%減)

傷者数 812人 (前年比 -93人 10.3%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

(単位：人)



年		平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
死傷者	死者	60	50	55	39	43	43	41	37	46	36
	指数	100	83	92	65	72	72	68	62	77	60
高齢者死傷者	傷者	1,868	1,563	1,666	1,587	1,411	1,266	1,075	1,043	905	812
	指数	100	84	89	85	76	68	58	56	48	43
全死傷者	死者	112	94	89	79	87	77	90	68	75	61
	指数	100	84	79	71	78	69	80	61	67	54
全死傷者	傷者	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482	4,683
	指数	100	89	92	83	71	63	54	51	41	35

イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は24人で高齢者死者の66.7%、傷者は564人で高齢者傷者の69.5%を占めている。

(単位：人・%)

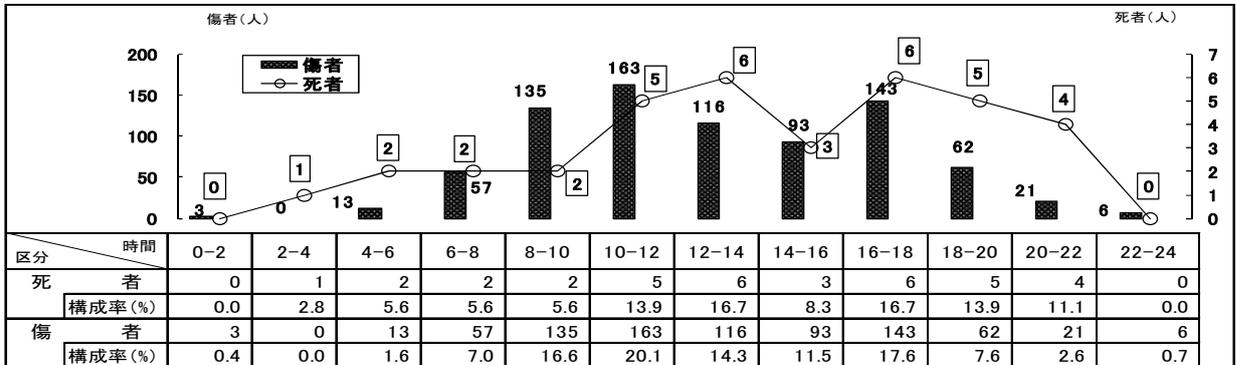
区分	道路	国 道					計	生活道路			高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市 町 村 道	計			
死 者		3			1	6	10	10	14	24		2	36
	構成率(%)	8.3	0.0	0.0	2.8	16.7	27.8	27.8	38.9	66.7	0.0	5.6	100.0
傷 者		47	32	9	27	80	195	216	348	564	4	49	812
	構成率(%)	5.8	3.9	1.1	3.3	9.9	24.0	26.6	42.9	69.5	0.5	6.0	100.0

ウ 時間別

死者は12～14時、16～18時の6人が最も多く、高齢者死者の33.3%を占め、次いで10～12時、18～20時の5人の順となっている。

傷者は10～12時の163人が最も多く、高齢者傷者の20.1%を占め、次いで16～18時の143人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の17人が最も多く、高齢死者の47.2%を占め、次いで四輪運転の9人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。

(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		3	37	2	71	12	77	17	185
自転車			27	2	48	2	28	4	103
原付			2		8	1	6	1	16
自二			3	1	1			1	4
四輪運転		1	171	6	157	2	33	9	361
四輪同乗			40	2	62	2	37	4	139
その他			1				3	0	4
合計		4	281	13	347	19	184	36	812

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは9人で52.9%を占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは45人で24.3%を占め、横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反	違反あり									違反なし	合計	
	信号無視	通行区分	横断			断		酩酊・徘徊	その他			
			横歩道断外	斜め横断	駐車停車	走直前直後	横断場禁所					
死者	1	1	1	1			1		3	1	8	17
傷者	4	8	18	2			8			5	140	185

(イ) 自転車

死者の違反については、信号無視、交差点安全進行違反、安全不確認、その他が各1人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは65人で63.1%を占め、うち交差点安全進行義務違反が43人と最も多い。

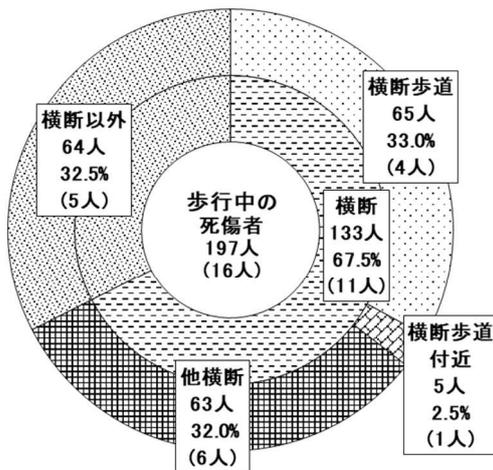
(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安全進点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者	1				1			1	1		4
傷者	2	3	1	4	43	2		3	7	38	103

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

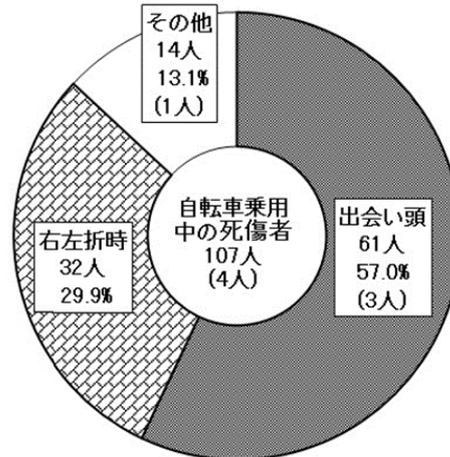
横断が133人と多く、歩行中死傷者の67.5%を占めている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

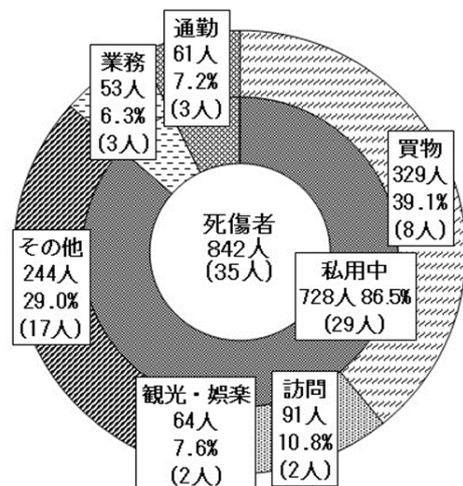
出会い頭事故が61人と多く、自転車事故死傷者の57.0%を占めている。



\* ( )内は死者で内数

キ 通行目的別

買物が329人と最も多く、高齢者死傷者全体の39.1%を占め、次いで訪問、観光・娯楽と続いている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く  
(死傷者から6人 うち死者1人を除外)

## 9 初心運転者の事故

### (1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 128件 (前年比 -36件 22.0%減)

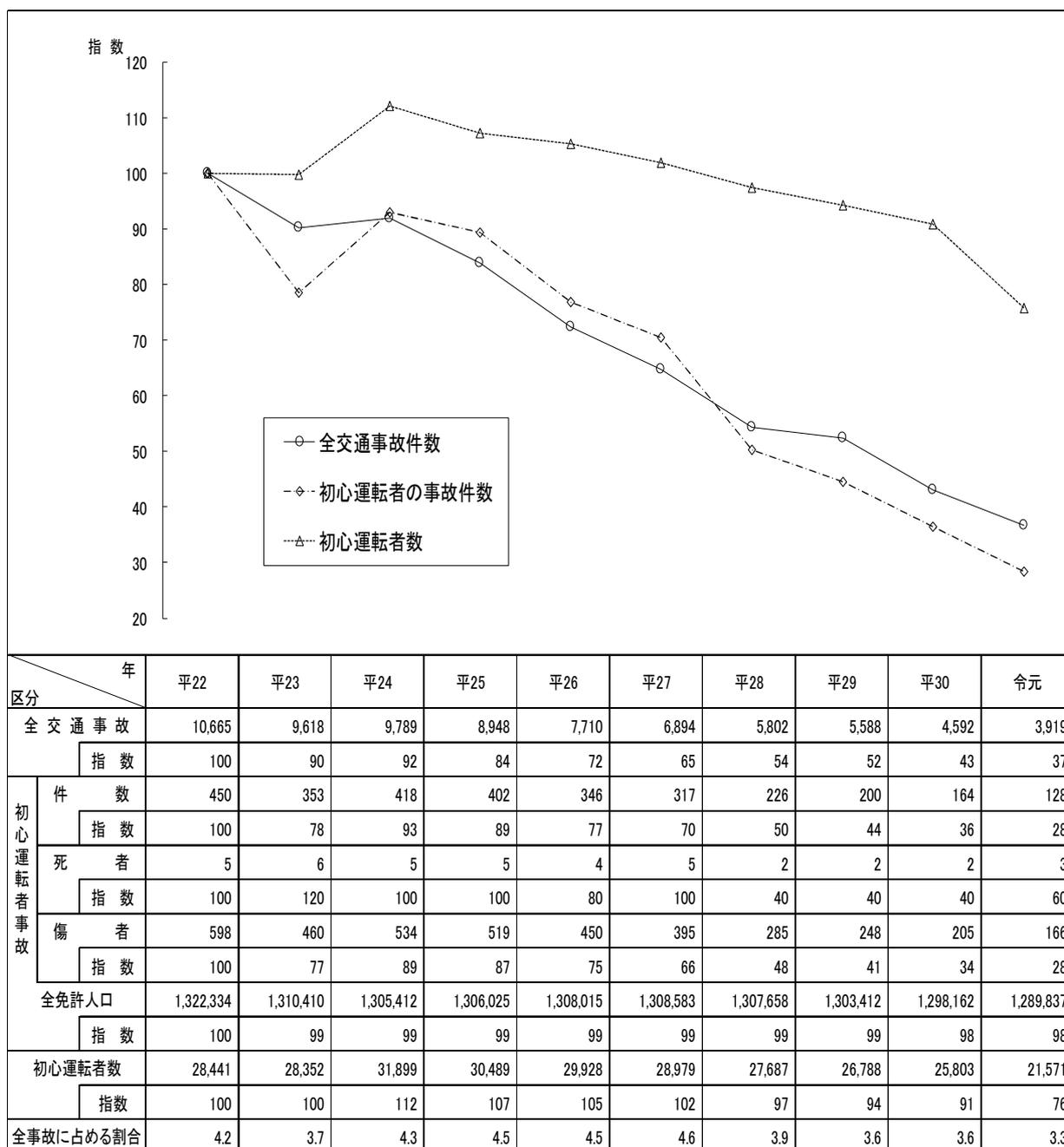
死者数 3人 (前年比 +1人 50.0%減)

傷者数 166人 (前年比 -39人 19.0%減)

で、死者は前年から1人増加し、発生件数、傷者数はともに減少した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合も減少傾向にある。

(単位：件・人・%)

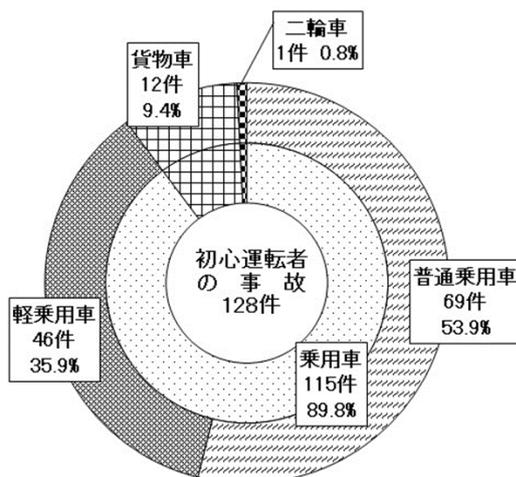


区分	年	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
全交通事故	件数	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919
	指数	100	90	92	84	72	65	54	52	43	37
初心運転者事故	件数	450	353	418	402	346	317	226	200	164	128
	指数	100	78	93	89	77	70	50	44	36	28
	死者	5	6	5	5	4	5	2	2	2	3
	指数	100	120	100	100	80	100	40	40	40	60
	傷者	598	460	534	519	450	395	285	248	205	166
指数	100	77	89	87	75	66	48	41	34	28	
全免許人口	件数	1,322,334	1,310,410	1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583	1,307,658	1,303,412	1,298,162	1,289,837
	指数	100	99	99	99	99	99	99	99	98	98
初心運転者数	件数	28,441	28,352	31,899	30,489	29,928	28,979	27,687	26,788	25,803	21,571
	指数	100	100	112	107	105	102	97	94	91	76
全事故に占める割合		4.2	3.7	4.3	4.5	4.5	4.6	3.9	3.6	3.6	3.3

(2) 車種別

乗用車が115件で初心運転者事故の89.8%を占め、普通乗用車の占める割合が53.9%と高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪車が11.1%と最も高くなっている。



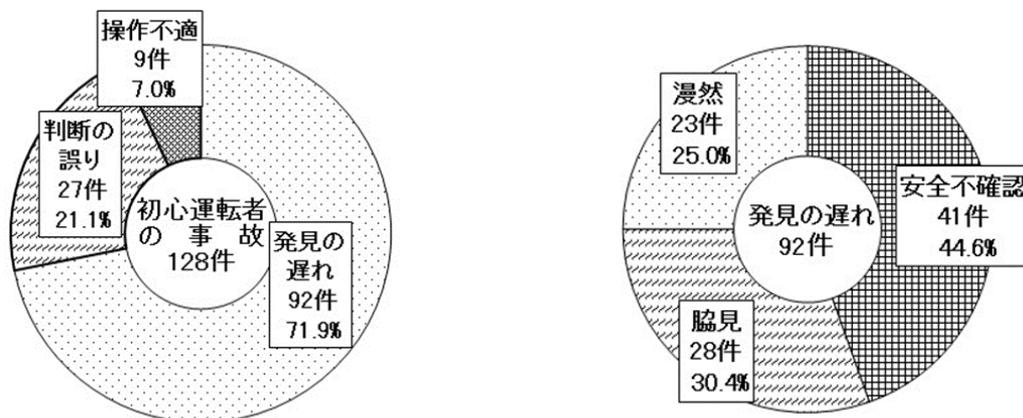
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合	
		件数	割合 (%)
大型・中型・準中乗用車	0	0.0	0.0
普通乗用車	69	3.4	3.4
軽乗用車	46	4.0	4.0
普通貨物車	0	0.0	0.0
軽貨物車	0	0.0	0.0
大型・中型・準中貨物車	12	6.8	6.8
特殊車	0	0.0	0.0
小型二輪車	1	11.1	11.1
軽二輪車	0	0.0	0.0
二種原付	0	0.0	0.0
原付	0	0.0	0.0

(3) 人的原因

発見の遅れが92件で最も多く、初心運転者事故の71.9%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が41件と最多で、脇見が28件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が38件で初心運転者事故の29.7%を占め最も多く、次いで多いのが動静不注視の20件となっている。

悪質違反は19件で同事故の14.8%を占め、うち一時不停止が7件で最も多く、次いで歩行者妨害等5件となっている。両違反を合わせると12件となり、悪質違反の63.4%を占めている。

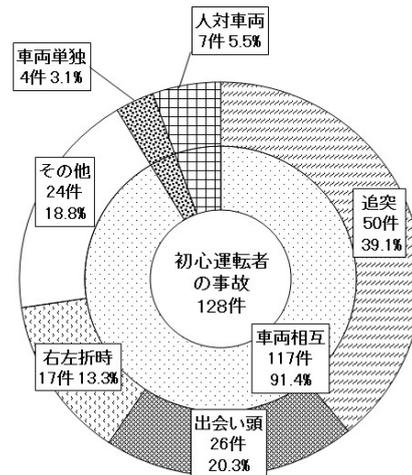
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		4	3.1	安全運転義務違反	徐行違反		1	0.8
	最高速度			0.0		過労運転		1	0.8
	通区・追越		3	2.3		ハンドル操作		2	1.6
	歩行者妨害等		5	3.9		ブレーキ操作		7	5.5
	一時不停止		7	5.5		前方不注意		38	29.7
	酒酔い運転			0.0		動静不注視		20	15.6
計		19	14.8	安全不確認			13	10.2	
横断禁止等		2	1.6	安全速度			2	1.6	
車間距離不保持			0.0	予測不適				0.0	
進路変更禁止			0.0	その他			1	0.8	
右・左折違反		1	0.8	計		83	64.8		
優先通行妨害等		16	12.5	その他			0.0		
交差点安全進行		5	3.9	合計		128	100.0		

(5) 事故類型別

車両相互の事故が117件で初心運転者事故の91.4%を占めている。

その中でも追突が50件と多く、次いで出会い頭が26件と続いており、両事故で59.4%を占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く82件で初心運転者事故の64.1%を占め、年齢別では、25歳未満の事故が113件(88.3%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)	
業務	職業運転	業務目的	4	3.1	年齢別	青年	16～19歳	94	73.4	
			8	6.3			20～24歳	19	14.8	
			計	113			88.3			
通勤等	出勤		18	14.1		年齢別	25歳代	25～29歳	3	2.3
	退社		11	8.6				30歳代	5	3.9
	通学		5	3.9				40歳代	3	2.3
私用	観光・娯楽		14	10.9				50歳代	2	1.6
	ドライブ		8	6.3				60～64歳	1	0.8
	散歩			0.0				計	14	10.9
	飲食		8	6.3		高齢者	65～69歳		0.0	
	買い物		29	22.7	70歳代		1	0.8		
	訪問		5	3.9	80歳以上			0.0		
帰省		3	2.3	計	1		0.8			
その他		15	11.7	合計		128	100.0			
調査不能				0.0	(内数) 高校生		1	0.8		
合計			128	100.0						

## 10 飲酒運転の事故

(注)各表の○は酒酔いで内数 (以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

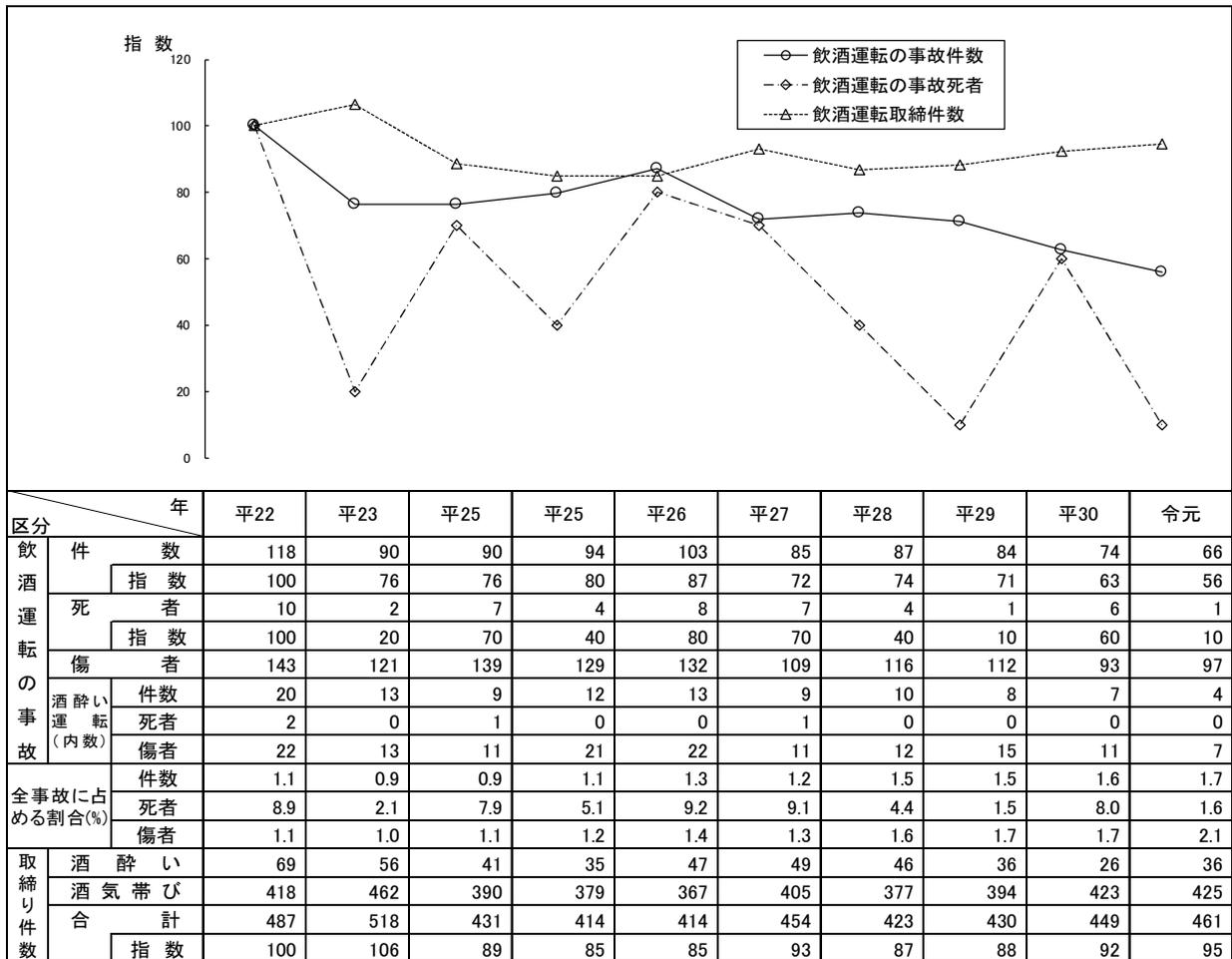
### (1) 概況

第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数 66件 (前年比 - 8件 10.8%減) うち酒酔い 4件 前年比- 3件  
 死者数 1人 (前年比 - 5人 83.3%減) うち酒酔い 0人 前年同数  
 傷者数 97人 (前年比 + 4人 4.3%減) うち酒酔い 7人 前年比- 4人

で、発生件数、死者数は減少したが傷者数は増加した。

(単位：件・人・%)



### (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは3月、4月、12月でそれぞれ9件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	5	4	9	9	① 3	① 5	3	① 6	① 5	5	3	9	④ 66
	全事故に占める割合	1.5	1.3	2.8	2.5	0.9	1.7	1.1	1.9	1.9	1.4	0.9	2.4	1.7
死者	死者				1									1
傷者	傷者	5	6	12	13	① 3	① 5	5	① 9	④ 8	10	5	16	⑦ 97
	指数	100	120	144	155	133	133	133	155	133	133	120	144	155

(3) 曜日・時間別

土曜日が20件と最も多く、次いで日曜日の13件の順となっている。  
時間別では、22～24時が11件と多く、次に18～20時が9件と多い。

(単位：件・%)

時間	曜日								合計					
	日	月	火	水	木	金	土	日	件数	全事故に占める割合				
0～2				1				4	7	14.9				
2～4	1						1		2	15.4				
4～6	4	1				1			7	12.3				
6～8		1	3	1		1			6	1.4				
8～10		1	1				1		3	0.6				
10～12	1						2		3	0.7				
12～14	1		1		1	1			4	0.9				
14～16	1		1						2	0.4				
16～18	①	1		1			3	①	6	0.9				
18～20		2	2			2	①	3	①	9	1.8			
20～22		1	①	2				2	①	6	2.7			
22～24	2				4	①	2	3	①	11	14.7			
合計	①	13	7	①	10	3	6	①	7	①	20	④	66	1.7
全事故に占める割合	3.1	1.2	1.6	0.5	1.1	1.1	3.8	1.7						

(4) 発生地別

市部で57件発生し、飲酒運転の86.4%を占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は39件で、市部の68.4%を占めている。

(単位：件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計		
件数	4	4		2	②	20	1	1	①	2	1	①	19	3	9	④	66
死者													1				1
傷者	7	4		3	②	32	1	1	①	2	1	④	33	2	11	⑦	97

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、国道が18件で飲酒運転の27.3%を占めている。  
死者は1人で、県道での発生によるものである。

(単位：件・人)

道路	国 道						県 道			市 村	町 道	その他	合計					
	4号	6号	13号	49号	三 折	計	主 要 地 方 道	一 般 県 道	計									
件数	6	4	2	2	②	4	②	18	13	①	10	①	23	23	①	2	④	66
死者								0			1		1					1
傷者	7	7	3	3	②	5	②	25	21	①	15		36	31	④	5	⑦	97

(6) 事故類型別

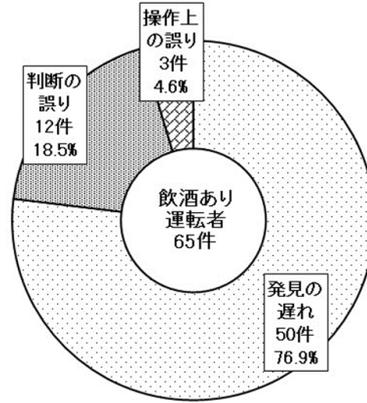
追突が最も多く、28件（42.4%）となっており、次いで出会い頭14件の順となっている。  
車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の約9割と高い割合を占めている。

(単位：件・人)

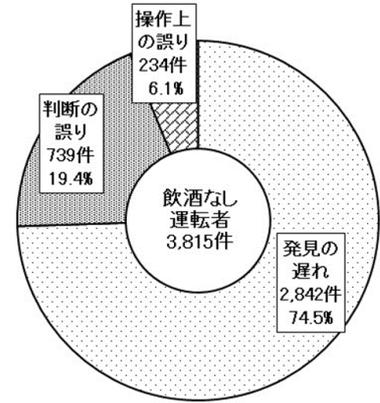
事故類型	区分	件数		構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)	
		件数	割合					
人対車両	対面・背面歩行中	1	1.5			1	1.4	
	横断中	3	4.5			3	1.0	
	その他	2	3.0			2	1.6	
	計	6	9.1		0	6	1.2	
車両相互	正面衝突	③	10	15.2		⑥	20	8.3
	追突	①	28	42.4		①	42	1.9
	出会い頭		14	21.2			17	1.4
	転回時			0.0				0.0
	右・左折時		4	6.1			8	1.0
車両単独	その他		1	1.5			2	0.3
	計	④	57	86.4	0	⑦	89	1.7
	工作物衝突		3	4.5		1	2	7.7
	路外逸脱			0.0				0.0
	駐車車両衝突			0.0				0.0
列 車	転倒			0.0			0.0	
	その他			0.0			0.0	
	計	3	4.5		1	2	4.4	
合計	④	66	100.0	1	⑦	97	1.7	

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で2.4ポイント高くなっている。



※ 調査不能1件を除く



※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が13件、次いで「少ししか飲まない」が10件と多く、両項目で飲酒運転事故の34.8%を占めている。

(単位：件・人)

動機 区分	件数	構成率(%)	他に乗り物がなかった	日にのり出た	少ししか飲まない	酔ましまし	車を置いていく	運転代行がなかった	深夜なもので	大丈夫と思った	交通量がなかった	その他不明	合計	飲酒運転のうち	
														酒酔い運転	酒気帯び運転
死者	1		1										1		
傷者	20		13	1	10	8		5	9	3	17	66	97	7	73
合計			13	1	10	8		5	9	3	17	66	97	4	50
合計			19.7	1.5	15.2	12.1	0.0	7.6	13.6	4.5	25.8	100.0		6.1	75.8

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く34件で51.5%を占めている。

飲酒場所は「キャバレー・バー等」が23件で34.8%を占めている。

(単位：件・人)

飲酒理由 飲酒場所	件数	構成率(%)	忘年会	新年会	歓迎迎会等	冠婚葬祭	等閑祭	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
自宅	件数										2	20	2	24		24	36.4	
	死者															0		
知人・友人宅	件数									1						1	1.5	
	死者															0		
取引・勤務先	件数														1	1	1.5	
	死者															0		
料理店・キャバレー・バー・スナック	件数			1				2			11	9			23	34.8		
	死者														0			
その他の料理店	件数		1		4			6	1		15	12			37	7.6		
	死者														5			
旅館・ホテル等の宿泊施設	件数		1					1			3				6	1.5		
	死者														1			
ドライブイン・酒類販売店等	件数											1			1	1.5		
	死者														0			
自動販売機近	件数											1			1	1.5		
	死者														0			
その他(不明)	件数											3	6		9	13.6		
	死者														1			
合計	件数		1	1	0	0	4	1	16	34	9	66			66	100.0		
	死者		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			1			
合計	傷者		1	4	0	0	8	1	22	50	11	97			97			

件数の構成率(%)	1.5	1.5	0.0	0.0	6.1	1.5	24.2	51.5	13.6	100.0
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------

## 11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

### (1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

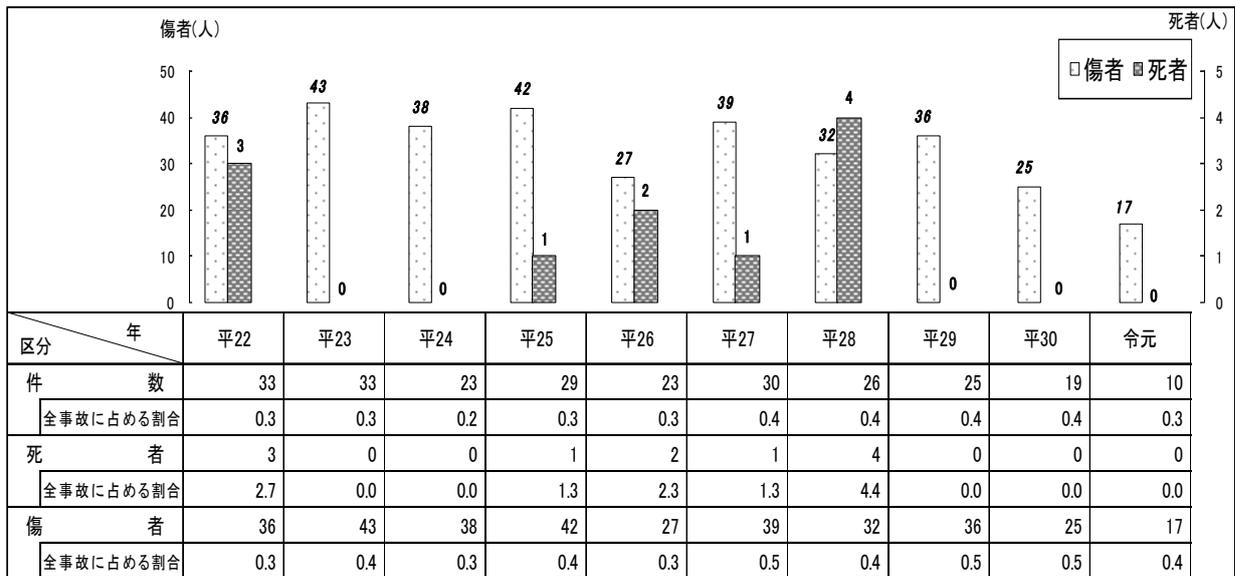
発生件数 10件（前年比 - 9件 47.4%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 増減なし）

傷者数 17人（前年比 - 8人 32.0%減）

で、死者は前年に引き続きなく、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件・人・％）



### (2) 月別

2月、3月、12月に2件、1、4、6、9月に1件となっている。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		1	2	2	1		1			1			2	10
死者														0
傷者		2	4	3	1		1			2			4	17

### (3) 発生地別

市部での発生が多く、最も多い福島市、いわき市は、それぞれ無免許運転事故の30.0%ずつを占めている。

（単位：件・人）

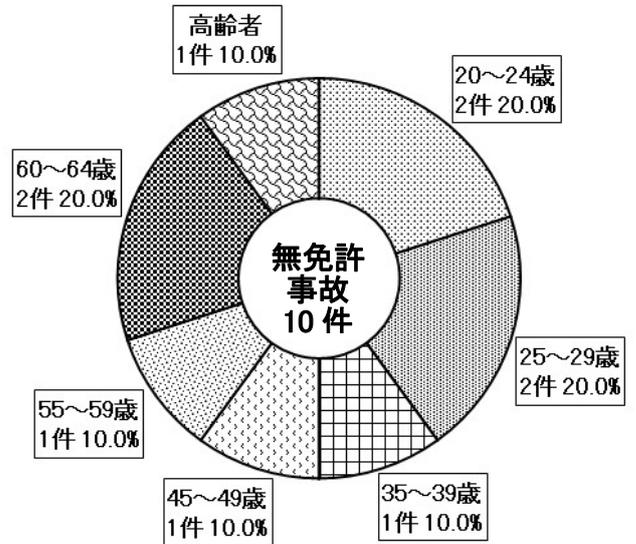
発生地	福	伊	二	郡	本	須	白	田	会	喜	い	南	相	各	合
区分	島	達	本	山	宮	賀	河	村	津	多	わ	相	馬	町	計
	市	市	市	市	市	市	市	市	若	方	き	馬	市	村	
件数	3	1		2							3			1	10
死者															0
傷者	4	2		4							4			3	17

(4) 年齢別

20歳代が4件で40.0%を占め、次いで60～64歳が2件と続いている。

(単位：件)

年齢		区分	件数	年齢	区分	件数
10歳代	16歳未満			35～39歳		1
	16歳			40～44歳		
	17歳			45～49歳		1
	18歳			50～54歳		
	19歳			55～59歳		1
計			0	60～64歳		2
20～24歳			2	高齢者		1
25～29歳			2	合計		10
30～34歳						

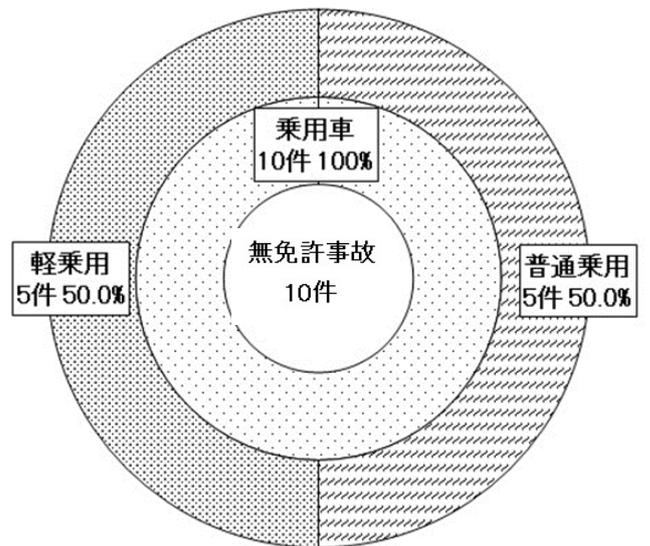


(5) 車種別

車種別では、普通乗用車、軽乗用車が共に5件となっており、全体の50.0%を占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許の割合	
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	7	0.0
	普通	5	50.0	2,044	0.2
	軽(ミニカーを含む)	5	50.0	1,147	0.4
計		10	100.0	3,198	0.3
貨物車	大型・中型・準中型	0	0.0	176	0.0
	普通	0	0.0	167	0.0
	軽	0	0.0	289	0.0
計		0	0.0	632	0.0
特殊車(大型・小型)		0	0.0	5	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	9	0.0
	軽二輪	0	0.0	0	0.0
	二種原付	0	0.0	4	0.0
	原付	0	0.0	12	0.0
計		0	0.0	25	0.0
合計		10	100.0	3,860	0.3



\* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など59件を除く

(6) 職業別

建設業が5件（50.0%）と多く、次いで無職、その他が2件となっている。

（単位：件）

職業 区分	職業 運転手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数		1		5						2	2	10
構成率(%)	0.0	10.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	100

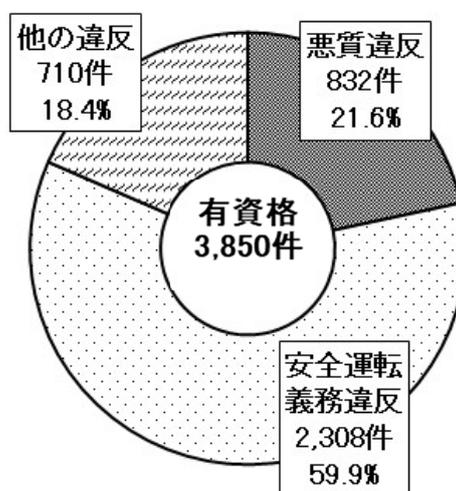
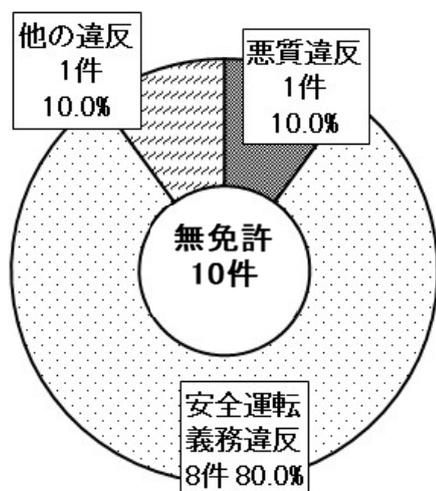
(7) 違反別・原因別

安全運転義務違反は8件で無免許運転全体の80.0%を占めており、うち前方不注意が最も多く5件（50.5%）となっている。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許80.0%、有資格者59.9%といずれも高い割合となっている。

（単位：件）

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	過 労 運 転		0.0
	最 高 速 度		0.0		ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ 操 作		0.0
	通 区 ・ 追 越		0.0		前 方 不 注 意	5	50.0
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		動 静 不 注 視	2	20.0
	一 時 不 停 止	1	10.0		安 全 不 確 認	1	10.0
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 速 度		0.0
	計	1	10.0	そ の 他		0.0	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	計	8	80.0	
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	そ の 他	1	10.0	
交 差 点 安 全 進 行			0.0	合 計	10	100.0	
左 折 違 反			0.0	飲 酒 運 転 ( 内 数 )		0.0	



(8) 人的原因別

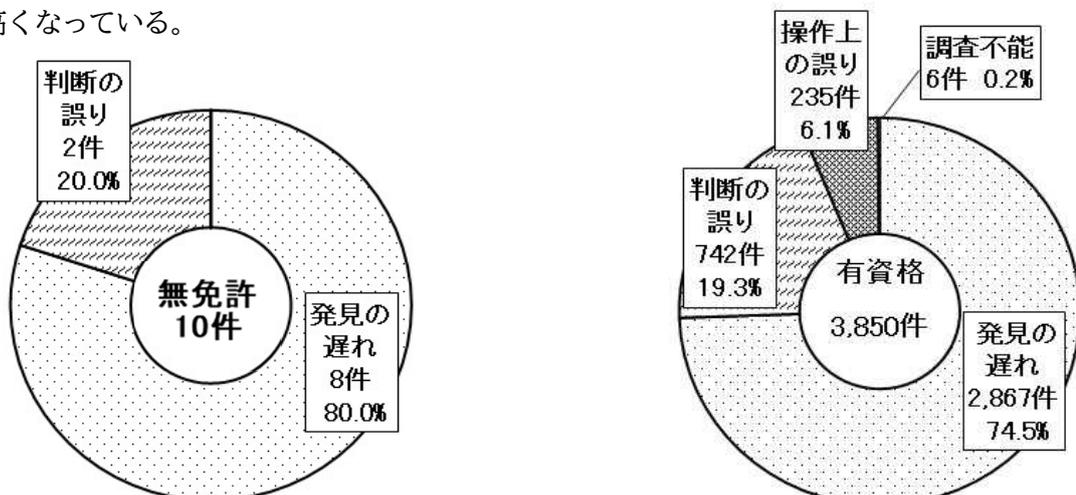
発見の遅れが8件で、無免許運転事故の80.0%を占め最も多い。

うち前方不注意が6件、安全不確認が2件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	10	予測不適計	0
発見の遅れ計	8	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意計	6	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)計	3	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境計	0
その他、考え事等の漫然運転	3	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(脇見等)計	3	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	1	交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)計	0
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見	1	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	1	ハンドルの操作不適	
安全不確認計	2	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	1	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	1	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等計	2	その他の操作不適	
動静不注意視計	2	調査不能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	2		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が5.5ポイント高くなっている。



## 12 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 25件（前年比 -5件 16.7%減）

死者数 5人（前年比 -2人 28.6%減）

傷者数 24人（前年比 -9人 27.3%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

車種別にみると、発生件数、傷者数では原付が多く、二輪車事故の発生は40.0%、傷者数は50.0%を占めている。

（単位：件・人）

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	9	36.0	2	40.0	9	37.5	-3	-1	-7	-25.0	-33.3	-43.8
軽二輪	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-4	-2	-2	-100.0	-100.0	-100.0
二種原付	4	16.0	2	40.0	3	12.5	-1	2	-4	-20.0	-	-57.1
原付	12	48.0	1	20.0	12	50.0	3	-1	4	33.3	-50.0	50.0
合計	25	100.0	5	100.0	24	100.0	-5	-2	-9	-16.7	-28.6	-27.3

死亡事故率をみると二種原付が高くなっている。

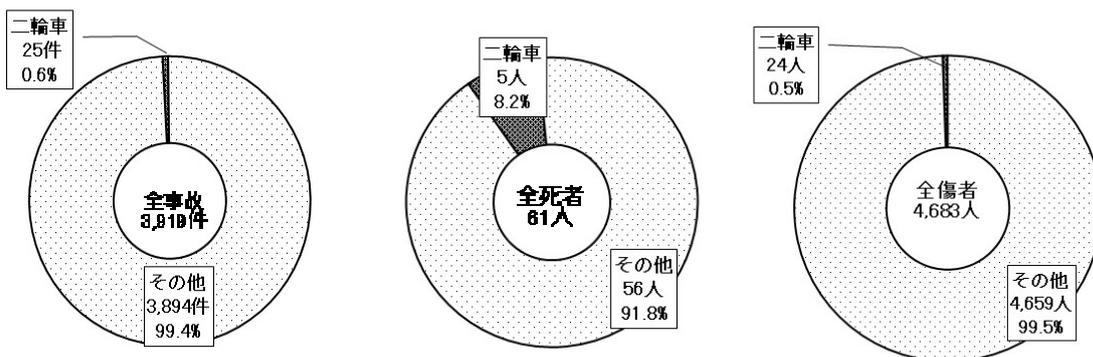
（単位：件・%）

区分 車種	普通乗軽乗大貨等						二輪車					合計
	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	
車種別事故件数	2,044	1,147	176	167	289	12	9		4	12	25	3,860
死亡事故件数	19	15	5	2	7	3	2		2	1	5	56
死亡事故率	0.9	1.3	2.8	1.2	2.4	25.0	22.2	0.0	50.0	8.3	20.0	1.5

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注) \text{死亡事故率} = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.6%であるのに対し、死者の構成率は8.2%と高くなっている。

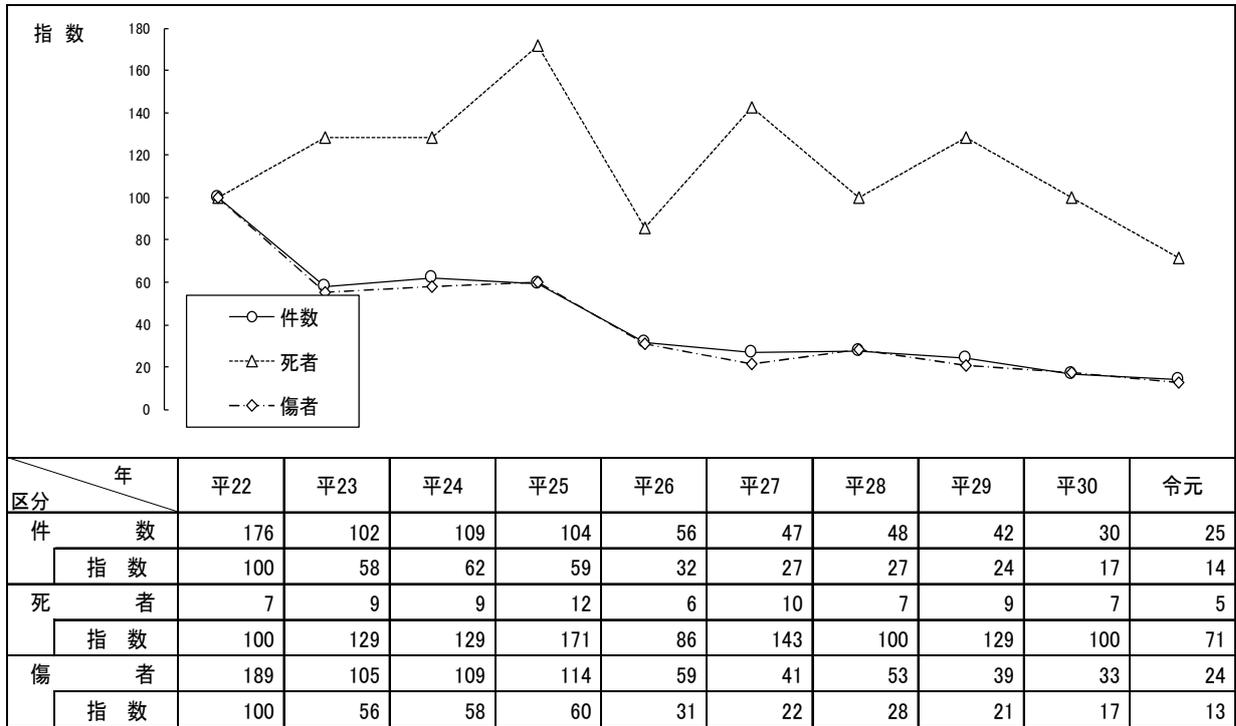


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数、発生件数、傷者数共に減少傾向である。

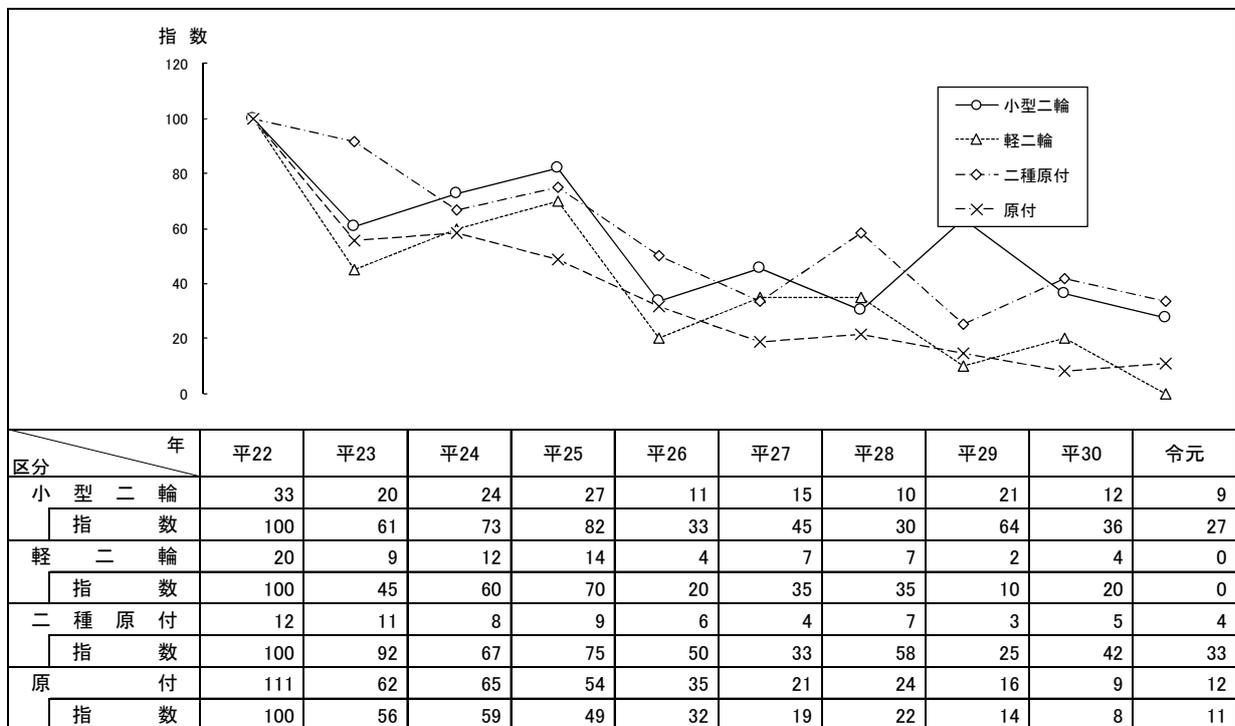
(単位：件・人)



(1) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向であるが、原付が増加している。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、高齢運転者が8件（32.0%）と多く、全体の3割を占めている。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	青年運転者								
全運転者の事故	0	2	135	410	547	311	581	602	569	325	925	3,860	
構成率(%)	0.0	0.1	3.5	10.6	14.2	8.1	15.1	15.6	14.7	8.4	24.0	100.0	
二輪車事故	0	0	0	2	2	0	4	4	4	3	8	25	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0	16.0	16.0	16.0	12.0	32.0	100.0	
全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	0.0	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	0.6	

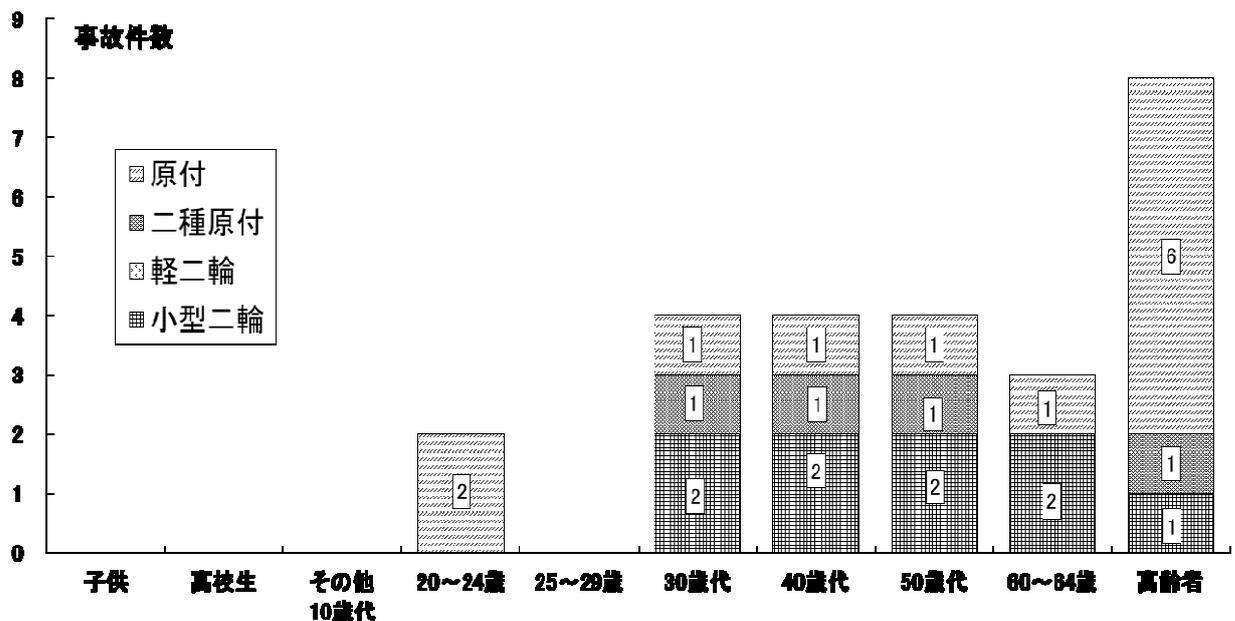
\* 軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

原付の年齢別構成率では、高齢運転者が50.0%を占めている。

（単位：件）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	青年運転者								
小型二輪					0		2	2	2	2	1	9	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	100.0	
軽二輪					0							0	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
二種原付					0		1	1	1		1	4	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	100.0	
原付				2	2		1	1	1	1	6	12	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	50.0	100.0	



オ 車種別・免許経験年数別

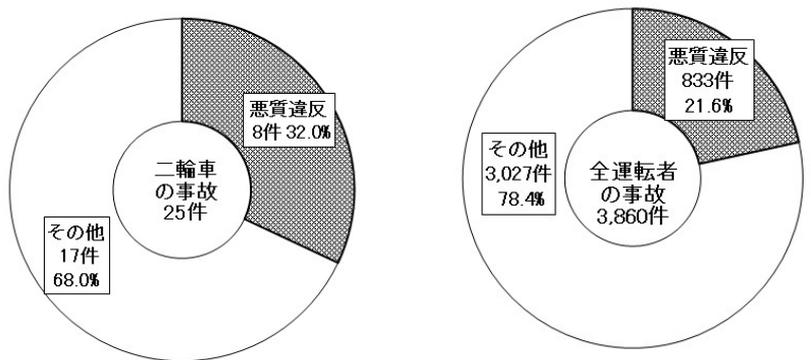
車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は84.0%を占めている。(単位：件)

経験年数	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)									
1年未満		1	11.1		0.0		0.0		0.0	1	4.0
1～2年			0.0		0.0		0.0	1	8.3	1	4.0
2～3年			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年			0.0		0.0		0.0	1	8.3	1	4.0
10年未満			0.0		0.0	1	25.0		0.0	1	4.0
10年以上		8	88.9		0.0	3	75.0	10	83.3	21	84.0
無免許			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		9	100.0	0	0.0	4	100.0	12	100.0	25	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、32.0%となっており、全運転者の事故と比較して10.4ポイント高くなっている。

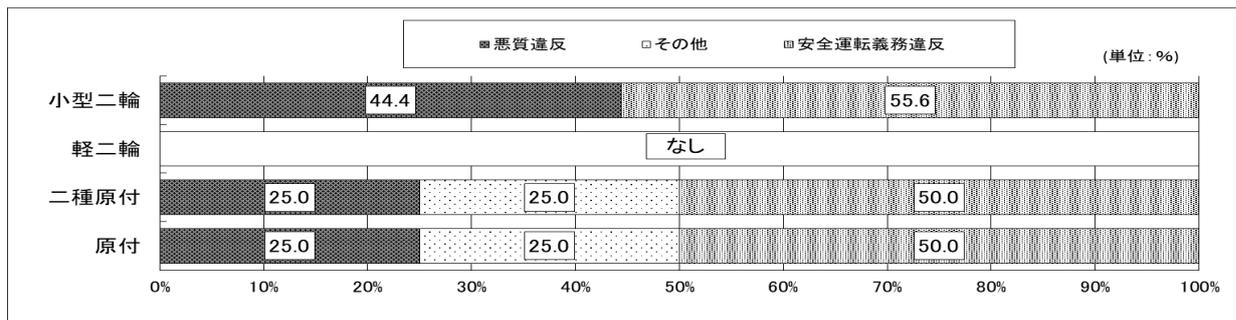
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、小型二輪で44.4%となっている。



二輪車の車種別違反割合では、軽二輪以外で安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件)

違反	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)									
悪質違反	信号無視		0.0		0.0		0.0	1	8.3	1	4.0
	最高速度超過	1	11.1		0.0		0.0		0.0	1	4.0
	通区・追越	3	33.3		0.0		0.0		0.0	3	12.0
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	一時停止		0.0		0.0	1	25.0	2	16.7	3	12.0
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計		4	44.4	0	0.0	1	25.0	3	25.0	8	32.0
安全運転義務違反	横断禁止等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	優先通行妨害等		0.0		0.0	1	25.0	1	8.3	2	8.0
	交差点安全進行		0.0		0.0		0.0	1	8.3	1	4.0
	徐行違反		0.0		0.0		0.0	1	8.3	1	4.0
	ハンドル・ブレーキ操作	2	22.2		0.0		0.0		0.0	2	8.0
その他	前方不注意	1	11.1		0.0	1	25.0		0.0	2	8.0
	安全不確認	1	11.1		0.0		0.0		0.0	1	4.0
	安全速度		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	1	11.1		0.0		0.0		0.0	1	4.0
計		5	55.6	0	0.0	2	50.0	6	50.0	13	52.0
その他			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		9	100.0	0	0.0	4	100.0	12	100.0	25	100.0



キ 車種別・事故類型別

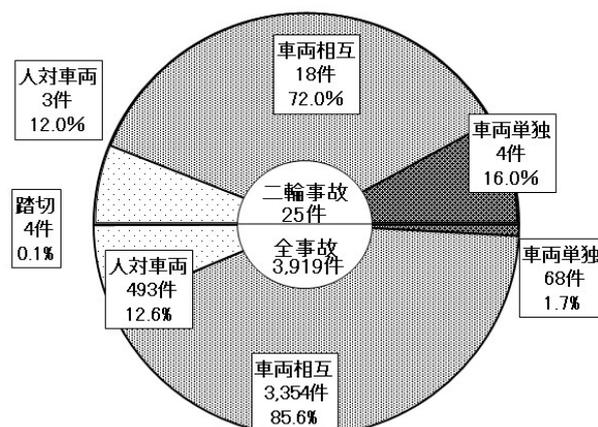
(単位：件・%)

類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
人対車両	横断中	301	7.7	2	8.0	1	11.1		0.0		0.0	1	8.3	
	対面・背面	69	1.8	1	4.0		0.0		0.0	1	25.0		0.0	
	その他	123	3.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	計	493	12.6	3	12.0	1	11.1	0	0.0	1	25.0	1	8.3	
車両相互	正面衝突	121	3.1	1	4.0	1	11.1		0.0		0.0		0.0	
	追突	進行中	143	3.6	1	4.0		0.0		0.0	1	25.0		0.0
		駐・停止中	1,338	34.1	5	20.0		0.0		0.0		0.0	5	41.7
	出会い頭	1,023	26.1	7	28.0		0.0		0.0	2	50.0	5	41.7	
	追越・追抜	30	0.8	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	右折時	298	7.6	2	8.0	1	11.1		0.0		0.0	1	8.3	
	左折時	87	2.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他	314	8.0	2	8.0	2	22.2		0.0		0.0		0.0	
	計	3,354	85.6	18	72.0	4	44.4	0	0.0	3	75.0	11	91.7	
車両単独	工作物衝突	39	1.0	3	12.0	3	33.3		0.0		0.0		0.0	
	路外逸脱	6	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	転倒	1	0.0	1	4.0	1	11.1		0.0		0.0		0.0	
	駐車車両衝突	13	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他	9	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
計	68	1.7	4	16.0	4	44.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
踏切	4	0.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
合計	3,919	100.0	25	100.0	9	100.0	0	0.0	4	100.0	12	100.0		

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別

構成率の対比では、

- ・人対車両・・・ 0.6ポイント低い
  - ・車両相互・・・ 13.6ポイント低い
  - ・車両単独・・・ 14.3ポイント高い
- 特に車両相互では、出会い頭が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の80.0% (20件) が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が10件と最も多く50.0%を占める。

夜間の発生は県道と市町村道、高速道で発生 (5件) している。

(単位：件・%)

昼夜	国					道			県道			市町村道	高速道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁	計	主要	一県	般道	計					
昼間					3	3	4	1		5	10	1	1	20	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	15.0	20.0	5.0		25.0	50.0	5.0	5.0	100.0	
夜間						0	1			1	3	1		5	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0		20.0	60.0	20.0	0.0	100.0	
薄暮(内数)						0	1			1				3	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		33.3	0.0	66.7	0.0	100.0	
合計	0	0	0	0	3	3	5	1		6	13	2	1	25	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	12.0	20.0	4.0		24.0	52.0	8.0	4.0	100.0	

ケ 道路線形別

全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが12.0%、左カーブが 8.0%を占めている。

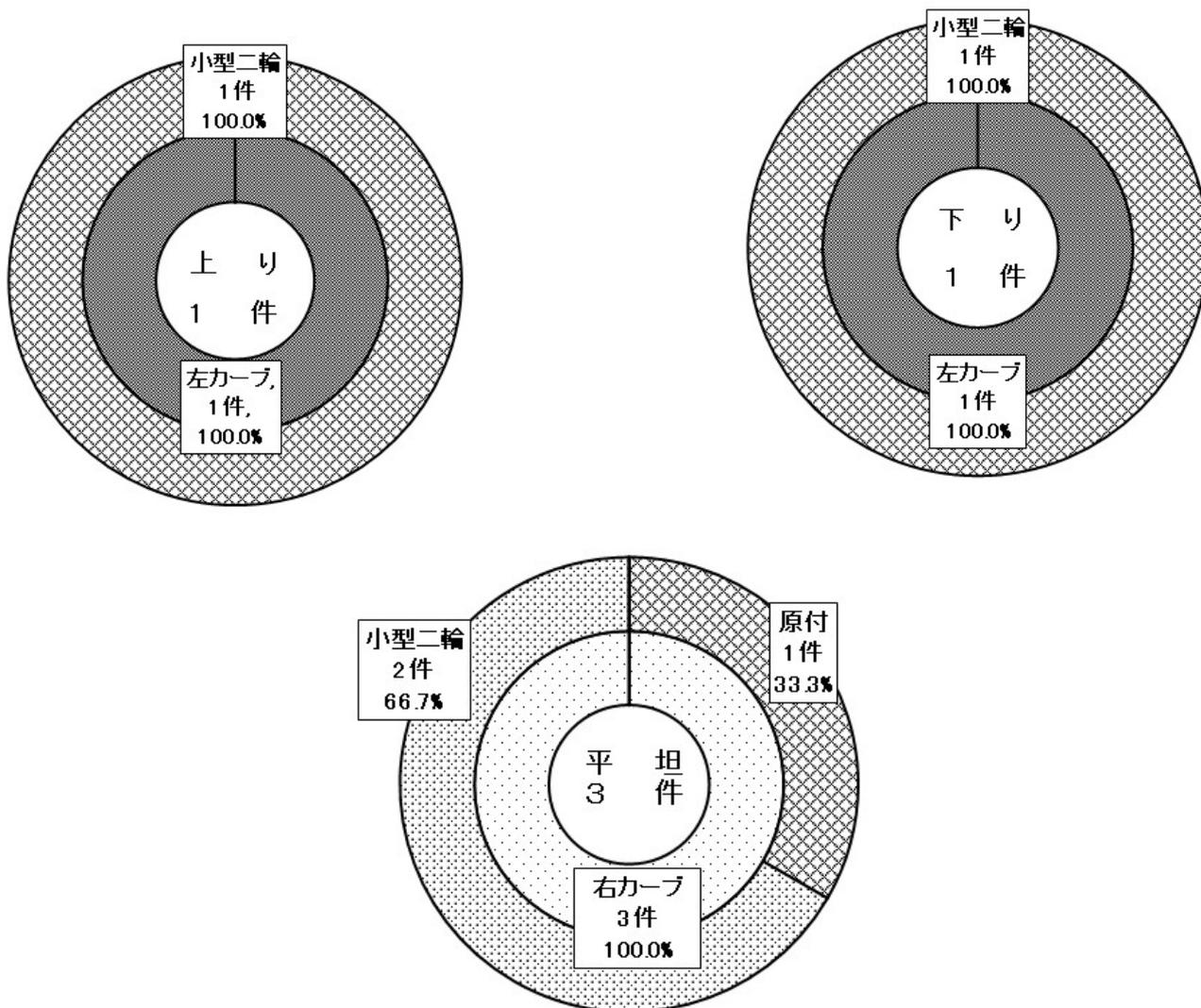
(単位：

線形	件)車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		構成率 (%)											
上り	右カーブ	12	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	15	0.4	1	4.0	1	11.1		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	18	0.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	21	0.6	1	4.0	1	11.1		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	38	1.0	3	12.0	2	22.2		0.0		0.0	1	8.3
	左カーブ	60	1.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
直線	上り	95	2.6	2	8.0		0.0		0.0		0.0	2	16.7
	下り	129	3.5	1	4.0		0.0		0.0		0.0	1	8.3
	平坦	3,249	89.3	17	68.0	5	55.6		0.0	4	100.0	8	66.7
合計	右カーブ	68	1.9	3	12.0	2	22.2	0	0.0	0	0.0	1	8.3
	左カーブ	96	2.6	2	8.0	2	22.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0

\* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	3,637	100	25	100	9	100	0	0.0	4	100	12	100
-------	-------	-----	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-----

\* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

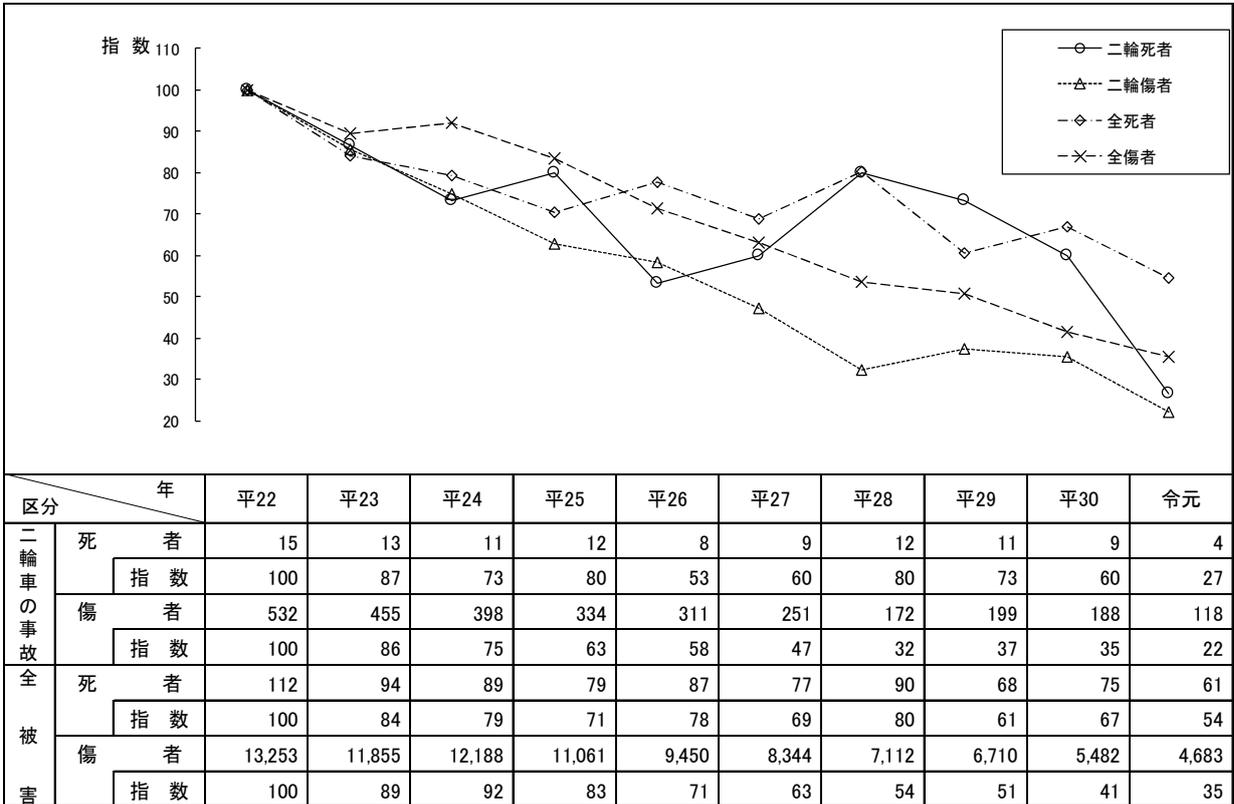
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 4人（前年比 -5人 55.6%減）

傷者数 118人（前年比 -70人 32.7%減）

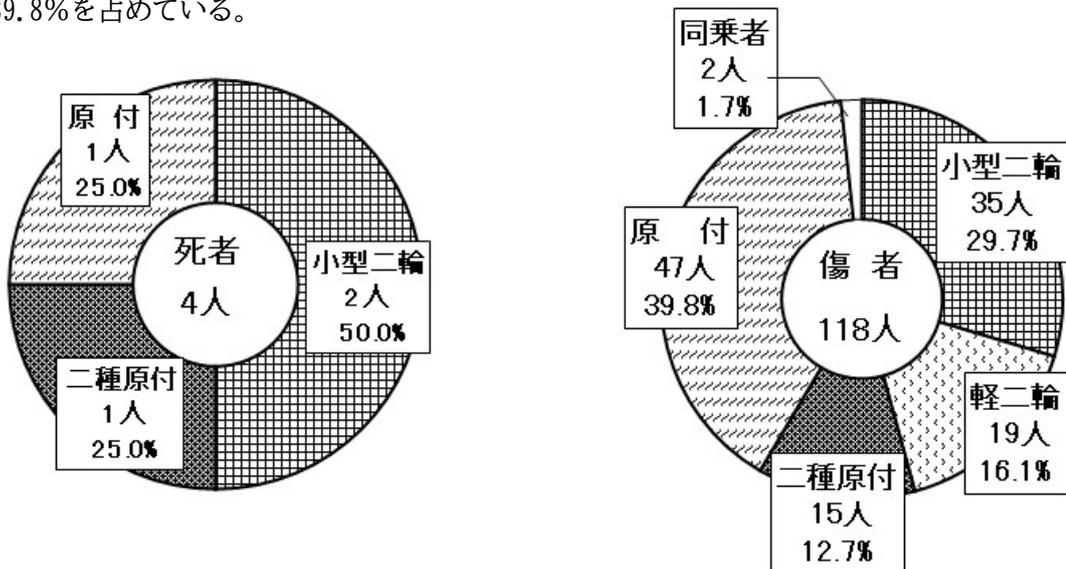
で、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が2名、二種原付、原付がそれぞれ1人で、傷者は原付が多く39.8%を占めている。



ウ 年齢別

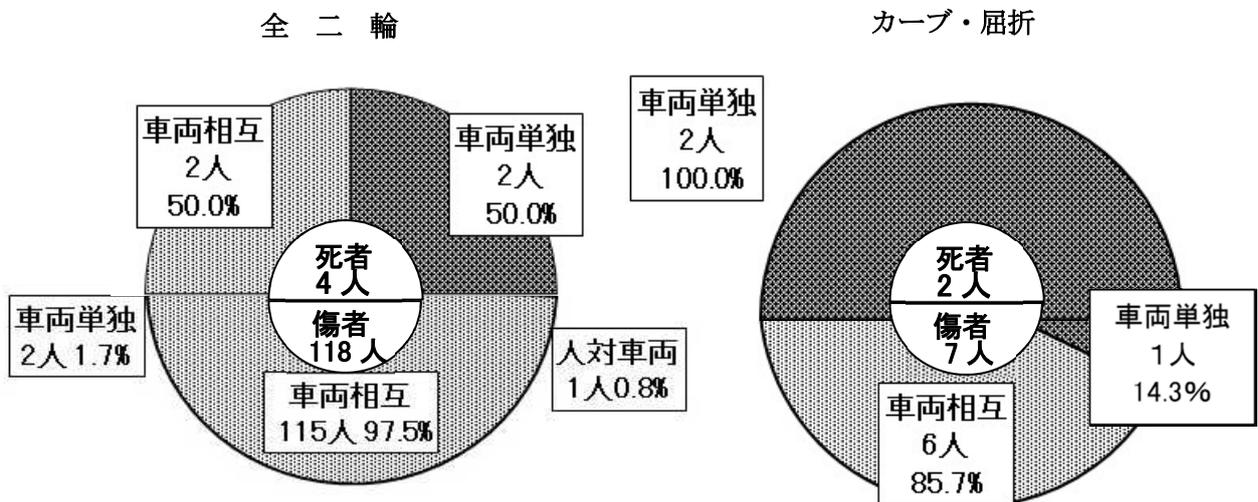
年齢別にみると、死者は高齢者が2人で50.0%を占め、傷者は40歳代が25人で21.2%を占めている。  
(単位：人)

車種		年齢								合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	
二輪車	死者	0	0	0	1	0	0	1	2	4
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	100
計	傷者	11	9	6	21	25	17	9	20	118
	構成率(%)	9.3	7.6	5.1	17.8	21.2	14.4	7.6	16.9	100.0
小型二輪	死者				1			1		2
	傷者	5	4	4	5	9	4	2	2	35
軽二輪	死者									0
	傷者	3	1	1	4	6	3	1		19
二種原	死者							1		1
	傷者		1		5	1	6	2		15
原付	死者							1		1
	傷者	1	3	1	7	9	4	6	16	47
同乗者	死者									0
	傷者	2								2

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両相互、車両単独が半数ずつで、傷者は車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折では、死者は全て車両単独、傷者では車両相互によるものが多い。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪と原付の着用率はほぼ変わらず、約97%となっている。

(単位：人)

車種	区分	死者		傷者		合計	合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		3	100.0	71	97.2	74	97.3	
原付		1	100.0	47	97.9	48	97.9	
合計		4	100.0	118	97.5	122	97.5	

### 13 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 50件（前年比 +8人 19.0%増）  
 死者数 1人（前年比 +1人）  
 傷者数 53人（前年比 +2人 3.9%増）

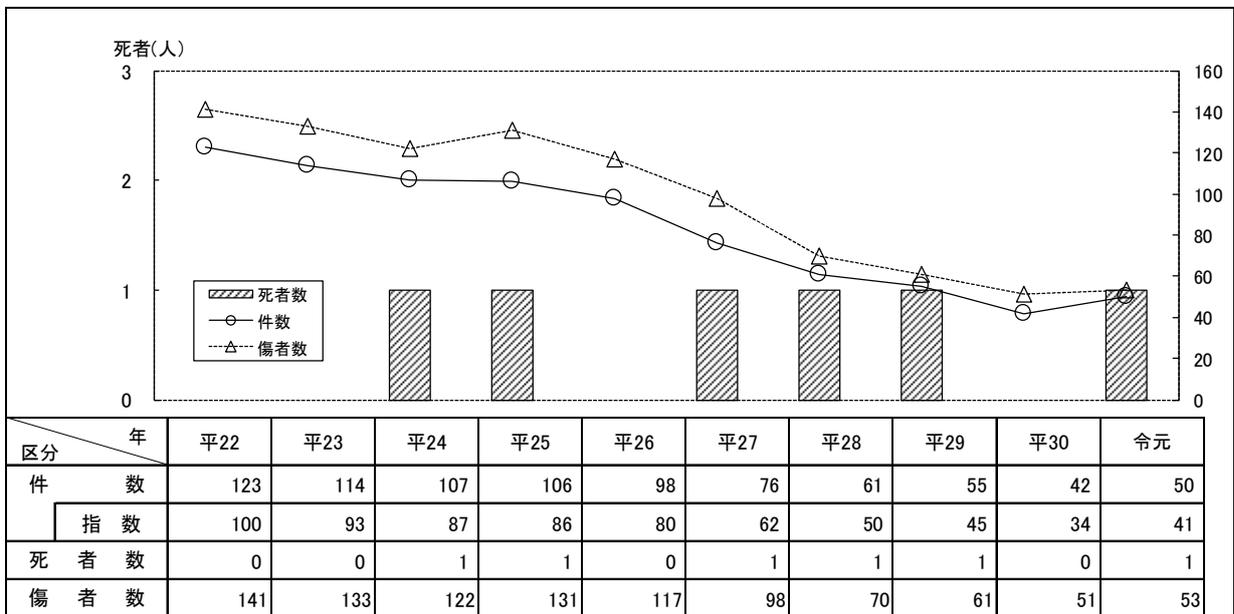
で、発生件数、死者数、傷者数の全てで増加した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

発生件数 17件（前年比 -16件 48.5%減）  
 死者数 0人（前年比 ±0人）  
 傷者数 17人（前年比 -22人 56.4%減）

で、死者数は同数で発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人)



#### (2) 月別

1月が7件と最も多く、次いで6、10月の6件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		7	5	2		5	6	4	4	3	6	4	4	50
死者数								1						1
傷者数		7	5	3		6	6	3	4	5	6	4	4	53

(3) 年齢別

高齢者が25件で最も多く、タクシー事故の50.0%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
	件数				1	3	12	9	
	構成率(%)	0.0	0.0	2.0	6.0	24.0	18.0	50.0	100.0

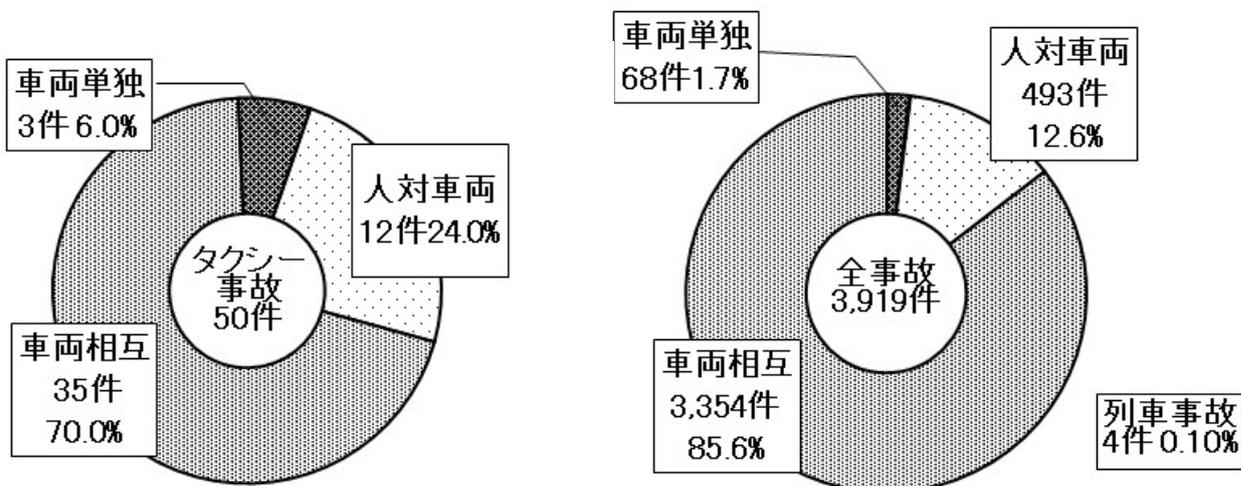
(4) 事故類型別

車両相互の事故が35件（70.0%）と最も多く、うち追突が26.0%と高い。

全事故と比較すると、人对車両と車両相互事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	類型	人对車両				車両相互						車両単独			合計		
		通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出合い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱		その他	計
	構成率(%)	2.0	14.0	8.0	24.0	2.0	26.0	20.0	10.0	12.0	0.0	70.0	2.0	0.0	4.0	6.0	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が30件と多く、60.0%を占めている。

悪質違反は12件で24.0%を占めている。

(単位：件)

区分	違反	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計		
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						計	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認			その他	計
	構成率(%)	2.0	0.0	2.0	14.0	6.0	24.0	4.0	0.0	4.0	8.0	0.0	4.0	18.0	12.0	22.0	4.0	60.0	0.0	100	

## 14 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 5人（前年比 -2件 28.6%減）

死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 4人（前年比 -6人 60.0%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

バスが第2当事者となった事故は、

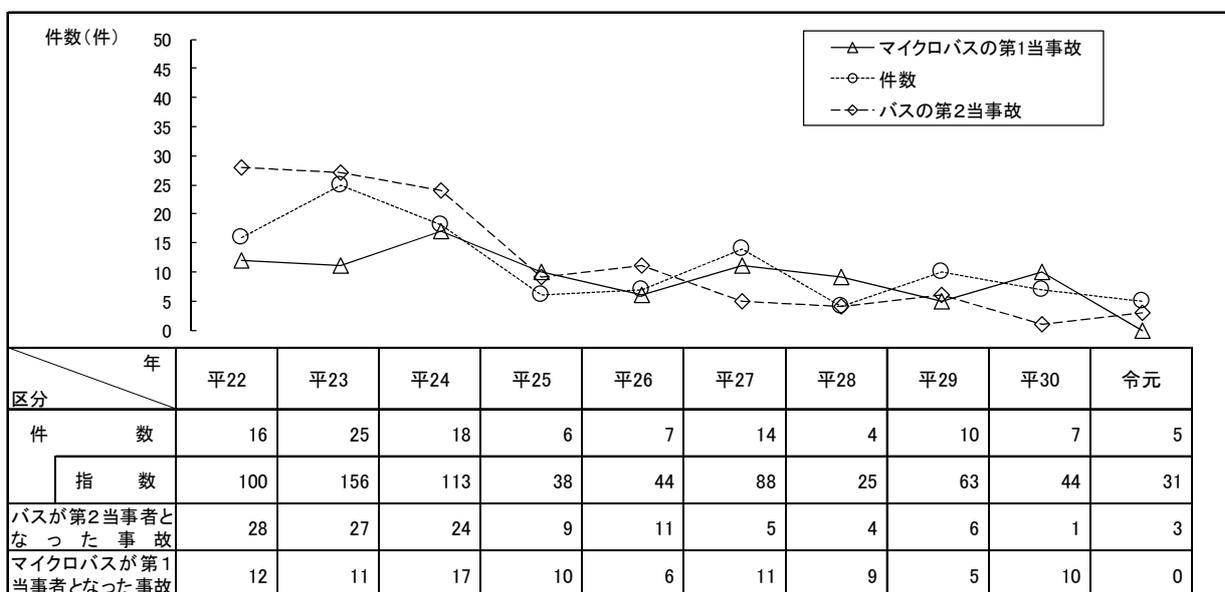
発生件数 3件（前年比 +2件 200.0%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 6人（前年比 +5人 500.0%増）

で、死者数は同数であったが、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件）



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 0件（前年比 -10件 100.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 0人（前年比 -11人 100.0%減）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 3件（前年比 +2件 50.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 5人（前年比 -9人 64.3%減）

## (2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、12月の2件が最も多かった。

第2当事者になった事故は1、2、4月にそれぞれ1件発生した。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数		1	1				1					2	5
	死者数			1										1
	傷者数		1					1					2	4
第2当事者	件数	1	1		1									3
	死者数													0
	傷者数	1	1		1									3

## (3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが4件、自家用バスが1件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスが2件、自家用バスが1件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		4		1	5	2		1	3
死者		1			1				0
傷者		3		1	4	2		1	3

## (4) 年齢別

60～64歳が第1当事者となった事故が2件で最も多かった。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者(65歳以上)	合計
		第1当事者			1		1	1	
第2当事者				1			1	1	3

## (5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道が3件で最も多く60.0パーセントを占めている。

(単位：件)

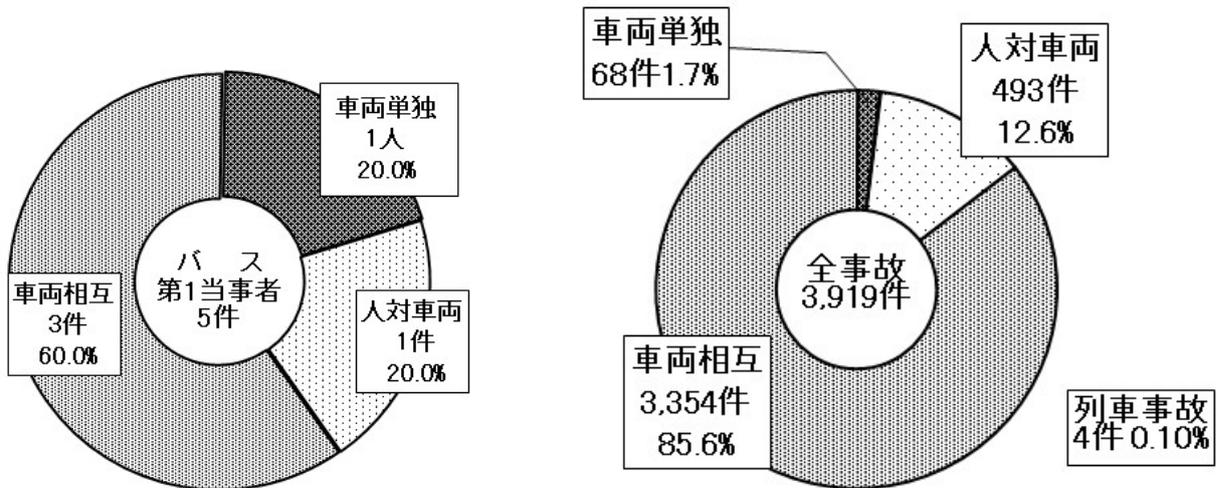
区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者						3	3			0	1		1	5
第2当事者							0	1	1	2	1			3

(6) 事故類型別

全事故と比較すると、車両単独、人対車両事故の割合が高い。

(単位：件)

区分	人対車両				車両相互							車両単独			合計		
	通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他		計	
件数			1	1		2					1	3	1			1	5
構成率(%)	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が5件で100.0%を占めている。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	安全運転義務違反	交差点安全進行		0.0
	最高速度		0.0		過労運転		0.0
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ		0.0
	歩行者妨害等		0.0		前方不注意	4	80.0
	一時不停止		0.0		動静不注視		0.0
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	1	20.0
	計	0	0.0	安全速度		0.0	
横断禁止等			0.0	その他		0.0	
車間距離不保持			0.0	計	5	100.0	
進路変更禁止			0.0	その他		0.0	
右・左折			0.0	歩行者の違反		0.0	
優先通行妨害等			0.0	合計	5	100	

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	21件	(前年比)	-15件	41.7%減)
死者数	1人	(前年比)	+1人	
傷者数	29人	(前年比)	-17人	37.0%減)

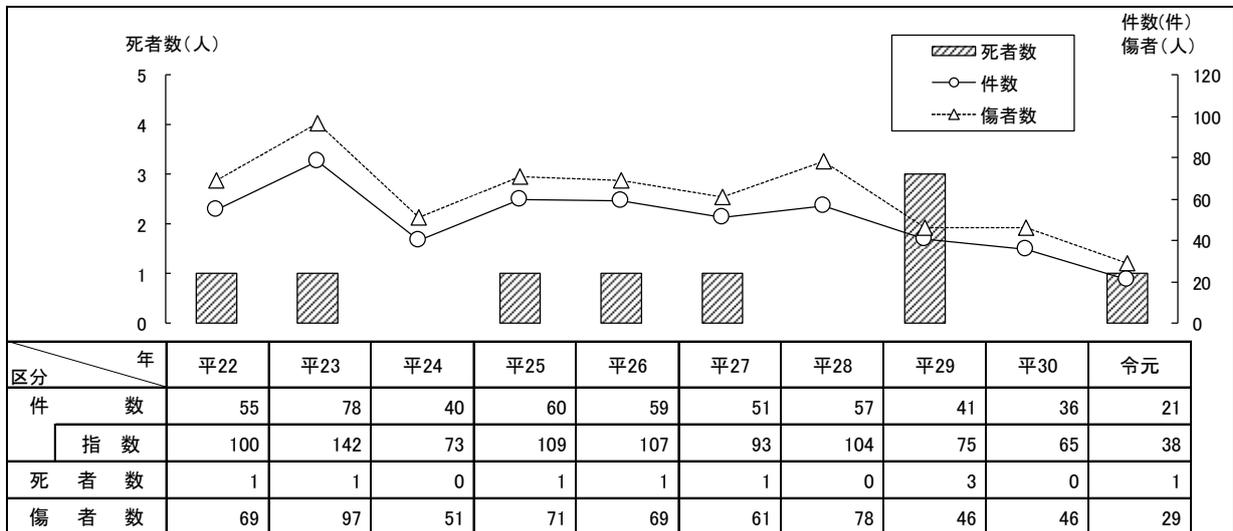
で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	13件	(前年比)	-1件	7.1%減)
死者数	0人	(前年比)	-2人	100.0%減)
傷者数	18人	(前年比)	+3人	20.0%増)

で、傷者数は増加したが、発生件数、死者数は減少した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

4月が5件で最も多く、次いで3月の3件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	2	3	5	2	1	1	1	1		1	2	21
死者数	死者数				1									1
傷者数	傷者数	2	3	3	9	2	2	1	2	1		1	3	29

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、50歳代が6件で最も多く、全体の28.6%を占めている。また、免許経過年数では10年以上が17件でダンプ事故の81.0%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満							1		1
1～2年									0
2～3年									0
3～4年						1			1
4～5年				1					1
10年未満						1			1
10年以上				2	4	4	3	4	17
無免許									0
合計		0	0	3	4	6	4	4	21

(4) 違反別

前方不注意が7件、動静不注視件が3件でダンプ事故の47.6%を占めている。  
悪質違反は5件で、最も多いのは信号無視の3件である。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
悪質違反	信号無視	3	14.3	安全運転義務違反	交差点安全進行		0.0
	最高速度		0.0		徐行違反		0.0
	通区・追越	1	4.8		ハンドル・ブレーキ	2	9.5
	歩行者妨害等	1	4.8		前方不注意	7	33.3
	一時不停止		0.0		動静不注視	3	14.3
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	1	4.8
計		5	23.8	安全速度		0.0	
横断禁止等			0.0	その他	2	9.5	
車間距離不保持			0.0	計	15	71.4	
進路変更禁止			0.0	その他		0.0	
右・左折		1	4.8	歩行者の違反		0.0	
優先通行妨害等			0.0	合計	21	100.0	

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では66.7%、第2当事者では100%を占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	7	1	11
	自家用	14		18
	合計	21	1	29

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用			
	自家用	13		18
	合計	13	0	18

## 16 安全運転管理者選任事業所の事故

### (1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

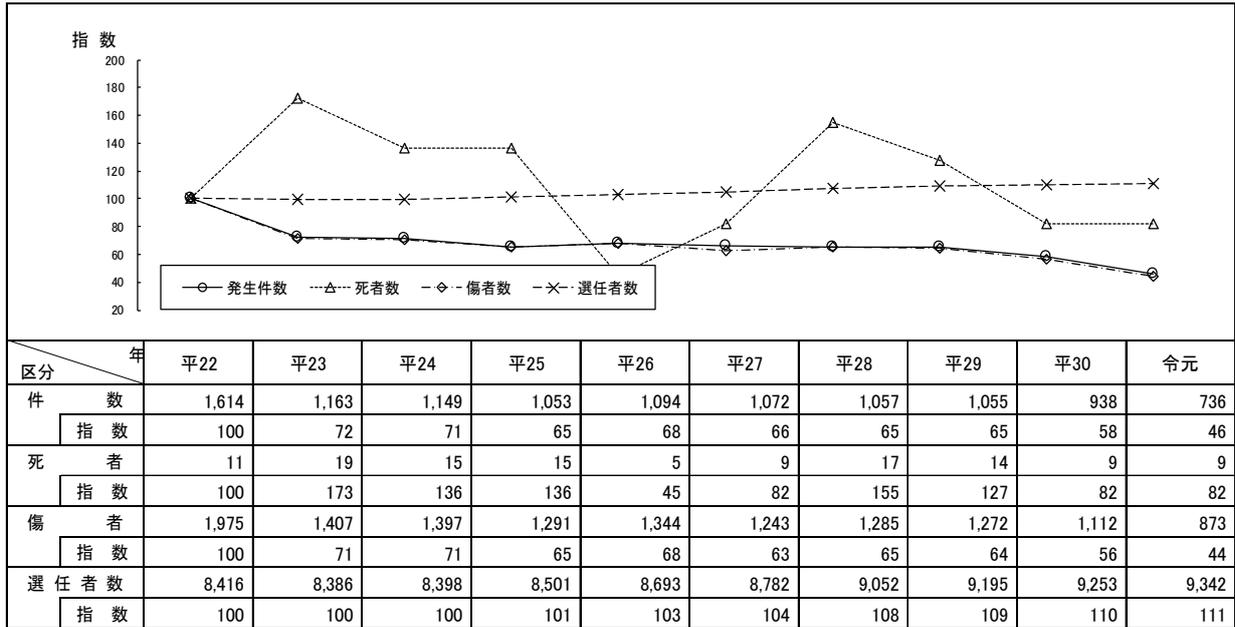
発生件数 736件（前年比 -202件 21.5%減）

死者数 9人（前年比 ±0人）

傷者数 873人（前年比 -239人 21.5%減）

で、死者数は同数であったが、発生件数、傷者数が減少した。

（単位：件・人）



### (2) 県内に所在する安管の事故

業務外の事故が安管事業所事故の77.3%を占めている。

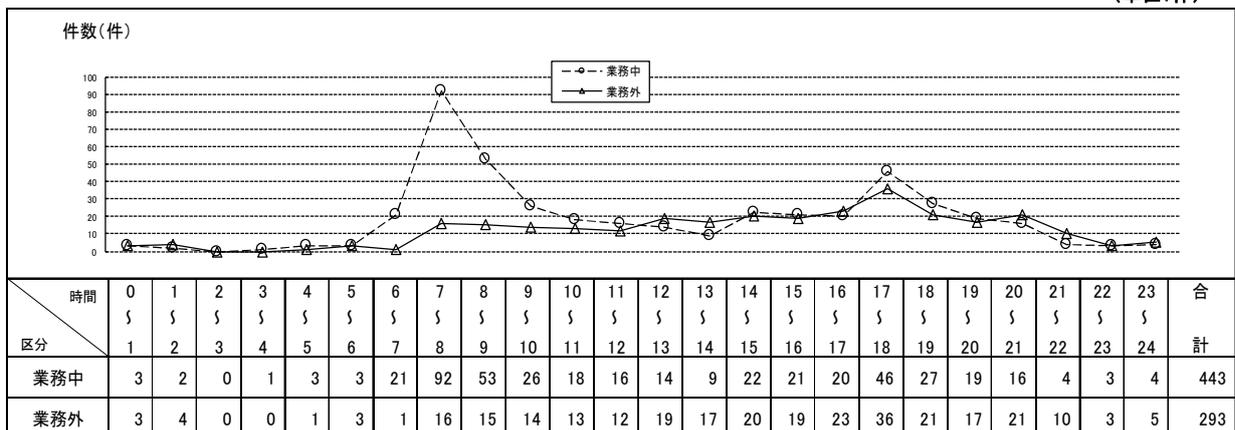
#### ア 時間別

特に、朝夕の業務中（通勤退勤含む）における事故が多い。

（単位：件・人）

区分	件数		死者	傷者
	割合 (%)			
業務中	167	22.7	2	188
業務外	569	77.3	7	685
通勤	276	37.5	5	318
私用中	293	39.8	2	367
調査不能	0	0.0	0	0

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(7) 車種別

業務中では、普通乗用車が 225件で50.8%、次いで軽乗用車が 106件で23.9%を占めている。

業務外では、普通乗用車が 192件と最も多く65.5%を占めている。

(単位：件)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車					合計		
		大 中	型 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通		軽	計	小 型	二 輪	軽 二 輪		二 種 原 付	計
業 務 中		0	225	106	331	33	38	36	107	2	1		1	1	3	443		
	構成率(%)	0.0	50.8	23.9	74.7	7.4	8.6	8.1	24.2	0.5	0.2	0.0	0.2	0.2	0.7	100		
業 務 外			192	95	287		4	2	6						0	293		
	構成率(%)	0.0	65.5	32.4	98.0	0.0	1.4	0.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100		

(イ) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が 416件で最も多く、業務中事故の93.9%を占めている。

代行運転の事故は6件で、代行車が2件、随伴車（代行会社の車両）が4件となっている。

(単位：件)

区分	車種	事業用	自 家 用					計	その他	合 計
			レンタカー	スクールバス	代 行 運 転		その他			
					代 行	随 伴				
業 務 中		15	4	0	2	4	416	426	2	443
	構成率(%)	3.4	0.9	0.0	0.5	0.9	93.9	96.2	0.5	100
業 務 外			3				290	293		293
	構成率(%)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	99.0	100.0	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で47.9%、業務外で36.9%を占めている。

(単位：件)

区分	類 型	人 対 車 両			車 両 相 互							車 両 単 独			列 車	合 計	
		横 断	そ の 計	中 他	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 計				
業 務 中		25	22	47	16	212	110	10	28	12	388	5	0	3	8	443	
	構成率(%)	5.6	5.0	10.6	3.6	47.9	24.8	2.3	6.3	2.7	87.6	1.1	0.0	0.7	1.8	0.0	100
業 務 外		24	16	40	7	108	73	23	29	7	247	3	1	2	6	293	
	構成率(%)	8.2	5.5	13.7	2.4	36.9	24.9	7.8	9.9	2.4	84.3	1.0	0.3	0.7	2.0	0.0	100

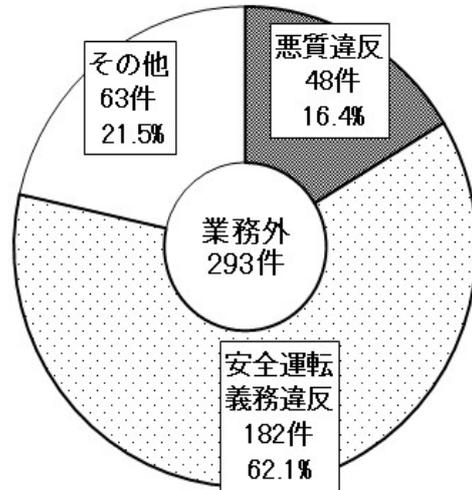
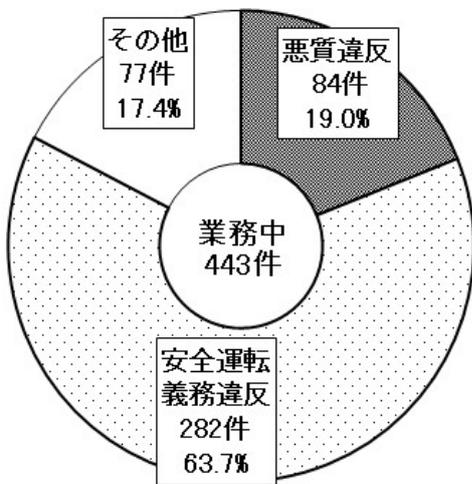
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で63.7%、業務外で62.1%を占めている。

悪質違反では、業務中、業務外とも歩行者妨害等と一時不停止の占める割合が高い。

(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	18	4.1	15	5.1	安全運転義務違反	徐行違反	4	0.9	4	1.4
	最高速度		0.0		0.0		過労運転		0.0	2	0.7
	通区・追越	11	2.5	3	1.0		ハンドル・ブレーキ	21	4.7	11	3.8
	歩行者妨害等	26	5.9	14	4.8		前方不注意	146	33.0	72	24.6
	一時不停止	29	6.5	16	5.5		動静不注意	62	14.0	42	14.3
	酒酔い運転		0.0		0.0		安全不確認	45	10.2	53	18.1
計		84	19.0	48	16.4	安全速度	4	0.9	4	1.4	
横断禁止等		7	1.6	8	2.7	予測不適	1	0.2		0.0	
車間距離不保持		1	0.2		0.0	その他	3	0.7		0.0	
進路変更禁止		1	0.2		0.0	計	282	63.7	182	62.1	
右・左折			0.0		0.0	安全不確認ドア開放		0.0		0.0	
優先通行妨害等		35	7.9	34	11.6	その他	1	0.2	2	0.7	
交差点安全進行		28	6.3	13	4.4	合計	443	100.0	293	100.0	



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

(単位：件)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)
発見の遅れ		335	75.6	224	76.5
判断の誤り等		85	19.2	57	19.5
操作上の誤り		23	5.2	11	3.8
調査不能			0.0	1	0.3
合計		443	100	293	100

## 17 県外居住者の事故

### (1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

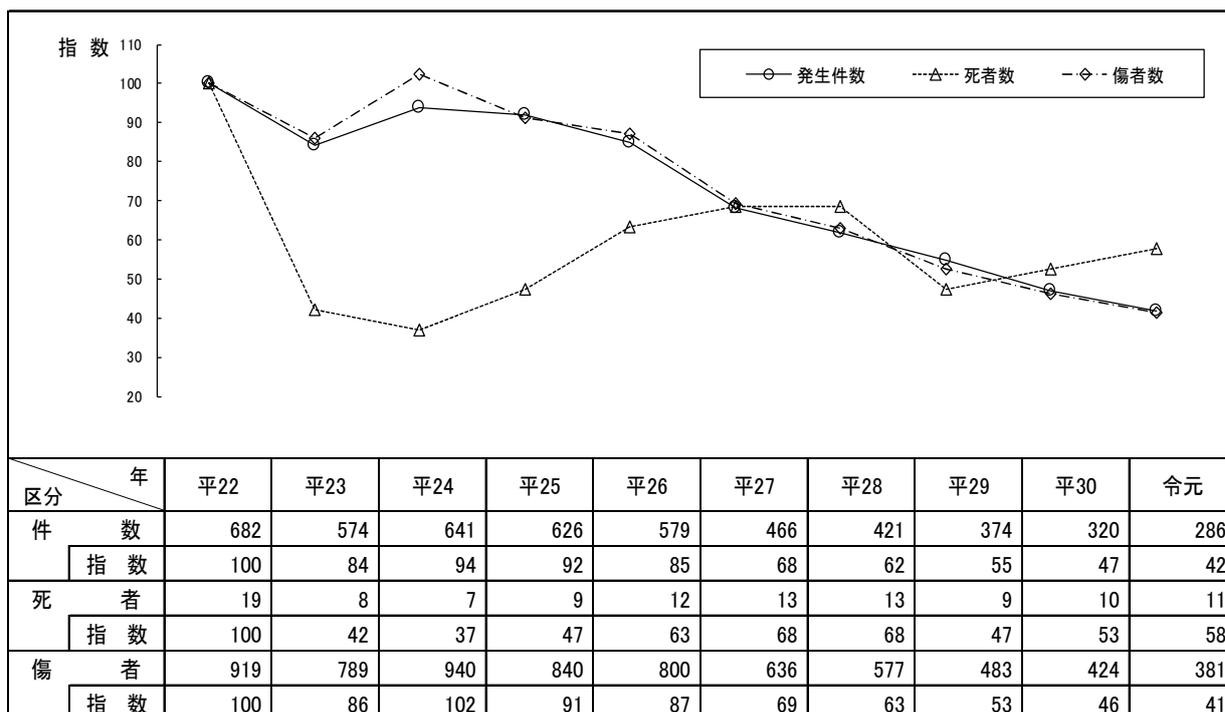
発生件数 286件（前年比 -34件 10.6%減）

死者数 11人（前年比 +1人 10.0%増）

傷者数 381人（前年比 -43人 10.1%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

（単位：件・人）



### (2) 月別

10月が31件で最も多く、次いで8月の27件となっている。

全事故に占める割合で見ると、7月が9.4%で最も高く、最も低い12月（4.5%）と比較すると4.9ポイントの差となっている。

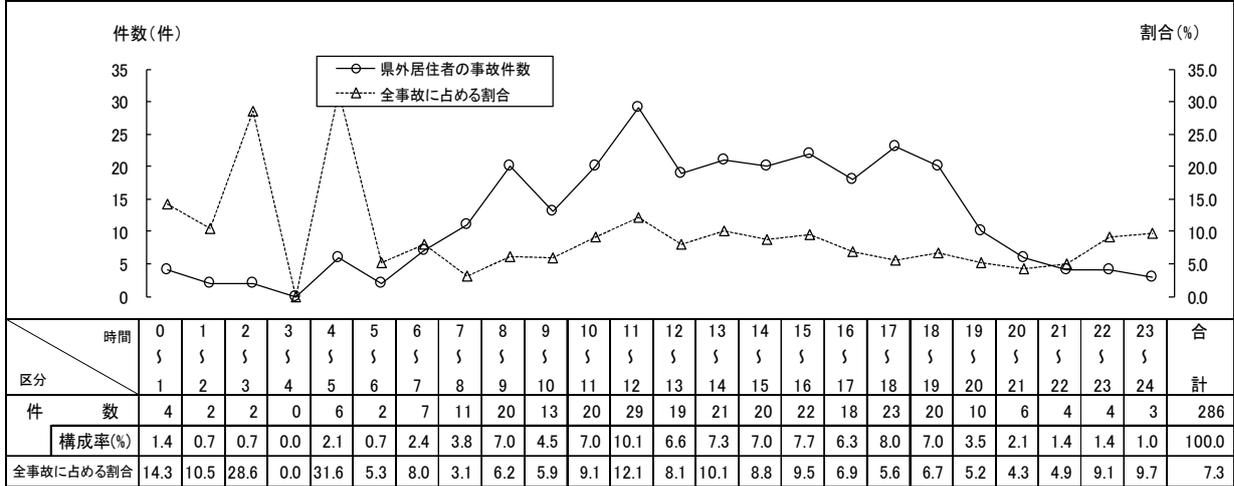
（単位：件・人・%）

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全事故		327	318	323	363	328	294	277	319	270	369	350	381	3,919
県外居住者	件数	21	23	22	25	26	18	26	27	24	31	26	17	286
	全事故に占める割合	6.4	7.2	6.8	6.9	7.9	6.1	9.4	8.5	8.9	8.4	7.4	4.5	7.3
	死者		2		3	1	1	1		2	1			11
	傷者	33	32	30	34	33	25	32	40	27	44	29	22	381

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、11～12時の29件、次いで17～18時の23件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、4～5時の31.6%が最も高く、次いで2～3時の28.6%となっている。  
(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が133件で、県外居住者事故の46.5%を占めている。特に、国道6号は41件、国道4号は28件で、合計すると国道事故の51.9%を占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が63.6%と最も高く、次いで幹線国道の6号の順となっている。  
(単位：件・%)

区分	道路	国 道										計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 折 国 道	計									
		4 号	6 号	13 号	49 号	計											
件数		28	41	3	11	83	50	133	48	54	35	16	286				
構成率(%)		9.8	14.3	1.0	3.8	29.0	17.5	46.5	16.8	18.9	12.2	5.6	100.0				
全事故に占める割合		11.1	23.2	5.8	7.3	13.1	11.8	12.6	4.9	3.4	63.6	6.8	7.3				

(5) 当事者別

普通乗用車が141件で最も多く、県外居住者事故の49.3%を占めている。

全事故に占める割合でみると、自動二輪が77.8%と高い割合となっている。  
(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車						貨 物 車						二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者
		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽	計	自 動 二 輪	原 付	計			
構成率(%)				49.3	17.5	66.8	12.9	4.2	2.1	8.0	2.8	30.1	2.4	0.3	2.8	0.3	0.0	0.0	
全事故に占める割合			-	6.9	4.4	6.0	51.4	27.3	10.0	13.8	2.8	13.6	77.8	6.3	32.0	20.0	0.0	0.0	

(6) 年齢別

高齢者が45件で最も多く、次いで20～24歳が41件となっている。

全事故に占める割合については、45～49歳の10.9%が最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢													高齢者	合計
	子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳			
件数	0	1	6	41	29	15	23	26	37	21	24	18	45	286	
構成率(%)	0.0	0.3	2.1	14.3	10.1	5.2	8.0	9.1	12.9	7.3	8.4	6.3	15.7	100.0	
全体に占める割合	0.0	10.0	4.4	10.0	9.3	5.1	8.1	9.8	10.9	7.8	8.0	5.5	4.8	7.3	

(7) 通行目的別

私用中が165件で県外居住者事故の57.7%を占めており、特に、観光が64件で最も多い。

業務中の事故は103件発生し、36.0%を占め死者数は5人となっている。

(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が74.1%と高く、うち前方不注意が87件と最も多い。

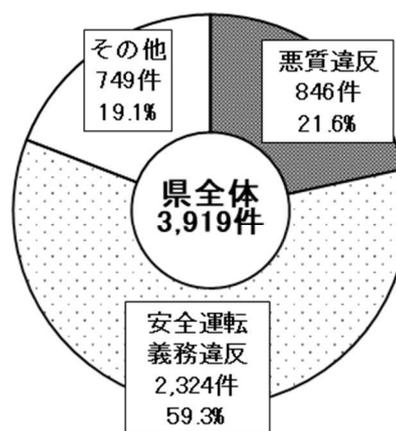
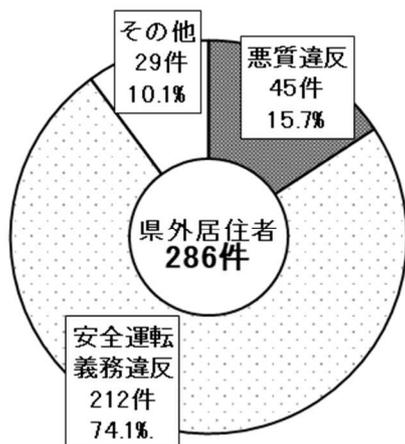
また、悪質違反のうち信号無視が17件と最も多い。全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、14.4ポイント高くなっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者傷者		
			死者	傷者	
業務	103	36.0	5	128	
通勤	17	5.9		23	
通学	1	0.3		1	
私用	観光	64	22.4	5	101
	ドライブ	10	3.5		11
	散歩		0.0		
	飲食	2	0.7		3
	買物	29	10.1	1	36
	訪問	17	5.9		19
	帰省	22	7.7		29
	その他	21	7.3		30
	計	165	57.7	6	229
不明		0.0			
合計	286	100.0	11	381	

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	17	5.9	安全運転義務違反	交差点安全進行	3	1.0	
	最高速度	2	0.7		徐行違反			0.0
	通区・追越	7	2.4		ハンドル・ブレーキ	28	9.8	
	歩行者妨害等	4	1.4		前方不注意	87	30.4	
	一時不停止	15	5.2		動静不注意	47	16.4	
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	40	14.0	
計		45	15.7	安全速度	5	1.7		
過労運転		1	0.3	その他	5	1.7		
横断禁止		5	1.7	計	212	74.1		
進路変更禁止			0.0	その他の			0.0	
右・左折			0.0	歩行者の違反			0.0	
優先通行妨害等		20	7.0	合計	286	100.0		



## (9) 市町村別

(単位：件・%)

順位	市町村	県外者数	全件数	割合
1	いわき市	57	953	6.0
2	郡山市	34	920	3.7
3	福島市	31	605	5.1
4	会津若松市	13	202	6.4
5	喜多方市	10	53	18.9
6	猪苗代町	9	33	27.3
7	南会津町	8	19	42.1
8	相馬市	8	56	14.3
9	南相馬市	8	84	9.5
10	本宮市	7	81	8.6
11	二本松市	7	84	8.3
12	西郷村	5	35	14.3
13	須賀川市	5	107	4.7
14	白河市	5	111	4.5
15	浪江町	3	7	42.9
16	新地町	3	9	33.3
17	檜葉町	3	11	27.3
18	富岡町	3	12	25.0
19	伊達市	3	75	4.0
20	天栄村	2	7	28.6
21	矢祭町	2	8	25.0
22	塙町	2	9	22.2
23	国見町	2	10	20.0
24	広野町	2	11	18.2
25	桑折町	2	13	15.4
26	会津坂下町	2	37	5.4
27	昭和村	1	1	100.0
28	双葉町	1	2	50.0
29	北塩原村	1	3	33.3
30	柳津町	1	4	25.0

順位	市町村	県外者数	全件数	割合
30	金山町	1	4	25.0
32	下郷町	1	5	20.0
33	平田村	1	7	14.3
34	小野町	1	13	7.7
34	玉川村	1	13	7.7
36	石川町	1	16	6.3
37	大玉村	1	20	5.0
37	棚倉町	1	20	5.0
39	会津美里町	1	22	4.5
40	矢吹町	1	26	3.8
41	田村市	1	43	2.3
42	三春町	0	31	0.0
43	川俣町	0	20	0.0
44	鏡石町	0	14	0.0
45	泉崎村	0	11	0.0
46	磐梯町	0	7	0.0
47	湯川村	0	5	0.0
48	浅川町	0	4	0.0
48	大熊町	0	4	0.0
50	西会津町	0	3	0.0
50	中島村	0	3	0.0
50	鮫川村	0	3	0.0
53	三島町	0	2	0.0
53	飯館村	0	2	0.0
53	古殿町	0	2	0.0
56	只見町	0	1	0.0
56	川内村	0	1	0.0
58	檜枝岐村	0	0	-
58	葛尾村	0	0	-

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

## (10) 居住県別

(単位：件・人)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	1	0.3		2		0.0		
青森	3	1.0	1	2	2	0.6		2
岩手	8	2.8	1	9	10	3.1		11
宮城	88	30.8	2	111	75	23.4	1	92
秋田	4	1.4	1	4	3	0.9		3
山形	12	4.2		14	18	5.6		21
東京	24	8.4		29	27	8.4	2	44
茨城	46	16.1	4	64	67	20.9	4	83
栃木	23	8.0		39	28	8.8	1	36
群馬	4	1.4		5	8	2.5		12
埼玉	17	5.9	1	18	19	5.9		31
千葉	20	7.0		31	19	5.9	1	26
神奈川	10	3.5	1	18	15	4.7		25
新潟	10	3.5		13	15	4.7	1	20
山梨	1	0.3		1	1	0.3		1
長野	2	0.7		4	2	0.6		3
静岡	2	0.7		3	2	0.6		2
富山	1	0.3		1	2	0.6		2
石川		0.0			1	0.3		2
福井		0.0			1	0.3		1
岐阜		0.0				0.0		
愛知	1	0.3		1	1	0.3		1
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0				0.0		
京都		0.0				0.0		
大阪		0.0			1	0.3		1
兵庫	2	0.7		2	2	0.6		4
奈良	3	1.0		4	1	0.3		1
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山	1	0.3		1		0.0		
広島	1	0.3		1		0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡	1	0.3		1		0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島	1	0.3		3		0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合計	286	100	11	381	320	100	10	424

## 18 道路環境等

### (1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は 2,258件で全事故の57.6%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が 927件で最も多く、交差点事故の23.7%を占め、次いで交差点付近が 698件となっている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

区分 道路形状	件数		死者	傷者	
	件数	構成率(%)			
交差点	大	245	6.3	7	286
	中	927	23.7	8	1,055
	小	388	9.9	6	436
	付近	698	17.8	5	866
	計	2,258	57.6	26	2,643
単路	トンネル	16	0.4	1	21
	橋	48	1.2	1	66
	カーブ・屈折	128	3.3	7	158
	その他	1,241	31.7	23	1,544
	計	1,433	36.6	32	1,789
踏切	4	0.1	2	2	
一般交通の場所	224	5.7	1	249	
合計	3,919	100	61	4,683	

区分 交差点第1進入路	件数		死者	傷者	
	件数	構成率(%)			
大 (13m以上)	交差路 小	19	1.2	4	16
	交差路 中	88	5.6		106
	交差路 大	138	8.8	3	164
	計	245	15.7	7	286
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	93	6.0	3	97
	交差路 中	89	5.7	1	861
	交差路 大	745	47.8	4	97
	計	927	59.4	8	1,055
小 (5.5m未満)	交差路 小	115	7.4	1	126
	交差路 中	223	14.3	3	256
	交差路 大	50	3.2	2	54
	計	388	24.9	6	436
合計	1,560	100	21	1,777	

### (2) 道路線形別

直線での事故は3,529件で全事故の90.0%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は166件で全事故の4.2%となっている。

勾配で見ると、上り坂は 124件（全事故の3.2%）、下り坂は 168件（全事故の4.3%）、平坦は3,403件（全事故の86.8%）となっている。

(単位：件・人)

区分 道路線形	件数		死者		
	件数	構成率(%)			
カーブ・屈折	右	上り	13	0.3	
		下り	18	0.5	
		平坦	38	1.0	2
	左	上り	15	0.4	2
		下り	21	0.5	3
		平坦	61	1.6	2
計	166	4.2	9		
直線	上り	96	2.4	3	
	下り	129	3.3	5	
	平坦	3,304	84.3	43	
	計	3,529	90.0	51	
一般交通の場所	224	5.7	1		
合計	3,919	100.0	61		

## (3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が2,754件で、  
全事故の70.3%を占めている。  
死亡事故は非市街地での事故が  
多い。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	
						市街地
		その他	1,263	32.2	17	1,498
		計	2,754	70.3	36	3,217
	非市街地	1,165	29.7	25	1,466	
	合計	3,919	100	61	4,683	

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500m以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80%以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

## (4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が1,045件で最も多く、全事故の26.7%を占めている。

(単位：件・人)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.0m以上	交差点			その他	合計
								小	中	大		
件数		48	108	1,045	479	382	73	388	927	245	224	3,919
構成率(%)		1.2	2.8	26.7	12.2	9.7	1.9	9.9	23.7	6.3	5.7	100
死者		4	3	21	7	3	1	6	8	7	1	61
傷者		54	113	1,305	605	492	88	436	1,055	286	249	4,683

## (5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が3,242件で最も多く、全事故の82.7%を占めている。

(単位：件・人)

地形	路面状態	舗装					計	非舗装	合計	
		乾	燥	湿	潤	凍結				積雪
件数		3,242		578		68	24	3,912	7	3,919
構成率(%)		82.7		14.7		1.7	0.6	99.8	0.2	100.0
死者		49		11		1		61		61
傷者		3,874		682		83	38	4,676	7	4,683

## (6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,779件で最も多く、全事故の45.4%を占めている。

(単位：件・人)

地形	施設	中分離	中央帯	中央線					計	中分離	中央帯	その他	合計
				高輝度表示	チャッターバー等	ポスター	ストーン	ペイント					
件数		462		11	36	17	1,779	1,843	1,390		224	3,919	
構成率(%)		11.8		0.3	0.9	0.4	45.4	47.0	35.5		5.7	100.0	
死者		4			2		32	34	22		1	61	
傷者		606		14	44	23	2,181	2,262	1,566		249	4,683	

## 19 その他

(単位：件・人)

### (1) 特殊事故

特殊事故は 797件で、全事故の20.3%を占め、約5件に1件の割合で発生している。

件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突 601件

全事故の 6.5件に1件

- ・ひき逃げ80件

全事故の 49.0件に1件

- ・スリップ67件

全事故の 58.5件に1件

- ・無申告22件

全事故の 178.1件に1件

- ・ドア開閉4件

全事故の 979.8件に1件

- ・左折巻き込み3件

全事故の 1,306.3件に1件

の割合で発生している。

特殊事故	区分	件 数		死 者	傷 者	
			構成率(%)			
事 故 内 容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	80	2.0	3	94	
	無申告	22	0.6		23	
	多重衝突	601	15.3	16	904	
	左折巻き込み	3	0.1		3	
	荷崩れ	2	0.1		2	
	自然発車	2	0.1		2	
	ドア開閉	4	0.1		4	
	車両火災	1	0.0	1	6	
	スリップ事故	67	1.7	1	88	
	当 事 者 内 容	薬物影響		0.0		
発作・急病		てんかん	2	0.1		4
		心臓マヒ	1	0.0		1
		脳血管		0.0		
		その他	2	0.1		2
身障者		9	0.2	1	13	
緊急用務自動車	1	0.0		3		
合 計		797	20.3	22	1,149	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合  
 2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

### (2) 天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が、2,241件で全事故の57.2%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が1,163件となっており、合わせると全事故の86.9%を占めている。

(単位：件・人)

区分	天候					
	晴	曇	雨	霧	雪	合 計
件 数	2,241	1,163	415	6	94	3,919
構成率(%)	57.2	29.7	10.6	0.2	2.4	100.0
死 者	30	22	7		2	61
傷 者	2,675	1,402	480	8	118	4,683

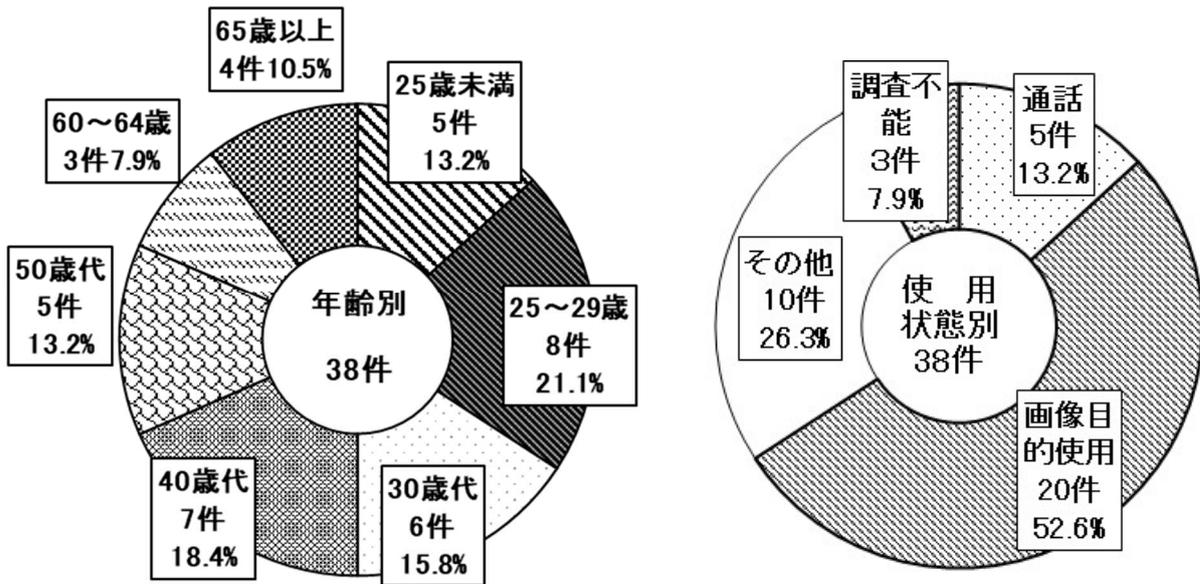
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は38件発生し、死者は2人、傷者は36人となっている。

事故類型別にみると、追突が24件で最も多く、63.2%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.7倍となっている。

(単位：件)

区分		携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		1	2.6	493	12.6
車両相互	追突	24	63.2	1,481	37.8
	出会い頭	6	15.8	1,023	26.1
	正面衝突	1	2.6	121	3.1
	その他	5	13.2	729	18.6
車両単独		1	2.6	68	1.7
列車			0.0	4	0.1
合計		38	100.0	3,919	100.0



年齢別にみると、25～29歳が8件で最も多く21.1%、次いで40歳代が7件で18.4%となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用20件、通話が5件となっている。